

工 事 設 計 書 等

工事設計書等のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
宇都宮国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事
工事地名	栃木県宇都宮市下岡本町地先

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 8年 6月	1 2) 設 計 年 月	令和 8年 7月
2) 事務所名	宇都宮国道事務所 管理第二課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号	3551010021	1 4) 単価適用年月	2026年 7月
4) 契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026年 7月
5) 変更回数	0回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	C・C・BOX工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量		1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	303日間 自 令和 8年 9月 1日 (当初) 至 令和 9年 6月30日 (0回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	栃木県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	宇都宮地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道 4 号	2 2) 処 分 費 等	261,085
		2 3) 公 告 日	令和 8年 6月25日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目：	2) 目：	3) 目の細分：	4) 事業名：

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電線共同溝									
【夜間】			式	1		124,308,537			
舗装版撤去工			式	1		2,777,983			
舗装版破碎工			式	1		2,777,983			
舗装版切断 (1) 【昼間】		アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	式	1		307,188			内-1号
舗装版切断 (2) 【昼間】		アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え30cm以下	式	1		913,320			内-2号
舗装版破碎 (1)		アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m2	240	1,898	455,520			単-1号
舗装版破碎 (2)		アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え35cm以下	m2	350	1,127	394,450			単-2号
殻運搬		アスファルト殻 運搬距離 L= 10.5km以下	m3	101	4,420	446,420			単-3号
殻処分		アスファルト殻	m3	101	2,585	261,085			単-4号
開削土工			式	1		12,041,814			
掘削工			式	1		4,534,500			
開削掘削		土砂	式	1		4,534,500			内-3号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
埋戻し工		式	1		3,857,910				
埋戻し・締固め (1)	土砂(発生土)	式	1		1,947,510			内-4号	
埋戻し・締固め (2)	中埋砂(購入土：埋戻し用砂)	式	1		1,910,400			内-5号	
残土処理工		式	1		3,649,404				
土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=2.0km以下	式	1		748,000			内-6号	
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	式	1		107,492			内-7号	
土砂等運搬 (2)仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	式	1		2,737,680			内-8号	
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	式	1		56,232			内-9号	
電線共同溝工		式	1		62,624,066				
管路工(管路部)		式	1		34,449,358				
埋設管路 (1)	電力管(角型多条管) 径 130mm	m	721	5,072	3,656,912			単-5号	
埋設管路 (2)	電力管 径 130mm	m	69	6,501	448,569			単-6号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋設管路 (3)		電力管・電力通信管(角型多条管) 径 100mm	m	1,380	4,422	6,102,360			単-7号
埋設管路 (4)		電力管・電力通信管 径 100mm	m	130	5,165	671,450			単-8号
埋設管路 (5)		共用FA管 径 150mm	m	325	8,569	2,784,925			単-9号
埋設管路 (6)		ボデー管 径 250mm	m	289	30,690	8,869,410			単-10号
埋設管路 (7)		ボデー管 径 200mm	m	66	18,860	1,244,760			単-11号
埋設管路 (8)		通信管 径 75mm	m	481	5,568	2,678,208			単-12号
埋設管路 (9)		通信管 径 50mm	m	382	4,674	1,785,468			単-13号
埋設管路 (10)		通信管(角型多条管) 径 81mm	m	36	3,645	131,220			単-14号
埋設管路 (11)		通信管(角型多条管) 径 50mm	m	380	3,153	1,198,140			単-15号
埋設管路 (12)		FEP管 径 65mm	m	3	3,160	9,480			単-16号
埋設管路 (13)		FEP管 径 30mm	m	3	3,000	9,000			単-17号
ダクトスリーブ・ヘルマウス材料費			個	212	4,103	869,836			単-18号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋設表示シート (1)		W=300mm	m	100	390	39,000			単-19号
埋設表示シート (2)		W=400mm	m	299	528	157,872			単-20号
埋設表示シート (3)		W=600mm	m	496	786	389,856			単-21号
コンクリート削孔 (1)		削孔径 φ 120 200mm以上400mm未満	箇所	4	9,968	39,872			単-22号
コンクリート削孔 (2)		削孔径 φ 150 200mm以上400mm未満	箇所	4	10,380	41,520			単-23号
コンクリート削孔 (3)		削孔径 φ 180 200mm以上400mm未満	箇所	10	11,690	116,900			単-24号
防護コンクリート (1)		超速硬コンクリート	m3	3	376,100	1,128,300			単-25号
防護コンクリート (2)		超速硬コンクリート	m3	1	370,800	370,800			単-26号
防護コンクリート (3)		超速硬コンクリート	m3	1	354,000	354,000			単-27号
防護鉄板 (1)		W1272×L500 t=16mm S S400	枚	25	33,300	832,500			単-28号
防護鉄板 (2)		W1465×L500 t=16mm S S400	枚	7	38,200	267,400			単-29号
防護鉄板 (3)		W2547×L500 t=16mm S S400	枚	4	62,900	251,600			単-30号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
プレキャストボックス工(特殊部)		式	1		28,174,708				
プレキャストボックス (1)	I 型 1200×1800×350 0	箇所	3	1,785,000	5,355,000			単-31号	
プレキャストボックス (2)	I 型 1200×1800×350 0 道路横断(サイトボックス)	箇所	1	1,975,000	1,975,000			単-32号	
プレキャストボックス (3)	I 型 1200×1800×380 0 道路横断(サイトボックス)	箇所	1	2,049,000	2,049,000			単-33号	
プレキャストボックス (4)	I 型 1200×1800×400 0 地上機器直上1基	箇所	1	2,147,000	2,147,000			単-34号	
プレキャストボックス (5)	I 型 1200×1800×400 0 地上機器横置1基	箇所	2	2,157,000	4,314,000			単-35号	
端壁材料費		個	16	157,600	2,521,600			単-36号	
サイトボックス	1000×600×650	箇所	2	354,100	708,200			単-37号	
地上機器用ハットホール (1)	995×710×1320・連結タ クト(開口900×450)	箇所	1	1,795,000	1,795,000			単-38号	
地上機器用ハットホール (2)	995×710×1620・連結タ クト(開口900×450)	箇所	1	1,773,000	1,773,000			単-39号	
地上機器用ブロック	直上 995×395 H=700	箇所	1	248,000	248,000			単-40号	
分岐柵	450×500×900(蓋含む)	箇所	6	325,000	1,950,000			単-41号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎材		再生クラッシュラン 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	m2	66	1,773	117,018			単-42号
蓋 (1)		鋳鉄製 φ750(車道用) H=350	組	6	357,800	2,146,800			単-43号
蓋 (2)-1		鋳鉄製 φ750(歩道用) H=250	組	1	354,300	354,300			単-44号
蓋 (2)-2		鋳鉄製 φ750(歩道用) H=700	組	1	446,200	446,200			単-45号
仮蓋 (1)		地上機器ハントホル開口 部用	枚	2	91,530	183,060			単-46号
仮蓋 (2)		地上機器用ブロック開口 部用	枚	1	91,530	91,530			単-47号
付帯設備工			式	1		87,350			
ハントホル工			式	1		87,350			
ハントホル		600×600×600	箇所	1	87,350	87,350			単-48号
舗装工			式	1		12,195,869			
アスファルト舗装工 (1)歩道部			式	1		731,271			
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕 上り厚 100mm	m2	173	1,214	210,022			単-49号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
表層(歩道部)		再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満	m2	173	3,013	521,249			単-50号
アスファルト舗装工 (2)乗入部(4m<W≦8m)			式	1		343,536			
上層路盤(歩道部)		粒度調整碎石 M-40 仕 上り厚 300mm	m2	51	3,279	167,229			単-51号
表層(歩道部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	51	3,457	176,307			単-52号
アスファルト舗装工 (3)乗入部(8m<W)			式	1		16,332			
上層路盤(歩道部)		粒度調整碎石 M-40 仕 上り厚 400mm	m2	2	4,709	9,418			単-53号
表層(歩道部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	2	3,457	6,914			単-54号
アスファルト舗装工 (4)支道部			式	1		59,760			
上層路盤(歩道部)		粒度調整碎石 M-40 仕 上り厚 250mm	m2	9	3,069	27,621			単-55号
表層(車道・路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	9	3,571	32,139			単-56号
アスファルト舗装工 (5)車道部(仮仮復旧)			式	1		3,532,880			
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕 上り厚 150mm	m2	316	1,316	415,856			単-57号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
上層路盤(歩道部)		粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2	316	1,430	451,880			単-58号
仮路盤		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	m2	316	1,316	415,856			単-59号
基層(車道・路肩部)		再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	316	3,547	1,120,852			単-60号
表層(車道・路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	316	3,571	1,128,436			単-61号
アスファルト舗装工 (6)車道部2(仮仮復旧)			式	1		374,517			
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	m2	33	1,316	43,428			単-62号
上層路盤(歩道部)		粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2	33	1,640	54,120			単-63号
仮路盤		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 130mm	m2	33	1,275	42,075			単-64号
基層(車道・路肩部)		再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	33	3,547	117,051			単-65号
表層(車道・路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	33	3,571	117,843			単-66号
舗装打換え工 (1)車道部(仮復旧)			式	1		6,197,343			
舗装版破碎		アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2	310	805.8	249,798			単-67号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 運搬距離 L=7.0km以下	m3	31	2,818	87,358			単-68号
殻処分		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	31	2,585	80,135			単-69号
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m3	40	3,621	144,840			単-70号
土砂等運搬 (1)現場～仮置場		運搬距離 L=1.0km以下	m3	40	2,530	101,200			単-71号
積込(ﾙｰｽﾞ)		土砂 土量50,000m3未満	m3	40	244.3	9,772			単-72号
土砂等運搬 (2)仮置場～処分場 【昼間】		土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	m3	40	6,222	248,880			単-73号
整地 【昼間】		残土受入れ地での処理	m3	40	127.8	5,112			単-74号
上層路盤		再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 100mm	m2	316	6,013	1,900,108			単-75号
基層		再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	316	3,547	1,120,852			単-76号
中間層		再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	316	3,547	1,120,852			単-77号
表層		再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	316	3,571	1,128,436			単-78号
舗装打換え工 (2)車道部2(仮復旧)			式	1		620,394			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2	33	805.8	26,591			単-79号	
殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=7.0km以下	m3	3	2,818	8,454			単-80号	
殻処分	アスファルト殻	m3	3	2,585	7,755			単-81号	
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m3	4	3,621	14,484			単-82号	
土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=1.0km以下	m3	4	2,530	10,120			単-83号	
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3	4	244.3	977			単-84号	
土砂等運搬 (2)仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	m3	4	6,222	24,888			単-85号	
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	m3	4	127.8	511			単-86号	
上層路盤	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	33	5,293	174,669			単-87号	
基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	33	3,547	117,051			単-88号	
中間層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	33	3,547	117,051			単-89号	
表層	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2	33	3,571	117,843			単-90号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
薄層カー舗装工		式	1		319,836				
薄層カー舗装	PRN-301	m2	44	7,269	319,836			単-91号	
排水構造物工		式	1		4,739,410				
側溝工		式	1		4,489,840				
現場打ちL型街渠 (1)	一般部(L1-1) FK-2(再利用)	m	49	26,430	1,295,070			単-92号	
現場打ちL型街渠 (2)	乗入部(L1-2) FK-2a-50(再利用)	m	30	25,910	777,300			単-93号	
現場打ちL型街渠 (3)	横断部(L1-3) FK-2a-20(再利用)	m	7	25,910	181,370			単-94号	
現場打ちL型街渠 (4)	一般部(L2-1) FK-2(再利用)	m	4	26,160	104,640			単-95号	
現場打ちL型街渠 (5)	乗入部(L2-2) FK-2a-50(再利用)	m	6	25,640	153,840			単-96号	
現場打ち街渠縦断管 (1)	一般部(L4-1) φ300 FK-2(再利用)	m	24	56,670	1,360,080			単-97号	
現場打ち街渠縦断管 (2)	乗入部(L4-2) φ300 FK-2a-50(再利用)	m	11	56,140	617,540			単-98号	
管渠工		式	1		160,170				

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ヒューム管 (B形管) (1)		φ 200 90° 巻き 外圧 管1種(再利用)	m	5	16,830	84,150			単-99号
ヒューム管 (B形管) (2)		φ 300 360° 巻き 外圧 管1種(再利用)	m	2	38,010	76,020			単-100号
集水桝・マンホール工			式	1		89,400			
プレキャスト街渠桝		一般部 460×450×575 (再利用)	箇所	6	14,900	89,400			単-101号
縁石工			式	1		523,404			
縁石工			式	1		523,404			
植樹ブロック		150×180×900(再利用)	m	63	8,308	523,404			単-102号
防護柵工			式	1		68,651			
路側防護柵工			式	1		68,651			
ガードレール		Gr-B-4E(再利用)	m	11	6,241	68,651			単-103号
区画線工			式	1		37,621			
区画線工			式	1		37,621			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線 (1) 【昼間】		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無 白色	m	24	432. 2	10, 372			単-104号
溶融式区画線 (2) 【昼間】		溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装 無 白色	m	3	740. 3	2, 220			単-105号
溶融式区画線 (3) 【昼間】		溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装 無 白色	m	10	807. 2	8, 072			単-106号
溶融式区画線 (4) 【昼間】		溶融式手動 セ`アラ 30cm 厚1.5mm 排水性舗装 無 白色	m	11	827. 8	9, 105			単-107号
溶融式区画線 (5) 【昼間】		溶融式手動 矢印・記号 ・文字 15cm換算 厚1.5 mm 排水性舗装無 白色	m	8	981. 5	7, 852			単-108号
道路付属施設工			式	1		2, 303, 100			
引込柱設置工			式	1		2, 303, 100			
引込柱 (1)		φ 216. 3	本	1	57, 780	57, 780			単-109号
引込柱 (2)		φ 165. 2	本	1	47, 320	47, 320			単-110号
引込柱基礎		抵抗板付鋼製杭基礎	基	2	1, 099, 000	2, 198, 000			単-111号
構造物撤去工			式	1		1, 297, 086			
防護柵撤去工			式	1		23, 430			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
防護柵撤去(ガードレール)	Gr-B-4E(再利用)	m	11	2,130	23,430			単-112号	
構造物取壊し工		式	1		596,310				
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	39	15,290	596,310			単-113号	
排水構造物撤去工		式	1		68,779				
プレキャスト街渠柵撤去	一般部 460×450×575 (再利用)	箇所	6	3,710	22,260			単-114号	
縁塊撤去	再利用	箇所	6	2,565	15,390			単-115号	
ヒューム管(B形管)撤去 (1)	φ 200 外圧管1種(再利用)	m	5	4,447	22,235			単-116号	
ヒューム管(B形管)撤去 (2)	φ 300 外圧管1種(再利用)	m	2	4,447	8,894			単-117号	
縁石撤去工		式	1		413,996				
歩車道境界ブロック撤去	再利用	m	131	2,134	279,554			単-118号	
植樹ブロック撤去	150×180×900(再利用))	m	63	2,134	134,442			単-119号	
運搬処理工		式	1		194,571				

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋) 運搬 距離 L=8.0km以下	m3	39	2,404	93,756			単-120号
殻処分		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	39	2,585	100,815			単-121号
仮設工			式	1		25,612,183			
土留・仮締切工			式	1		1,457,133			
軽量鋼矢板(電線共同溝)		軽量鋼矢板Ⅱ型	式	1		1,457,133			内-10号
交通管理工			式	1		24,155,050			
交通誘導警備員			式	1		24,155,050			内-11号
直接工事費			式	1		124,308,537			
共通仮設費			式	1		14,307,491			
共通仮設費			式	1		1,081,491			
運搬費			式	1		26,266			
仮設材運搬費			式	1		26,266			内-12号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
技術管理費		式	1		125, 225				
地質調査費	スクレーウェイト貫入試験 L=5. 0m×2箇所=10. 0m	式	1		61, 000			内-13号	
道路施設基本データ作成費用		式	1		64, 225			内-14号	
現場環境改善費（率計上）		式	1		930, 000				
共通仮設費（率計上）		式	1		13, 226, 000				
純工事費		式	1		138, 616, 028				
現場管理費		式	1		51, 930, 000				
工事原価		式	1		190, 546, 028				
一般管理費等		式	1		32, 223, 972				
工事価格		式	1		222, 770, 000				
消費税相当額		式	1		22, 277, 000				
工事費計		式	1		245, 047, 000				

一式当たり内訳書

舗装版切断
(1)
【昼間】

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	420	731. 4	307, 188			
合 計					307, 188			

一式当たり内訳書

舗装版切断
(2)
【昼間】

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 増 減	金 額 増 減	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	590	1, 548	913, 320			
合 計					913, 320			

一式当たり内訳書

開削掘削

第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
床掘り（電線共同溝工）		m 3	750	6,046	4,534,500			
合 計					4,534,500			

一式当たり内訳書

第 4号内訳書 埋戻し・締固め (1)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋戻し・締固め（電線共同溝工）	土砂	m 3	270	7, 213	1, 947, 510			
合 計					1, 947, 510			

一式当たり内訳書

埋戻し・締固め
第 5号内訳書 (2)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋戻し・締固め（電線共同溝工）	中埋砂	m 3	160	11, 940	1, 910, 400			
※中埋砂（購入土）は埋戻し用砂を採用								
合 計					1, 910, 400			

一式当たり内訳書

第 6号内訳書 土砂等運搬
(1)現場～仮置場

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
運搬（電線共同溝工）	土砂 無し 2.0km以下	m 3	440	1,700	748,000			
合 計					748,000			

一式当たり内訳書

積込 (ルース)
第 7号内訳書
【昼間】

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
積込 (ルース)	土砂 土量50,000m3未満	m 3	440	244. 3	107, 492			
合 計					107, 492			

一式当たり内訳書

第 8号内訳書
土砂等運搬
(2) 仮置場～処分場
【昼間】

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ バケット容量0.8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60.0km以下	m 3	440	6,222	2,737,680			
合 計					2,737,680			

一式当たり内訳書

整地

第 9号内訳書

【昼間】

單價使用年月	2026. 07
步掛使用年月	2026. 07
勞務調整係數	1. 000-00-00-2-0

[illegible]

一式当たり内訳書

軽量鋼矢板(電線共同溝)
第 10号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
軽量鋼矢板賃料	切梁・腹起し含む	式	1		296,000			
※賃料算出根拠は別紙（参考）を参照								
軽量鋼矢板設置・撤去		m	211	5,503	1,161,133			
合 計					1,457,133			

一式当たり内訳書

交通誘導警備員

第 11号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員 A								
【昼間】		人日	14	19, 200	268, 800			
交通誘導警備員 B								
【昼間】		人日	28	17, 500	490, 000			
交通誘導警備員 A								
【夜間】		人日	425	28, 800	12, 240, 000			
交通誘導警備員 B								
【夜間】		人日	425	26, 250	11, 156, 250			
合 計					24, 155, 050			

一式当たり内訳書

仮設材運搬費

第 12号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【往路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道・東北・関東・北陸・中部 8.6km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	2.3	4,210	9,683			
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)	t	2.3	1,500	3,450			
【復路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道・東北・関東・北陸・中部 8.6km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	2.3	4,210	9,683			
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)	t	2.3	1,500	3,450			
合 計					26,266			

一式当たり内訳書

地質調査費

第 13号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【スクレーウェイト貫入試験】5.0 m/箇所×2箇所								
地質調査費（一式入力）	61千円	式	1		61,000			
合 計					61,000			

一式当たり内訳書

道路施設基本データ作成費用

第 14号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
技術員		人	1.75	36,700	64,225			
合 計					64,225			

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一1号	舗装版破碎 (1)	アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1, 898
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎積込（電線共同溝工）			m 2	1	1, 898	1, 898		
計						1, 898		
単価						1, 898	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一2号	舗装版破碎 (2)	アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え35cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1, 127
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎			m 2	1	1, 127	1, 127		
計						1, 127		
単価						1, 127	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一3号	殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=10. 5km以下	単位	m3	数量	1	単価	4, 420
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬（電線共同溝工）		アスファルト塊 有り 10. 5km以下	m 3	1	4, 420	4, 420		
計						4, 420		
単価						4, 420	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一4号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	2, 585
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	2, 585	2, 585		
計						2, 585		
単価						2, 585	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一5号	埋設管路 (1)	電力管(角型多条管) 径 130mm	単位	m	数量	721	単価	5, 072
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 多条管設置	m	721	4, 983	3, 592, 743		
差込継手(材料費)		角型多条管 φ 130 用	個	14	4, 550	63, 700		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						3, 656, 443		
単価						5, 072	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一6号	埋設管路 (2)	電力管 径 130mm	単位	m	数量	69	単価	6, 501
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 単管設置	m	46	5, 165	237, 590		
管路材設置 「曲管」		埋設部 単管設置	m	23	6, 908	158, 884		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	108	482	52, 056		
計						448, 530		
単価						6, 501	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一7号	埋設管路 (3)	電力管・電力通信管(角型多条管) 径 100mm	単位	m	数量	1, 380	単価	4, 422
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	管路材設置	埋設部 多条管設置	m	1, 380	4, 354	6, 008, 520		
	差込継手(材料費)	角型多条管 φ 100 用	個	37	2, 500	92, 500		
	※歩掛見積参考資料公表対象							
	計					6, 101, 020		
	単価					4, 422	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一8号	埋設管路 (4)	電力管・電力通信管 径 100mm	単位	m	数量	130	単価	5, 165
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 単管設置	m	98	4, 241	415, 618		
管路材設置 「曲管」		埋設部 単管設置	m	32	6, 047	193, 504		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	103	604	62, 212		
計						671, 334		
単価						5, 165	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一9号	埋設管路 (5)	共用FA管 径 150mm	単位	m	数量	325	単価	8, 569
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 FA管設置	m	277	6, 722	1, 861, 994		
管路材設置 「曲管」		埋設部 FA管設置	m	48	16, 810	806, 880		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	214	495	105, 930		
管止めキャップ（材料費）		FA-V φ 150用	個	10	1, 000	10, 000		
計						2, 784, 804		
単価						8, 569	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一10号	埋設管路 (6)	ホテイ管 径 250mm	単位	m	数量	289	単価	30, 690
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 ホテイ管 (φ 250mm) 設置 (さや管含む) 標準: 14条 (8条 (φ 50) + 6条 (φ 30))	m	243	16, 940	4, 116, 420		
管路材設置 「曲管」		埋設部 ホテイ管 (φ 250mm) 設置 (さや管含む) 標準: 14条 (8条 (φ 50) + 6条 (φ 30))	m	46	42, 580	1, 958, 680		
管路受台 (スペーサ) (材料費)			個	392	776	304, 192		
スライト管 (材料費)		VP φ 250	本	6	46, 100	276, 600		
ロータス管 (材料費)		VP φ 250用 (ボルト固定式)	本	12	54, 700	656, 400		
さや管 (材料費)		SU φ 50	m	2, 266	386	874, 676		
さや管 (材料費)		SU φ 30	m	1, 699	258	438, 342		
端末部用さや管 (材料費)		SU φ 50 L=1. 1m	本	96	1, 660	159, 360		
端末部用さや管 (材料費)		SU φ 30 L=1. 1m	本	72	1, 160	83, 520		
計						8, 868, 190		
単価						30, 690	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一11号	埋設管路 (7)	ホﾞﾃﾞｲ管 径 200mm	単位	m	数量	66	単価	18,860
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 ホﾞﾃﾞｲ管 (φ 200mm) 設置 (さや管含む) 標準:10条 (5条 (φ 50)+5条 (φ 30))	m	60	11,100	666,000		
管路材設置 「曲管」		埋設部 ホﾞﾃﾞｲ管 (φ 200mm) 設置 (さや管含む) 標準:10条 (5条 (φ 50)+5条 (φ 30))	m	6	27,760	166,560		
管路受台 (スぺーサ) (材料費)			個	86	619	53,234		
スﾗｲﾄﾞ管 (材料費)		VP φ 200	本	1	34,500	34,500		
ﾛｰﾀﾞｽ管 (材料費)		VP φ 200用 (ﾎﾞﾙﾄ固定式)	本	2	43,200	86,400		
さや管 (材料費)		SU φ 50	m	325	386	125,450		
さや管 (材料費)		SU φ 30	m	325	258	83,850		
端末部用さや管 (材料費)		SU φ 50 L=1.1m	本	10	1,660	16,600		
端末部用さや管 (材料費)		SU φ 30 L=1.1m	本	10	1,160	11,600		
計						1,244,194		
単価						18,860	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一12号	埋設管路 (8)	通信管 径 75mm	単位	m	数量	481	単価	5, 568
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 単管設置	m	391	4, 608	1, 801, 728		
管路材設置 「曲管」		埋設部 単管設置	m	90	8, 284	745, 560		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	493	265	130, 645		
計						2, 677, 933		
単価						5, 568	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一13号	埋設管路 (9)	通信管 径 50mm	単位	m	数量	382	単価	4, 674
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置 「直管」		埋設部 単管設置	m	255	3, 615	921, 825		
管路材設置 「曲管」		埋設部 単管設置	m	127	5, 816	738, 632		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	486	257	124, 902		
計						1, 785, 359		
単価						4, 674	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一14号	埋設管路 (10)	通信管(角型多条管) 径 81mm	単位	m	数量	36	単価	3, 645
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 多条管設置	m	36	3, 530	127, 080		
差込継手(材料費)		角型多条管 φ 81 用	個	2	2, 060	4, 120		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						131, 200		
単価						3, 645	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一15号	埋設管路 (11)	通信管(角型多条管) 径 50mm	単位	m	数量	380	単価	3,153
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 多条管設置	m	380	3,118	1,184,840		
差込継手(材料費)		角型多条管 φ 50 用	個	10	1,300	13,000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						1,197,840		
単価						3,153	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一16号	埋設管路 (12)	FEP管 径 65mm	単位	m	数量	1	単価	3, 160
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	1	3, 160	3, 160		
計						3, 160		
単価						3, 160	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一17号	埋設管路 (13)	FEP管 径 30mm	単位	m	数量	1	単価	3, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	1	3, 000	3, 000		
計						3, 000		
単価						3, 000	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一18号	タクトスリープ・ヘルマウス材料費		単位	個	数量	212	単価	4, 103
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
ヘルマウス(材料費)	角型多条管 φ130用	個	30	2, 840	85, 200			
タクトスリープ(材料費)	CCVP φ130用	個	4	5, 960	23, 840			
ヘルマウス(材料費)	角型多条管 φ100用	個	73	1, 980	144, 540			
タクトスリープ(材料費)	CCVP φ100用	個	9	4, 420	39, 780			
タクトスリープ(材料費)	共用FA管 φ150用	個	15	4, 000	60, 000			
タクトスリープ(材料費)	ホテイ管 φ250用	個	12	31, 100	373, 200			
タクトスリープ(材料費)	ホテイ管 φ200用	個	1	20, 800	20, 800			
タクトスリープ(材料費)	PV φ75用	個	28	2, 140	59, 920			
タクトスリープ(材料費)	PV φ50用	個	25	1, 670	41, 750			
ヘルマウス(材料費)	角型多条管 φ81用	個	1	1, 750	1, 750			
ヘルマウス(材料費)	角型多条管 φ50用	個	12	1, 480	17, 760			

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一18号	ダクトスリーブ・ヘルマウス材料費		単位	個	数量	212	単価	4, 103
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※上記2項目 歩掛見積参考資料公表対象								
ヘルマウス(材料費)		FEP φ65用	個	1	616	616		
ヘルマウス(材料費)		FEP φ30用	個	1	533	533		
計						869, 689		
単価						4, 103	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－19号	埋設表示シート (1)	W=300mm	単位	m	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	埋設表示シート（材料費）	W=300mm 2倍 水抜き穴3個	m	1	390	390		
	計					390		
	単価					390	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－20号	埋設表示シート (2)	W=400mm	単位	m	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	埋設表示シート（材料費）	W=400mm 2倍 水抜き穴5個	m	1	528	528		
	計					528		
	単価					528	円／m	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一21号	埋設表示シート (3)	W=600mm	単位	m	数量	1	単価	786	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
埋設表示シート（材料費）		W=600mm 2倍 水抜き穴7個	m	1	786	786			
計						786			
単価						786	円／m		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一22号	コンクリート削孔 (1)	削孔径 φ 120 200mm以上400mm未満	単位	箇所	数量	1	単価	9,968
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）		110mm以上128mm未満 200mm以上400mm以下	孔	1	9,968	9,968		
計						9,968		
単価						9,968	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一23号	コンクリート削孔 (2)	削孔径 φ 150 200mm以上400mm未満	単位	箇所	数量	1	単価	10, 380
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）		128mm以上160mm未満 200mm以上400mm以下	孔	1	10, 380	10, 380		
計						10, 380		
単価						10, 380	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一24号	コンクリート削孔 (3)	削孔径 φ 180 200mm以上400mm未満	単位	箇所	数量	1	単価	11, 690
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）		180mm以上200mm以下 200mm以上400mm以下	孔	1	11, 690	11, 690		
計						11, 690		
単価						11, 690	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一25号	防護コンクリート (1)	超速硬コンクリート	単位	m3	数量	3. 49	単価	376, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	3. 49	340, 200	1, 187, 298		
※超速硬コンクリート単価は夜間割増を含んでいる。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	8. 92	14, 030	125, 147. 6		
計						1, 312, 445. 6		
単価						376, 100	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一26号	防護コンクリート (2)	超速硬コンクリート	単位	m3	数量	1. 16	単価	370, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	1. 16	340, 200	394, 632		
※超速硬コンクリート単価は夜間割増を含んでいる。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 53	14, 030	35, 495. 9		
計						430, 127. 9		
単価						370, 800	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一27号	防護コンクリート (3)	超速硬コンクリート	単位	m3	数量	1. 08	単価	354, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	1. 08	340, 200	367, 416		
※超速硬コンクリート単価は夜間割増を含んでいる。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	1. 06	14, 030	14, 871. 8		
計						382, 287. 8		
単価						354, 000	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一28号	防護鉄板 (1)	W1272×L500 t=16mm SS400	単位	枚	数量		1	単価 33, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護鉄板(材料費)		W1272×L500 t=16mm SS400	枚	1	33, 300	33, 300		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						33, 300		
単価						33, 300	円／枚	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一29号	防護鉄板 (2)	W1465×L500 t=16mm SS400	単位	枚	数量		1	単価 38, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護鉄板(材料費)		W1465×L500 t=16mm SS400	枚	1	38, 200	38, 200		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						38, 200		
単価						38, 200	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一30号	防護鉄板 (3)	W2547×L500 t=16mm SS400	単位	枚	数量	1	単価	62, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護鉄板(材料費)		W2547×L500 t=16mm SS400	枚	1	62, 900	62, 900		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						62, 900		
単価						62, 900	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-31号	プレキャストボックス (1)	I 型 1200×1800×3500	単位	箇所	数量	1	単価	1, 785, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 107	145, 200	15, 536. 4		
プレキャストボックスブロック設置 ①		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630		
プレキャストボックスブロック設置 ②		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	32, 110	32, 110		
プレキャストボックス(I 型)(材料費)		1200×1800×3500	組	1	1, 470, 000	1, 470, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【端壁】※材料費は端壁材料費にて計上								
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	22, 630	45, 260		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1. 225無	個	3	9, 924	29, 772		
敷板(材料費)		1200×1800×3500型	組	1	169, 000	169, 000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一31号	プレキャストボックス (1)	I 型 1200×1800×3500	単位	箇所	数量	1	単価	1, 785, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						1, 784, 308. 4		
単価						1, 785, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一32号	プレキャストボックス (2)	I 型 1200×1800×3500 道路横断(サイトボックス)	単位	箇所	数量	1	単価	1,975,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0.107	145,200	15,536.4		
プレキャストボックスブロック設置 ①		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.225無	個	1	22,630	22,630		
プレキャストボックスブロック設置 ②		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1.225無	個	1	32,110	32,110		
プレキャストボックス(I 型)(材料費)		1200×1800×3500 道路横断(サイトボックス)	組	1	1,660,000	1,660,000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【端壁】※材料費は端壁材料費にて計上								
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.225無	個	2	22,630	45,260		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1.225無	個	3	9,924	29,772		
敷板(材料費)		1200×1800×3500型	組	1	169,000	169,000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一32号	プレキャストボックス (2)	I 型 1200×1800×3500 道路横断(サイトボックス)	単位	箇所	数量	1	単価	1, 975, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						1, 974, 308. 4		
単価						1, 975, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-33号	プレキャストボックス (3)	I 型 1200×1800×3800 道路横断(サイトボックス)	単位	箇所	数量	1	単価	2, 049, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 115	145, 200	16, 698		
プレキャストボックスブロック設置 ①		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	32, 110	32, 110		
プレキャストボックスブロック設置 ②		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630		
プレキャストボックス(I 型)(材料費)		1200×1800×3800 道路横断(サイトボックス)	組	1	1, 720, 000	1, 720, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【端壁】※材料費は端壁材料費にて計上								
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	22, 630	45, 260		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1. 225無	個	3	9, 924	29, 772		
敷板(材料費)		1200×1800×3800型	組	1	182, 000	182, 000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一33号	プレキャストボックス (3)	I 型 1200×1800×3800 道路横断(サイトボックス)	単位	箇所	数量	1	単価	2, 049, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						2, 048, 470		
単価						2, 049, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一34号	プレキャストボックス (4)	I 型 1200×1800×4000 地上機器直上1基	単位	箇所	数量	1	単価	2, 147, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 121	145, 200	17, 569. 2		
プレキャストボックスブロック設置 ①②		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	32, 110	64, 220		
プレキャストボックス(I 型) (材料費)		1200×1800×4000 地上機器直上1基	組	1	1, 800, 000	1, 800, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【端壁】※材料費は端壁材料費にて計上								
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	22, 630	45, 260		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1. 225無	個	3	9, 924	29, 772		
敷板(材料費)		1200×1800×4000型	組	1	190, 000	190, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一34号	プレキャストボックス (4)	I 型 1200×1800×4000 地上機器直上1基	単位	箇所	数量	1	単価	2, 147, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
計						2, 146, 821. 2		
単価						2, 147, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一35号	プレキャストボックス (5)	I 型 1200×1800×4000 地上機器横置1基	単位	箇所	数量	1	単価	2, 157, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 121	145, 200	17, 569. 2		
プレキャストボックスブロック設置 ①②		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	32, 110	64, 220		
プレキャストボックス(I 型) (材料費)		1200×1800×4000 地上機器横置1基	組	1	1, 810, 000	1, 810, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【端壁】※材料費は端壁材料費にて計上								
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	2	22, 630	45, 260		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1. 225無	個	3	9, 924	29, 772		
敷板(材料費)		1200×1800×4000型	組	1	190, 000	190, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一35号	プレキャストボックス (5)	I 型 1200×1800×4000 地上機器横置1基	単位	箇所	数量	1	単価	2, 157, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
計						2, 156, 821. 2		
単価						2, 157, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－36号	端壁材料費		単位	個	数量	16	単価	157, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-5・T-3・連系-3	個	1	157, 000	157, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 □ノックアウト付き	個	1	133, 000	133, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-6・T-4・引込-1	個	2	157, 000	314, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-6・T-4・連系-1・引込-2	個	1	162, 000	162, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-6・T-4	個	8	155, 000	1, 240, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-4・T-14	個	2	175, 000	350, 000		
	端壁(材料費)	1200×1800用 E-6・T-4・連系-4	個	1	165, 000	165, 000		
※上記 7 項目 歩掛見積参考資料公表対象								
	計					2, 521, 000		
	単価					157, 600	円／個	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一37号	サトホックス	1000×600×650	単位	箇所	数量	2	単価	354, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【D-9】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 02	145, 200	2, 904		
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630		
サトホックス（材料費）		1000×600×650 E-4・T-6	個	1	336, 000	336, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【D-10】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 02	145, 200	2, 904		
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630		
サトホックス（材料費）		1000×600×650 E-4	個	1	321, 000	321, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						708, 068		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一37号	サイトボックス	1000×600×650	単位	箇所	数量	2	単価	354, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
単価						354, 100	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一38号	地上機器用ハトゞホール (1)	995×710×1320・連結ﾀﾞｸﾄ(開口900×450)	単位	箇所	数量	1	単価	1, 795, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【ハトゞホール】								
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 072	145, 200	10, 454. 4		
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630		
地上機器用ハトゞホール (材料費)		995×710×1320・連結ﾀﾞｸﾄ (開口900×450)	個	1	744, 000	744, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	7, 772	7, 772		
蓋 (受枠含む) (材料費)		地上機器用ハトゞホール 995×710用 (仮舗装含む)	組	1	313, 000	313, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
【連結ﾀﾞｸﾄ】								
ｺﾝｸﾘｰﾄ連結ﾀﾞｸﾄ取付工 質量1000kg超え4000kg以下		(鋼製ﾀﾞｸﾄ・取付ﾀﾞｸﾄ設置含む)	箇所	1	32, 300	32, 300		
連結ﾀﾞｸﾄ(材料費)		900×450 L=2260(鋼製・取付ﾀﾞｸﾄ含む)	個	1	664, 000	664, 000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一38号	地上機器用ハンドホール (1)	995×710×1320・連結ダクト(開口900×450)	単位	箇所	数量	1	単価	1, 795, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						1, 794, 156. 4		
単価						1, 795, 000	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一39号	地上機器用ハトゞホール (2)	995×710×1620・連結ﾀﾞｸﾄ(開口900×450)	単位	箇所	数量	1	単価 1, 773, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【ハトゞホール】							
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 065	145, 200	9, 438	
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	22, 630	22, 630	
地上機器用ハトゞホール (材料費)		995×710×1620・連結ﾀﾞｸﾄ (開口900×450)	個	1	803, 000	803, 000	
※歩掛見積参考資料公表対象							
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	7, 772	7, 772	
蓋 (受枠含む) (材料費)		地上機器用ハトゞホール 995×710用 (仮舗装含む)	組	1	313, 000	313, 000	
※歩掛見積参考資料公表対象							
【連結ﾀﾞｸﾄ】							
ｺﾝｸﾘｰﾄ連結ﾀﾞｸﾄ取付工 質量1000kg超え4000kg以下		(鋼製ﾀﾞｸﾄ・取付ﾀﾞｸﾄ設置含む)	箇所	1	32, 300	32, 300	
連結ﾀﾞｸﾄ(材料費)		900×450 L=1960(鋼製・取付ﾀﾞｸﾄ含む)	個	1	584, 000	584, 000	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一39号	地上機器用ハントホル (2)	995×710×1620・連結ダクト(開口900×450)	単位	箇所	数量	1	単価	1, 773, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						1, 772, 140		
単価						1, 773, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一40号	地上機器用ブロック	直上 995×395 H=700	単位	箇所	数量	1	単価	248, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	9, 924	9, 924		
地上機器用ブロック(材料費)		995×395 H=700	個	1	238, 000	238, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						247, 924		
単価						248, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一41号	分岐桧	450×500×900(蓋含む)	単位	箇所	数量	1	単価	325, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 012	145, 200	1, 742. 4		
プレキャストボックスブロック設置		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 225無	個	1	114, 200	114, 200		
蓋設置		200kg以下	組	1	6, 004	6, 004		
蓋（受枠含む）（材料費）		分岐桧 450×900用	組	1	203, 000	203, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						324, 946. 4		
単価						325, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一42号	基礎材	再生クラッシュラン 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1,773
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	1,773	1,773		
計						1,773		
単価						1,773	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一43号	蓋 (1)	鋳鉄製 φ 750(車道用) H=350	単位	組	数量	1	単価	357, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	7, 772	7, 772		
鋳鉄蓋 (材料費)		φ 750(車道用)	組	1	318, 000	318, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
調整リング (材料費)		φ 750 H=200	個	1	32, 000	32, 000		
計						357, 772		
単価						357, 800	円／組	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一44号	蓋 (2)-1	鑄鉄製 φ 750 (歩道用) H=250	単位	組	数量	1	単価	354, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	7, 772	7, 772		
鑄鉄蓋 (材料費)		φ 750 (歩道用) (仮舗装含む)	組	1	319, 000	319, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
調整リング (材料費)		φ 750 H=100	個	1	27, 500	27, 500		
計						354, 272		
単価						354, 300	円／組	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一45号	蓋 (2)-2	鋳鉄製 φ 750 (歩道用) H=700	単位	組	数量	1	単価	446, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	7, 772	7, 772		
鋳鉄蓋 (材料費)		φ 750 (歩道用) (仮舗装含む)	組	1	319, 000	319, 000		
※歩掛見積参考資料公表対象								
調整リンク (材料費)		φ 750 H=100	個	1	27, 500	27, 500		
調整リンク (材料費)		φ 750 H=150	個	2	29, 700	59, 400		
調整リンク (材料費)		φ 750 H=150 ステップ 付	個	1	32, 500	32, 500		
計						446, 172		
単価						446, 200	円／組	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一46号	仮蓋 (1)	地上機器ハットホル開口部用	単位	枚	数量	1	単価	91, 530
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋版		据付け 有り 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	1, 430	1, 430		
仮蓋(材料費)		地上機器用ハットホル開口部用 445×1095(メッキ品)	枚	1	90, 100	90, 100		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						91, 530		
単価						91, 530	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一47号	仮蓋 (2)	地上機器用ﾌﾞﾛｯｸ開口部用	単位	枚	数量	1	単価	91, 530
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋版		据付け 有り 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	1, 430	1, 430		
仮蓋(材料費)		地上機器用ﾌﾞﾛｯｸ開口部用 445×1095(ﾒｯｷ品)	枚	1	90, 100	90, 100		
※歩掛見積参考資料公表対象								
計						91, 530		
単価						91, 530	円／枚	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一48号	ハントホール	600×600×600	単位	箇所	数量	1	単価 87, 350
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト集水桝		据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	1	10, 650	10, 650	
信号用ハントホール(材料費)		600×600×600(蓋含む)	組	1	76, 700	76, 700	
計						87, 350	
単価						87, 350	円／箇所

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一49号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量	1	単価 1, 214
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤(歩道部)		100mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	1, 214	1, 214	
計						1, 214	
単価						1, 214	円／m2

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－50号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 013
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 40mm 各種(2. 20以上2. 30t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 013	3, 013		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 013		
単価						3, 013	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－51号	上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 300mm	単位	m2	数量		1	単価 3, 279
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (歩道部)		300mm 2層施工 粒度調整砕石 M-40 全ての費用	m 2	1	3, 279	3, 279		
計						3, 279		
単価						3, 279	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－52号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 457
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 457	3, 457		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 457		
単価						3, 457	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－53号	上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 400mm	単位	m2	数量		1	単価 4, 709
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (歩道部)		400mm 3層施工 粒度調整砕石 M-40 全ての費用	m 2	1	4, 709	4, 709		
計						4, 709		
単価						4, 709	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一54号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3,457
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3,457	3,457		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3,457		
単価						3,457	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一55号	上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	単位	m2	数量		1	単価 3,069
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (歩道部)		250mm 2層施工 粒度調整砕石 M-40 全ての費用	m 2	1	3,069	3,069		
計						3,069		
単価						3,069	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一56号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 571
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 571	3, 571		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 571		
単価						3, 571	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一57号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量		1	単価 1, 316
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤 (歩道部)		150mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	1, 316	1, 316		
計						1, 316		
単価						1, 316	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一58号	上層路盤(歩道部)	粒度調整碎石 M-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	上層路盤(歩道部)	100mm 1層施工 粒度調整碎石 M-40 全ての費用	m 2	1	1, 430	1, 430		
	計					1, 430		
	単価					1, 430	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一59号	仮路盤	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	下層路盤(歩道部)	150mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	1, 316	1, 316		
	計					1, 316		
	単価					1, 316	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一60号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一61号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 571
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 571	3, 571		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 571		
単価						3, 571	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一62号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1, 316	
	下層路盤 (歩道部)	150mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	1, 316	1, 316		
	計					1, 316		
	単価					1, 316	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一63号	上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1, 640	
	上層路盤 (歩道部)	150mm 1層施工 粒度調整砕石 M-40 全ての費用	m 2	1	1, 640	1, 640		
	計					1, 640		
	単価					1, 640	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一64号	仮路盤	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 130mm	単位	m2	数量	1	単価	1, 275
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤（歩道部）		130mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	1, 275	1, 275		
計						1, 275		
単価						1, 275	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一65号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量	1	単価	3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一66号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3, 571
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 571	3, 571		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 571		
単価						3, 571	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一67号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	単位	m2	数量		1	単価 805. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	805. 8	805. 8		
計						805. 8		
単価						805. 8	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一68号	殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=7. 0km以下	単位	m3	数量	1	単価	2, 818
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 7. 0km以下 全ての費用	m 3	1	2, 818	2, 818		
計						2, 818		
単価						2, 818	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一69号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	2, 585
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費		アスファルト殻(破碎後積込) (夜間)	m 3	1	2, 585	2, 585		
計						2, 585		
単価						2, 585	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一70号	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	単位	m3	数量		単価	
						1		3,621
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m 3	1	3,621	3,621		
計						3,621		
単価						3,621	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一71号	土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=1. 0km以下	単位	m3	数量		単価	
						1		2,530
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 13m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1. 0km以下	m 3	1	2,530	2,530		
計						2,530		
単価						2,530	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一72号	積込 (ルーズ) 【昼間】	土砂 土量50, 000m3未満	単位	m3	数量		単価	
						1		244. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 土量50, 000m3未満	m 3	1	244. 3	244. 3		
計						244. 3		
単価						244. 3	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一73号	土砂等運搬 (2) 仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60. 0km以下	単位	m3	数量		単価	
						1		6, 222
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ バケット容量0. 8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60. 0km以下	m 3	1	6, 222	6, 222		
計						6, 222		
単価						6, 222	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一74号	整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 127. 8	
整地		残土受入れ地での処理						
			m 3	1	127. 8	127. 8		
	計					127. 8		
	単価					127. 8	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一75号	上層路盤	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 6, 013	
上層路盤（車道・路肩部）		路盤材(各種) 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下) 100mm プ°ライムコト PK-3 全ての費用						
			m 2	1	6, 013	6, 013		
※路盤材単価は夜間割増を含んでいる。								
	計					6, 013		
	単価					6, 013	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一76号	基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		単価	
						1		3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一77号	中間層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		単価	
						1		3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
中間層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一78号	表層	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		単価	
						1		3, 571
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 571	3, 571		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 571		
単価						3, 571	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一79号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	単位	m2	数量		単価	
						1		805. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	805. 8	805. 8		
計						805. 8		
単価						805. 8	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一80号	殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=7. 0km以下	単位	m3	数量	1	単価 2, 818
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 7. 0km以下 全ての費用	m 3	1	2, 818	2, 818	
計						2, 818	
単価						2, 818	円／m3

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一81号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価 2, 585
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		アスファルト殻(破碎後積込) (夜間)	m 3	1	2, 585	2, 585	
計						2, 585	
単価						2, 585	円／m3

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一82号	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	単位	m3	数量		単価	
						1		3,621
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m 3	1	3,621	3,621		
計						3,621		
単価						3,621	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一83号	土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=1. 0km以下	単位	m3	数量		単価	
						1		2,530
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 13m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1. 0km以下	m 3	1	2,530	2,530		
計						2,530		
単価						2,530	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－84号	積込 (ルース) 【昼間】	土砂 土量50, 000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	244. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルース)		土砂 土量50, 000m3未満	m 3	1	244. 3	244. 3		
計						244. 3		
単価						244. 3	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－85号	土砂等運搬 (2) 仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60. 0km以下	単位	m3	数量	1	単価	6, 222
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ バケット容量0. 8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60. 0km以下	m 3	1	6, 222	6, 222		
計						6, 222		
単価						6, 222	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一86号	整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 127. 8	
整地		残土受入れ地での処理						
			m 3	1	127. 8	127. 8		
	計					127. 8		
	単価					127. 8	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一87号	上層路盤	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 5, 293	
上層路盤（車道・路肩部）		路盤材(各種) 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下) 80mm プライムコート PK-3 全ての費用						
			m 2	1	5, 293	5, 293		
※路盤材単価は夜間割増を含んでいる。								
	計					5, 293		
	単価					5, 293	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－88号	基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		単価	
						1		3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－89号	中間層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満	単位	m2	数量		単価	
						1		3, 547
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
中間層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 547	3, 547		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3, 547		
単価						3, 547	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一90号	表層	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	単位	m2	数量		1	単価 3,571
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3,571	3,571		
※アスファルト単価は夜間割増を含んでいる。								
計						3,571		
単価						3,571	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一91号	薄層カー舗装	PRN-301	単位	m2	数量		1	単価 7,269
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
樹脂系すべり止め舗装工		車道(ETCレーン含む) RPN-301 100m2未満 無 有 有 無 無 1.0m超え(標準)	m 2	1	7,269	7,269		
計						7,269		
単価						7,269	円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-92号	現場打ちL型街渠 (1)	一般部(L1-1) FK-2(再利用)	単位	m	数量	10	単価	26,430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		再利用設置 B種(180/205×250×600) 無し 無し	m	10	5,197	51,970		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	2.38	44,020	104,767.6		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	6.6	14,030	92,598		
基礎碎石		12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	8	1,869	14,952		
計						264,287.6		
単価						26,430	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-93号	現場打ちL型街渠 (2)	乗入部 (L1-2) FK-2a-50 (再利用)	単位	m	数量	10	単価	25,910
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ブロック	再利用設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 無し 無し	m	10	4,672	46,720		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	2.38	44,020	104,767.6		
	※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。							
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	6.6	14,030	92,598		
	基礎碎石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン 40〜0 全ての費用	m 2	8	1,869	14,952		
	計					259,037.6		
	単価					25,910	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-94号	現場打ちL型街渠 (3)	横断部 (L1-3) FK-2a-20 (再利用)	単位	m	数量	10	単価	25,910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		再利用設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 無し 無し	m	10	4,672	46,720		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	2.38	44,020	104,767.6		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	6.6	14,030	92,598		
基礎碎石		12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン 40〜0 全ての費用	m 2	8	1,869	14,952		
計						259,037.6		
単価						25,910	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-95号	現場打ちL型街渠 (4)	一般部 (L2-1) FK-2 (再利用)	単位	m	数量	10	単価	26, 160
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		再利用設置 B種 (180/205×250×600) 無し 無し	m	10	5, 197	51, 970		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	2. 35	44, 020	103, 447		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	6. 5	14, 030	91, 195		
基礎碎石		12. 5cmを超え17. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	8	1, 869	14, 952		
計						261, 564		
単価						26, 160	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-96号	現場打ちL型街渠 (5)	乗入部 (L2-2) FK-2a-50 (再利用)	単位	m	数量	10	単価	25,640
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		再利用設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 無し 無し	m	10	4,672	46,720		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	2.35	44,020	103,447		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	6.5	14,030	91,195		
基礎碎石		12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン 40〜0 全ての費用	m 2	8	1,869	14,952		
計						256,314		
単価						25,640	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-97号	現場打ち街渠縦断管 (1)	一般部(L4-1) φ300 FK-2(再利用)	単位	m	数量	10	単価	56,670
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ブロック	再利用設置 B種(180/205×250×600) 無し 無し	m	10	5,197	51,970		
	ヒューム管 (B形管)	据付 300mm 無し 外圧管1種 全ての費用	m	10	15,750	157,500		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	3.63	44,020	159,792.6		
	※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。							
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	12.8	14,030	179,584		
	基礎碎石	12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	9.5	1,869	17,755.5		
	計					566,602.1		
	単価					56,670	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-98号	現場打ち街渠縦断管 (2)	乗入部 (L4-2) φ 300 FK-2a-50 (再利用)	単位	m	数量	10	単価	56, 140
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		再利用設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 無し 無し	m	10	4, 672	46, 720		
ヒューム管 (B形管)		据付 300mm 無し 外圧管1種 全ての費用	m	10	15, 750	157, 500		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	3. 63	44, 020	159, 792. 6		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	12. 8	14, 030	179, 584		
基礎砕石		12. 5cmを超え17. 5cm以下 再生クラッシュラン 40〜0 全ての費用	m 2	9. 5	1, 869	17, 755. 5		
計						561, 352. 1		
単価						56, 140	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一99号	ヒューム管(B形管) (1)	φ 200 90° 巻き 外圧管1種(再利用)	単位	m	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ヒューム管 (B形管)	据付 200mm 90° 巻き 有り 各種 各種 全ての費用	m	1	16,830	16,830		
	※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。							
	計					16,830		
	単価					16,830	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一100号	ヒューム管(B形管) (2)	φ 300 360° 巻き 外圧管1種(再利用)	単位	m	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ヒューム管 (B形管)	据付 300mm 360° 巻き 有り 各種 各種 全ての費用	m	1	38,010	38,010		
	※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。							
	計					38,010		
	単価					38,010	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-101号	プレキャスト街渠枠	一般部 460×450×575(再利用)	単位	箇所	数量	1	単価	14, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャスト集水枠		据付 200kgを超え400kg以下 有り 全ての費用	基	1	8, 679	8, 679		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 031	34, 910	1, 082. 21		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
【受枠・グレーチング蓋】								
プレキャスト集水枠		据付 80kgを超え200kg以下 無し 全ての費用	基	1	5, 130	5, 130		
計						14, 891. 21		
単価						14, 900	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一102号	植樹ブロック	150×180×900(再利用)	単位	m	数量		単価	
						1		8,308
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
地先境界ブロック		再利用設置 各種(600mm以下、50kg未満) 再生クラッシュラン RC-40 生コンクリート(各種) 有り	m	1	8,308	8,308		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
計						8,308		
単価						8,308	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一103号	ガードレール	Gr-B-4E(再利用)	単位	m	数量		単価	
						1		6,241
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵設置工(材料費を除く手間のみ)		土中建込 Gr-B-4E 塗装品 21m未満 有 無 無	m	1	6,241	6,241		
計						6,241		
単価						6,241	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－104号	溶融式区画線 (1) 【昼間】	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	432. 2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	432. 2	432. 2		
計						432. 2		
単価						432. 2	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－105号	溶融式区画線 (2) 【昼間】	溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	740. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 30cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	740. 3	740. 3		
計						740. 3		
単価						740. 3	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一106号	溶融式区画線 (3) 【昼間】	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	807.2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	807.2	807.2		
計						807.2		
単価						807.2	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一107号	溶融式区画線 (4) 【昼間】	溶融式手動 ゼブラ 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	827.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し ゼブラ 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	827.8	827.8		
計						827.8		
単価						827.8	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一108号	溶融式区画線 (5) 【昼間】	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水 性舗装無 白色	単位	m	数量	1	単価	981.5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	981.5	981.5		
計						981.5		
単価						981.5	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一109号	引込柱 (1)	φ 216. 3	単位	本	数量	1	単価	57, 780
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【工事費】								
※引込柱設置にかかる工事費は見込んでいない。								
【根巻コンクリート】								
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 42	44, 020	18, 488. 4		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 8	14, 030	39, 284		
【材料費】								
※引込柱の材料費は見込んでいない。								
計						57, 772. 4		
単価						57, 780	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一110号	引込柱 (2)	φ 165. 2	単位	本	数量	1	単価	47, 320
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【工事費】								
※引込柱設置にかかる工事費は見込んでいない。								
【根巻コンクリート】								
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 31	44, 020	13, 646. 2		
※コンクリート単価は夜間割増を含んでいない。								
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 4	14, 030	33, 672		
【材料費】								
※引込柱の材料費は見込んでいない。								
計						47, 318. 2		
単価						47, 320	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一111号	引込柱基礎	抵抗板付鋼製杭基礎	単位	基	数量	1	単価	1, 099, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	【工事費 共通】							
	抵抗板付鋼製杭基礎打込及び引抜(同日施工2回、1回)	有り	式	1		599, 000		
	【材料費】							
	引込柱(1)							
	抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)		t	0. 355	860, 000	305, 300		
	引込柱(2)							
	抵抗板付鋼製杭基礎材料費 (H形鋼杭)		t	0. 226	860, 000	194, 360		
	計					1, 098, 660		
	単価					1, 099, 000	円／基	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－112号	防護柵撤去 (ガードレール)	Gr-B-4E (再利用)	単位	m	数量	1	単価	2, 130
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵撤去工 (ガードレール撤去工)		土中建込・標準型 Gr-B-4E 有 無	m	1	2, 130	2, 130		
計						2, 130		
単価						2, 130	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－113号	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	15, 290
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 無し 有り 必要	m 3	1	15, 290	15, 290		
計						15, 290		
単価						15, 290	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一114号	プレキャスト街渠柵撤去	一般部 460×450×575(再利用)	単位	箇所	数量	1	単価	3,710
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水柵		撤去 200kgを超え400kg以下 全ての費用	基	1	3,710	3,710		
計						3,710		
単価						3,710	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一115号	縁塊撤去	再利用	単位	箇所	数量	1	単価	2,565
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水柵		撤去 80kgを超え200kg以下 全ての費用	基	1	2,565	2,565		
計						2,565		
単価						2,565	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一116号	ヒューム管(B形管)撤去 (1)	φ 200 外圧管1種(再利用)	単位	m	数量	1	単価	4, 447
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ヒューム管 (B形管)		撤去 200mm 全ての費用	m	1	4, 447	4, 447		
計						4, 447		
単価						4, 447	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一117号	ヒューム管(B形管)撤去 (2)	φ 300 外圧管1種(再利用)	単位	m	数量	1	単価	4, 447
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ヒューム管 (B形管)		撤去 300mm 全ての費用	m	1	4, 447	4, 447		
計						4, 447		
単価						4, 447	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一118号	歩車道境界ブロック撤去	再利用	単位	m	数量	1	単価	2, 134
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック撤去		再利用	m	1	2, 134	2, 134		
計						2, 134		
単価						2, 134	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一119号	植樹ブロック撤去	150×180×900(再利用)	単位	m	数量	1	単価	2, 134
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
地先境界ブロック撤去		再利用	m	1	2, 134	2, 134		
計						2, 134		
単価						2, 134	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－120号	殻運搬	コンクリート殻(無筋) 運搬距離 L=8. 0km以下	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 404
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 8. 0km以下 全ての費用	m 3	1	2, 404	2, 404		
計						2, 404		
単価						2, 404	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－121号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 585
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費		コンクリート殻(無筋) (夜間)	m 3	1	2, 585	2, 585		
計						2, 585		
単価						2, 585	円／m3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	2, 585
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費		アスファルト殻(電共)(夜間)	m 3	100	2, 585	258, 500		
	計					258, 500		
	単価					2, 585	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	コンクリート連結ダクト取付工 質量1000kg 超え4000kg以下	(鋼製ダクト・取付ダクト設置含む)	単位	箇所	数量	10	単価	32, 300
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	1. 49	48, 900	72, 861			
特殊作業員		人	0. 66	41, 250	27, 225			
普通作業員		人	4. 19	36, 450	152, 725			
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	最大吊上能力 2 5 t 吊	日	0. 88	65, 400	57, 552			
諸雑費 (率＋まるめ) 5%		式	1		12, 637			
計					323, 000			
単価					32, 300	円／箇所		

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	蓋版	据付け 有り 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	1, 430
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	蓋版コンクリート・鋼製	1 7 0 k g 以下 夜 無	枚	100	1, 430	143, 000		
	仮蓋(材料費)	別途計上	枚	100	0	0		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					143, 000		
	単価					1, 430	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	樹脂系すべり止め舗装工	車道(ETCレーン含む) RPN-301 100m2未満 無 有 有 無 無 1.0m超え(標準)	単位	m 2	数量	1	単価	7, 269
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	樹脂系すべり止め舗装工	R P N - 3 0 1	m 2	1	7, 269. 2	7, 269		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					7, 269		
	単価					7, 269	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	防護柵設置工（材料費を除く手間のみ）	土中建込 Gr-B-4E 塗装品 21m未満 有無 無	単位	m	数量	1	単価	6, 241
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ガードレール設置工 土中建込用	G r - B - 4 E 塗装	m	1	19, 905. 6	19, 905		
	ガードレール 路側用	土中建込 G r - B - 4 E 塗装	m	1	-13, 664	-13, 664		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					6, 241		
	単価					6, 241	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	432. 2
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1, 000	252	252, 000		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	570	252	143, 640		
	ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	25	187	4, 675		
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	655	16, 375		
	軽油		L	47	148	6, 956		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		8, 554		
	計					432, 200		
	単価					432. 2	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	740. 3
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 実線30cm 制約無	m	1, 000	386	386, 000		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	1, 130	252	284, 760		
	ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	50	187	9, 350		
	接着用プライマー	区画線用	k g	50	655	32, 750		
	軽油		L	72	148	10, 656		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		16, 784		
	計					740, 300		
	単価					740. 3	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 破線 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	807. 2
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 破線30cm 制約無	m	1, 000	451	451, 000		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	1, 130	252	284, 760		
	ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	50	187	9, 350		
	接着用プライマー	区画線用	k g	50	655	32, 750		
	軽油		L	84	148	12, 432		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		16, 908		
	計					807, 200		
	単価					807. 2	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	827. 8
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 ゼブラ30cm 制約無	m	1, 000	471	471, 000		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	1, 130	252	284, 760		
	ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	50	187	9, 350		
	接着用プライマー	区画線用	k g	50	655	32, 750		
	軽油		L	88	148	13, 024		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		16, 916		
	計					827, 800		
	単価					827. 8	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	区画線設置	無し 熔融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1, 000	単価	981. 5
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（熔融式）	昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	m	1, 200	627	752, 400		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	k g	684	252	172, 368		
	ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	30	187	5, 610		
	接着用プライマー	区画線用	k g	30	655	19, 650		
	軽油		L	139. 2	148	20, 601		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		10, 871		
	計					981, 500		
	単価					981. 5	円／m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	抵抗板付鋼製杭基礎打込及び引抜（ 同日施工2回、1回）	有り	単位	式	数量	1	単価	599, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
抵抗板付鋼製杭基礎打込および引抜 夜間		施工条件II	式	1		599, 000		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						599, 000		
単価						599, 000	円／式	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼 杭）		単位	t	数量	1	単価	860, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
抵抗板付鋼製杭基礎		ポールアンカー100型-V H150～400	t	1	860, 000	860, 000		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						860, 000		
単価						860, 000	円／ t	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	防護柵撤去工（ガードレール撤去工）	土中建込・標準型 Gr-B-4E 有 無	単位	m	数量		単価	
						1		2, 130
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガードレール撤去工 土中建込用		G r - A、B、C - 4 E						
			m	1	2, 130	2, 130		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						2, 130		
単価						2, 130	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 有り 必要	単位	m 3	数量		単価	
						1		15, 290
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物		夜間 機械施工 制約無						
			m 3	1	15, 288	15, 288		
諸雑費（まるめ）			式	1		2		
計						15, 290		
単価						15, 290	円／m 3	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員 A		単位	人日	数量		単価	
	【昼間】					1		19, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人	1	19, 200	19, 200		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						19, 200		
単価						19, 200	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員 B		単位	人日	数量		単価	
	【昼間】					1		17, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人	1	17, 500	17, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						17, 500		
単価						17, 500	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員 A		単位	人日	数量		単価	
	【夜間】					1		28, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人	1	28, 800	28, 800		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						28, 800		
単価						28, 800	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員 B		単位	人日	数量		単価	
	【夜間】					1		26, 250
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人	1	26, 250	26, 250		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						26, 250		
単価						26, 250	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道・東北・関東・北陸・中部 8. 6km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量		単価	4, 210
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分B		製品長12m以内 10kmまで	t	1	4, 210	4, 210		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						4, 210		
単価						4, 210	円／ t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	仮設材等の積込み，取卸し費	積込み，取卸し(片道分)	単位	t	数量		単価	1, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込み，取卸し費（仮設材等）			t	1	1, 500	1, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						1, 500		
単価						1, 500	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	地質調査費（一式入力）	61千円	単位	式	数量	1	単価	61, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
地質調査費			式	1		61, 000		
計						61, 000		
単価						61, 000	円／式	

R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1) 直接工事費	124, 308, 537
(2) 共通仮設費	14, 307, 491
(3) 純工事費	138, 616, 028

(1)+(2)

(4) 現場管理費	51, 930, 000
(5) 工期延長等に伴う現場維持等の費用	0

(6) 工事原価	190, 546, 028
-----------	---------------

(3)+(4)+(5)+(18)

(7') 一般管理費等(計上額)	32, 223, 972
------------------	--------------

(8') その他費目計	0
-------------	---

(9) 業務委託料等	0
-------------	---

(10) 工事価格	222, 770, 000
-----------	---------------

(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)

(11) 消費税相当額	22, 277, 000
-------------	--------------

(12) 請負工事価格	245, 047, 000
-------------	---------------

(10)+(11)

(13) 入札書比較価格	222, 770, 000
--------------	---------------

(請負工事費の100/110)

(14) 調査基準価格	222, 310, 000
-------------	---------------

(15) 調査基準価格の100/110	202, 100, 000
---------------------	---------------

(万円未満切り捨て)

(16) 工場製作純工事費	0
---------------	---

(17) 工場管理費	0
------------	---

(18) 工場製作原価	0
-------------	---

(16)+(17)

((7) 一般管理費等(計算額)	32, 230, 066	)
-------------------	--------------	---

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： C・C・BOX工事				合算工事： 0		
対象工事費	124,308,537	直接工事費	124,308,537	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	261,085	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（一）		0				
管理費区分1		0	（橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2, 7		0	（工場原価）			
管理費区分5		0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分T		0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支 給 品（+）		0				
無償貸付機械評価額（+）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		124,308,537		現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		124,047,452			0	0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		7.6 %		0	%	
施工地域等補正		1.4	ICT施工補正	1		
率（補正後）		10.64 %				
計上額		13,226,000		0		0
比較結果						
	当該追加工事	A				
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	124,047,452	直接工事費	124,308,537		
非対象額計（一）	261,085				
管理費区分1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	261,085	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	124,047,452	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	0.75 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.75 %				
計上額	930,000		0		0
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	151,491				
運搬費	26,266	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	125,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					14,307,491

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	138,616,028	単独（追加工事）直接工事費	124,308,537	単独（追加工事）共通仮設費	14,307,491
非対象額計（－）	61,000				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	61,000	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3％または3000万円を超える額）			
対象額　支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	138,555,028	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	138,293,943		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	31.23％		0％		0％
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0％	熱中症補正	0％	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0％				
砂防・地すべり補正	0％		0％		
率（補正後）	37.48％		0％		
計上額	51,930,000		0		0
			8,821,692（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	宇都宮国道事務所 管理第二課	工事番号	3551010021	第 0 回変更
発注年月	令和08年06月	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	主工種
			C・C・BOX工事	

工事原価	190,546,028				
純工事費	138,616,028	現場管理費	51,930,000	工期延長等に伴う現場維持費	0
非対象額計（－）	61,000				
管理費区分9	61,000	（支給品を除く間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3％または3000万円を超える額）			
一般管理費等対象工事原価					
単独（追加工事）	190,485,028	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く					
一般管理費等対象工事原価	190,223,943	現工事	0	合算工事	0
（調整工事入力で使用）					
前払金支出割合による補正係数	1	現工事			
財団法人等による補正係数	1				
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	190,485,028				
契約保証に係る補正值	0.04 %				
一般管理費率					
単独（追加工事）	16.88 %	現工事	0 %	合算工事	0 %
一般管理費	32,223,972				
業務委託料等	0				
調査基準価格	222,310,000				
調査基準価格の100/110	202,100,000	（ 90.72 %）			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事

国土交通省 関東地方整備局
宇都宮国道事務所 管理第二課

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
電線共同溝 【夜間】		式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
舗装版切断 (1) 【昼間】	アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	式		1		
舗装版切断 (2) 【昼間】	アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え30cm以下	式		1		
舗装版破碎 (1)	アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m2		240		
舗装版破碎 (2)	アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え35cm以下	m2		350		
殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=10.5km以下	m3		101		
殻処分	アスファルト殻	m3		101		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
開削掘削	土砂	式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め (1)	土砂(発生土)	式		1		
埋戻し・締固め (2)	中埋砂(購入土：埋戻し用砂)	式		1		
残土処理工		式		1		
土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=2.0km以下	式		1		
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	式		1		
土砂等運搬 (2)仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	式		1		
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋設管路 (1)	電力管 (角型多条管) 径 130mm	m		721		
埋設管路 (2)	電力管 径 130mm	m		69		
埋設管路 (3)	電力管・電力通信管 (角型多条管) 径 100mm	m		1,380		
埋設管路 (4)	電力管・電力通信管 径 100mm	m		130		
埋設管路 (5)	共用FA管 径 150mm	m		325		
埋設管路 (6)	ボティ管 径 250mm	m		289		
埋設管路 (7)	ボティ管 径 200mm	m		66		
埋設管路 (8)	通信管 径 75mm	m		481		
埋設管路 (9)	通信管 径 50mm	m		382		
埋設管路 (10)	通信管 (角型多条管) 径 81mm	m		36		
埋設管路 (11)	通信管 (角型多条管) 径 50mm	m		380		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋設管路 (12)	FEP管 径 65mm	m		3		
埋設管路 (13)	FEP管 径 30mm	m		3		
ダクトスリーブ・ヘルマウス材料費		個		212		
埋設表示シート (1)	W=300mm	m		100		
埋設表示シート (2)	W=400mm	m		299		
埋設表示シート (3)	W=600mm	m		496		
コンクリート削孔 (1)	削孔径 φ 120 200mm以上400mm未満	箇所		4		
コンクリート削孔 (2)	削孔径 φ 150 200mm以上400mm未満	箇所		4		
コンクリート削孔 (3)	削孔径 φ 180 200mm以上400mm未満	箇所		10		
防護コンクリート (1)	超速硬コンクリート	m3		3		
防護コンクリート (2)	超速硬コンクリート	m3		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
防護コンクリート (3)	超速硬コンクリート	m3		1		
防護鉄板 (1)	W1272×L500 t=16mm SS400	枚		25		
防護鉄板 (2)	W1465×L500 t=16mm SS400	枚		7		
防護鉄板 (3)	W2547×L500 t=16mm SS400	枚		4		
プレキャストボックス工 (特殊部)		式		1		
プレキャストボックス (1)	I 型 1200×1800×3500	箇所		3		
プレキャストボックス (2)	I 型 1200×1800×3500 道路横断 (サイ トボックス)	箇所		1		
プレキャストボックス (3)	I 型 1200×1800×3800 道路横断 (サイ トボックス)	箇所		1		
プレキャストボックス (4)	I 型 1200×1800×4000 地上機器直 上1基	箇所		1		
プレキャストボックス (5)	I 型 1200×1800×4000 地上機器横 置1基	箇所		2		
端壁材料費		個		16		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
サイトボックス	1000×600×650	箇所		2		
地上機器用ハトール (1)	995×710×1320・連結タクト(開口900×450)	箇所		1		
地上機器用ハトール (2)	995×710×1620・連結タクト(開口900×450)	箇所		1		
地上機器用ブロック	直上 995×395 H=700	箇所		1		
分岐桧	450×500×900(蓋含む)	箇所		6		
基礎材	再生クラッシュラン 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	m2		66		
蓋 (1)	鋳鉄製 φ750(車道用) H=350	組		6		
蓋 (2)-1	鋳鉄製 φ750(歩道用) H=250	組		1		
蓋 (2)-2	鋳鉄製 φ750(歩道用) H=700	組		1		
仮蓋 (1)	地上機器ハトール開口部用	枚		2		
仮蓋 (2)	地上機器用ブロック開口部用	枚		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
付帯設備工		式		1		
ハントホル工		式		1		
ハントホル	600×600×600	箇所		1		
舗装工		式		1		
アスファルト舗装工 (1) 歩道部		式		1		
下層路盤 (歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 100mm	m2		173		
表層 (歩道部)	再生密粒度アスコン (13) 舗装厚 40mm 1.4m未満	m2		173		
アスファルト舗装工 (2) 乗入部 (4m<W≤8m)		式		1		
上層路盤 (歩道部)	粒度調整碎石 M-40 仕上り厚 300mm	m2		51		
表層 (歩道部)	再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		51		
アスファルト舗装工 (3) 乗入部 (8m<W)		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
上層路盤 (歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 400mm	m2		2		
表層 (歩道部)	再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		2		
アスファルト舗装工 (4) 支道部		式		1		
上層路盤 (歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 250mm	m2		9		
表層 (車道・路肩部)	再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		9		
アスファルト舗装工 (5) 車道部 (仮仮復旧)		式		1		
下層路盤 (歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 150mm	m2		316		
上層路盤 (歩道部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 100mm	m2		316		
仮路盤	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 150mm	m2		316		
基層 (車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		316		
表層 (車道・路肩部)	再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		316		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
アスファルト舗装工 (6) 車道部2(仮復旧)		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 150mm	m2		33		
上層路盤(歩道部)	粒度調整碎石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		33		
仮路盤	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 130mm	m2		33		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		33		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		33		
舗装打換え工 (1) 車道部(仮復旧)		式		1		
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2		310		
殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=7.0km以下	m3		31		
殻処分	アスファルト殻	m3		31		
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m3		40		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
土砂等運搬 (1) 現場～仮置場	運搬距離 L=1.0km以下	m3		40		
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3		40		
土砂等運搬 (2) 仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	m3		40		
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	m3		40		
上層路盤	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 100mm	m2		316		
基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		316		
中間層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		316		
表層	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		316		
舗装打換え工 (2) 車道部2(仮復旧)		式		1		
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2		33		
殻運搬	アスファルト殻 運搬距離 L=7.0km以下	m3		3		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
殻処分	アスファルト殻	m3		3		
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準以外)	m3		4		
土砂等運搬 (1)現場～仮置場	運搬距離 L=1.0km以下	m3		4		
積込(ルース)	土砂 土量50,000m3未満	m3		4		
【昼間】 土砂等運搬 (2)仮置場～処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離 L=60.0km以下	m3		4		
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	m3		4		
上層路盤	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2		33		
基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		33		
中間層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		33		
表層	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		33		
薄層カー舗装工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
薄層カー舗装	PRN-301	m2		44		
排水構造物工		式		1		
側溝工		式		1		
現場打ちL型街渠 (1)	一般部 (L1-1) FK-2 (再利用)	m		49		
現場打ちL型街渠 (2)	乗入部 (L1-2) FK-2a-50 (再利用)	m		30		
現場打ちL型街渠 (3)	横断部 (L1-3) FK-2a-20 (再利用)	m		7		
現場打ちL型街渠 (4)	一般部 (L2-1) FK-2 (再利用)	m		4		
現場打ちL型街渠 (5)	乗入部 (L2-2) FK-2a-50 (再利用)	m		6		
現場打ち街渠縦断管 (1)	一般部 (L4-1) φ 300 FK-2 (再利用)	m		24		
現場打ち街渠縦断管 (2)	乗入部 (L4-2) φ 300 FK-2a-50 (再利用)	m		11		
管渠工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
ヒューム管 (B形管) (1)	φ 200 90° 巻き 外圧管1種 (再利用)	m		5		
ヒューム管 (B形管) (2)	φ 300 360° 巻き 外圧管1種 (再利用)	m		2		
集水桝・マンホール工		式		1		
プレキャスト街渠桝	一般部 460×450×575 (再利用)	箇所		6		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
植樹ブロック	150×180×900 (再利用)	m		63		
防護柵工		式		1		
路側防護柵工		式		1		
ガードレール	Gr-B-4E (再利用)	m		11		
区画線工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
区画線工		式		1		
溶融式区画線 (1) 【昼間】	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		24		
溶融式区画線 (2) 【昼間】	溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		3		
溶融式区画線 (3) 【昼間】	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		10		
溶融式区画線 (4) 【昼間】	溶融式手動 セブアラ 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		11		
溶融式区画線 (5) 【昼間】	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		8		
道路付属施設工		式		1		
引込柱設置工		式		1		
引込柱 (1)	φ 216.3	本		1		
引込柱 (2)	φ 165.2	本		1		
引込柱基礎	抵抗板付鋼製杭基礎	基		2		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
構造物撤去工		式		1		
防護柵撤去工		式		1		
防護柵撤去 (カーブレベル)	Gr-B-4E (再利用)	m		11		
構造物取壊し工		式		1		
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		39		
排水構造物撤去工		式		1		
プレキャスト街渠柵撤去	一般部 460×450×575 (再利用)	箇所		6		
縁塊撤去	再利用	箇所		6		
ヒューム管 (B形管) 撤去 (1)	φ 200 外圧管1種 (再利用)	m		5		
ヒューム管 (B形管) 撤去 (2)	φ 300 外圧管1種 (再利用)	m		2		
縁石撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
歩車道境界ブロック撤去	再利用	m		131		
植樹ブロック撤去	150×180×900(再利用)	m		63		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	コンクリート殻(無筋) 運搬距離 L=8.0km以下	m3		39		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		39		
仮設工		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
軽量鋼矢板(電線共同溝)	軽量鋼矢板Ⅱ型	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		式		1		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
技術管理費		式		1		
地質調査費	スクリーウェイト貫入試験 L=5.0m×2箇所=10.0m	式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事						(当 初)	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要	
工事原価			式		1			
一般管理費等			式		1			
工事価格			式		1			
消費税相当額			式		1			
工事費計			式		1			

令和 8 年度

R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事

特記仕様書

令和 8 年 6 月

国土交通省関東地方整備局
宇 都 宮 国 道 事 務 所

第1編 共通編

第1章 総則

第1条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書（令和8年度版）（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この作業の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下URLよりダウンロードするものとする。
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>
4. 本工事における「条件明示」については、別紙－1「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第2条 主任技術者等

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第3条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。
4. 主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第4条 専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第26条第3項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第5条 専任特例2号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第26条第3項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例2号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（8）の要件を全て満たさなければならない。
 - （1）建設業法第26条第3項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - （2）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - （3）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - （4）同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活

用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

（５）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務できる工事は栃木県内の工事ではない。

（６）専任特例２号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）専任特例２号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

２．現場の安全管理体制について、平成７年４月２１日付基発第２６７号の２「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする。」とされていることから、施工体制に留意すること。

３．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。

１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）

２）監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））

３）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（ＣＯＲＩＮＳの写し）

４．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第１項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提出すること。

５．本工事において、専任特例２号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録・修正を適切に行うこと。

第６条 コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「１-１-１-７コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不正実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第７条 コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書１-１-１-７コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（ＪＧＤ２０２４）に準拠する。

起点	栃木県宇都宮市下岡本町地先	緯度	36°35'49"	経度	139°56'55"
終点	栃木県宇都宮市下岡本町地先	緯度	36°36'8"	経度	139°57'26"

第8条 コリنز（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

本工事は、一般国道4号栃木県宇都宮市下岡本町地先において、無電柱化を目的とした電線共同溝工事を行うものである。

主な工種は電線共同溝工であり、管路工・約400m、特殊部・8箇所、分岐桝・6箇所、アスファルト舗装工・約600m²、植樹ブロック・約60mを予定している。

第9条 コリنز（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

業務名	テクリス番号
R4国道4号中岡本町外電線共同溝設計業務	4048914025

第10条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○改良工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会社 ◇◇建設株式会社 印
	

注意1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意2）所属会社の写真とする。

第11条 調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事）

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
2. 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - （1）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - （2）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - （3）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は宇都宮国道事務所のホームページにより公表する。

(4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。(別紙様式－０－１～１０参照)

資 料 名	内 訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査（工事費）	元請、下請の工事費内訳

第１２条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１３条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

- ・電線共同溝工
- ・排水構造物工
- ・舗装工

第１４条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１５条 工事書類の作成

- １．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和８年３月）」に基づき実施するものとする。
- ２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和８年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
- ３．「工事関係書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
- ４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第16条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によるものとする。

第17条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和8年3月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・ 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.8）
令和8年3月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）
3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ① 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ② サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③ ②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第18条 「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に1回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第19条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」

（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第20条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第21条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
 - ・「ワンデーレスポンス」とは
受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。
5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第22条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

- ①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。
- ②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第23条 設計図書の変更

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-17から1-1-1-19に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によることとする。

第24条 スライド条項

工事請負契約書第26条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不相当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不相当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第25条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）

1. 受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	As 量 5.5% 再生密粒	表層（車道部）（歩道部）
	As 量 5.0% 再生粗粒	基層（車道部） 中間層（車道部）
	As 量 4.0% 再生瀝青安定処理	上層路盤（車道部）
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤（車道部）（歩道部） 仮路盤（車道部）

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

※共通仕様書第3編 2-6-2 材料と整合をはかること。

2. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号最終改正令和4年6月17日法律68号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

（1）分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
工種ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工 土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎 基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ・舗装版破碎 ・コンクリート構造物取壊し その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用

（2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
アスファルト殻（電共）（夜間） アスファルト殻（破碎後積込み）（夜間） コンクリート殻（無筋）（取壊）（夜間）	（株）菊地組 柳田工場	栃木県宇都宮市 柳田町字稲荷穴 948-1 （運搬距離 L=6.4km）

上記（2）については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

（3）受入時間

（株）菊地組柳田工場

：17時00分～8時00分

（4）受入条件

(株)菊地組柳田工場

：掘削材は径 40 cm程度以下

：取壊し殻は径 30 cm程度以下

3. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成14年5月）」に定めた様式1〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

4. 工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第26条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。）するものとする。

なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第27条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。
4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Lを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。

なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3-3-3 配合」に従うものとする。

第28条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値（令和8年度版）によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

第29条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。

なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会

<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第30条 現場環境改善（快適トイレの設置）

1. 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- （１）洋式（洋風）便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- （３）臭い逆流防止機能
- （４）容易に開かない施錠機能
- （５）照明設備
- （６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- （９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗器
- （１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- （１２）室内寸法 900 mm×900 mm以上（面積ではない）
- （１３）擬音装置（機能を含む）
- （１４）着替え台
- （１５）臭気対策機能の多重化
- （１６）室内温度の調整が可能な設備
- （１７）小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２. の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第31条 BIM／CIM適用工事について

本工事は、BIM／CIM適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM／CIMを適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM／CIM取扱要領「附属資料１ 推奨

項目一覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。BIM/CIM適用工事に要する費用については、当初は計上していない。3次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

(例)

活用内容	活用内容の詳細
【義務項目】	
施工計画の検討補助	詳細設計等で作成された3次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。
2次元図面の理解補助	詳細設計等で作成された3次元モデルを閲覧し、2次元図面を理解する際の参考にする。
現場作業員等への説明	詳細設計等で作成された3次元モデルを用いて、現場作業員等に工事の完成イメージ等を説明し、現場作業員等の理解促進を図る。
【推奨項目】 (例)	
重ね合わせによる確認	3次元モデルに複数の情報を重ね合わせて表示することにより、位置関係にずれ、干渉等がないか等を確認する。 (例) 本工事では、建築限界および構造物等と官民境界の位置を確認する。
現場条件の確認	3次元モデルに建機等を配置し、近接物の干渉等、施工に支障がないか確認する。 (例) 本工事では、建機の搬出入経路及び旋回範囲を確認する。
施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの3次元モデルで施工可能かどうかを確認する。 (例) 本工事では、交通規制を伴う部分の切り替え、作業スペース等を確認する。 (例) 本工事では、工事進捗に伴い変化する仮設及び建機等の作業スペース等を確認する。
施工管理での活用	3次元モデル上で施工手順等を区分し、施工範囲の明確化や進捗管理等に活用する。 (例) 本工事では、護岸工の打設日毎に色分けをし、進捗確認を行う。

(参考) 3次元モデル作成の目安

詳細度	200～300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照)。

1. BIM/CIM実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIMの実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM実施(変更)計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM実施計画書(変更含む)に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 整理すべき課題

- 3) B I M / C I Mの実施内容（3次元モデルの活用内容、期待する効果等）
- 4) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
- 5) 3次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 6) 3次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
- 7) 3次元モデルの作成担当者
- 8) 3次元モデルの作成・活用に要する費用
2. B I M / C I M実施報告書の作成
B I M / C I M実施計画書に基づき実施した内容について、B I M / C I M実施報告書を作成する。以下の内容をB I M / C I M実施計画書に追記して作成する。
 - 9) 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）
 - 10) 省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等）
3. 成果物の納品
以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。
 - 1) B I M / C I M実施計画書・見積書（変更含む）
 - 2) B I M / C I M実施報告書（3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む）
 - 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J - L a n d X M L形式、I F C形式）、統合モデル、動画等）
4. その他
最新の情報はB I M / C I Mポータルサイト (<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>) で提供されているので、適宜参照すること。

第32条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。
なお、令和8年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。
 - I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
 - II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
 - III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
 - IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
 - V. 地下埋設物の損傷事故防止
 - VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
 - VII. 事故防止
2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。
 - ①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
 - ②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
 - ③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育
3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要及び工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和6年2月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。
4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。
5. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード

等保安施設の保安点検を行うものとする。

6. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通整理員（延人数）	備考
舗装版撤去工 舗装版破碎工 舗装版切断(1) 舗装版切断(2) 区画線工	昼間作業	42人（うち有資格誘導員 14人）	交代要員なし
上記以外の作業	夜間作業	850人（うち有資格誘導員 425人）	交代要員含む

注）「交代要員含む」とは、休憩、休息時間についても交通整理を行う場合

7. 試掘及び埋設物の防護

電線共同溝工の施工にあたり、地下埋設物に影響を与える箇所について埋設物の管理者等と協議し、必要と判断された場合は、試掘の実施について監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

また、現場条件等により埋設物の防護が必要な場合には、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第33条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。
2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。

（1）真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

（2）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が25℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又は暑さ指数（WBGT）が25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（3）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（4）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止

している期間、現場休工日は含まないものとする。

(5) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 = 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

(6) 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値(%) = 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：1. 2

第34条 安全管理推進技術者等認定について

1. 概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

- ・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。
- ・直轄工事にて、認定技術者として過去5回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

- ・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等を使用（印刷、シール）することができる。
- ・紛失等による認定書の再発行は行わない。
- ・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。

ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第35条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）1名以上を充て、他は経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第36条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第 37 条 交通規制日数の報告

現道上での（改築・維持修繕）工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。（別紙－3）

第 38 条 環境対策（特定調達品目の調達実績の調査）

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後（令和 9 年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで）に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第 39 条 環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機第 58 号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第 40 条 舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理しなければならない。

なお、舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理費用については当初見込んでいないが、建設資材廃棄物に該当するため、適正な処理方法について選定し監督職員と協議すること。

なお、濁水の運搬・処理費用等、必要と認められる経費についても契約変更の対象とする。

「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第 41 条 交通安全管理（工事現場管理）

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第42条 交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書1-1-1-37交通安全管理第14項における道路法第47条の2に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

- ①当該車両に関する特殊車両通行許可証
- ②現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
- ③車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書1-1-1-40官公庁等への手続等第3項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第43条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第47条第1項、車両制限令第3条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第44条 現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下表の計上費目ごとに1項目を実施するものとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

計上費目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	1. 昇降設備の充実 2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導警備員待機室を含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実等
安全関係	1. 孤児標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策等
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の100%を上限として設計変更の対象とする。

第45条 工期変更

1. 工期は、雨天、休日等144日を見込み、契約の翌日から令和9年6月30日までとする。なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）に加えて以下の日数を見込んでいる。

①準備期間	90日間
②後片付け期間	20日間
③雨休率（猛暑日補正有り） （実働工期日数に休日と天候等による作業不能日※を見込むための係数 実働日数×係数）	1.78

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日：30日間

ロ) 8時から17時までのWBG T値が31以上の時間を足し合わせた日数：6日間
（少数第1位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去5か年（2021年～2025年）の気象庁（宇都宮観測所）及び環境省（宇都宮地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

路上工事抑制期間（R8/8/8～8/16、R8/12/26～R9/1/3、R9/3/1～R9/3/31、R9/4/24～R9/5/6）

（上記日数は変更の場合がある）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-16により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和9年6月30日まで

※契約締結後において、工事の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

2. 著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第46条 工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ②著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合

⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第47条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工期工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「第46条 工事工程クリティカルパスの共有」により、作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙－5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第48条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。
工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。
なお、本工事の降雨降雪日は、宇都宮観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量雨が10mm以上／日の日を想定している。
2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第49条 個人情報の取り扱いについて
（基本的事項）

1. 受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。
（秘密の保持）
2. 受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（取得の制限）
3. 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。
（利用及び提供の制限）
4. 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。
（複写等の禁止）
5. 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはなら

ない。

（再委託の禁止）

6. 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第 2 項第 4 号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

（事案発生時における報告）

7. 受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（資料等の返却等）

8. ①受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－2）を発注者に提出しなければならない。

②前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

（管理の確認等）

9. 発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

（管理体制の整備）

10. 受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

（従事者への周知）

11. 受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第50条 施工時期及び施工時間の変更

1. 本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施工区分	標準作業時間
昼間作業	舗装版撤去工 舗装版破碎工 舗装版切断(1) 舗装版切断(2) 開削土工 残土処理工 積込(ルース) 土砂等運搬(2) 整地 舗装工 舗装打換え工(1) 積込(ルース) 土砂等運搬(2) 整地 舗装打換え工(2) 積込(ルース) 土砂等運搬(2) 整地 区画線工	8:00～17:00
夜間作業	上記を除く全ての作業	20:00～5:00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。当初設計は、上記表のとおりとするが、昼間施工についても検討を行うこと。なお、昼間施工の検討により作業時間が変更となる場合、交通管理者等との協議による工程の見直しが必要となる場合及び現地条件の変更等に伴う作業効率の低下等による工期の延期が必要となる場合は、監督職員と協議することができる。

また、令和8年8月8日から令和8年8月16日、令和8年12月26日から令和9年1月3日、令和9年3月1日から令和9年3月31日、令和9年4月24日から令和9年5月6日までの期間は路上工事抑制期間となるので、車線規制を必要とする工事は行ってはならない。

(上記日数は変更の場合がある)

2. 夜間作業における道路使用許可の時間帯は、20時～5時を見込んでいる。

3. 本工事は、働き方改革、熱中症予防の一環として、猛暑期間(7～8月頃)において現場施工を回避(休工や施工時間帯の変更)することについて、監督職員と協議を行うことができる。

なお、現場施工の回避に伴う工期延期については、詳細な工事スケジュールを作成し、必要に応じて設計変更の対象とする。

4. 本施工箇所を掘削する場合には、宇都宮市文化都市推進課へ埋蔵文化財包蔵地についての照会および届出を行い、必要に応じて立会いを受けるものとする。

第51条 他工事との調整

1. 下記工事の請負業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。
2. 本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	工事内容	施工箇所	工期（予定）
一般国道4号下岡本町電線共同溝に伴う引込管等設備工事	設備工事	宇都宮市下岡本町地先 (113.257kp～114.276kp)	令和8年7月上旬～ 令和9年3月下旬
一般国道4号下岡本町電線共同溝に伴う引込管等設備その2工事	設備工事	宇都宮市下岡本町地先 (113.257kp～114.276kp)	令和8年7月上旬～ 令和9年3月下旬

第52条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。
2. 新技術の定義
新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。
 - ① 技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
 - ② 公共工事等において実用段階に達している技術
 - ③ 当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
 - ④ 実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術
3. 対象とする新技術
新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。
 - 1) 新技術情報提供システム（NETIS）登録技術
URL <https://www.netis.mlit.go.jp>
 - 2) NETISのテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術
 - 3) 新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術
 - 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術
対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。
なお、NETIS掲載期間終了技術は対象外とする。

第53条 新技術の活用（施工者選定型）

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において、第52条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術がNETIS登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。
3. 受注者は、選定した新技術が第52条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない
5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたりNETIS申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用はNETIS申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS

S申請者の負担とする。

7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－V E」以外のN E T I S登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(N E T I S)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第54条 建設現場における遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R 5. 3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

（1）段階確認・材料確認、立会での確認

- ① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声Web会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。
- ② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（2）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（3）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web会議システム（teams、zoom等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（4）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（5）フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式－19を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力

するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月3日（国不建第121号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

(8) 通信環境

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第55条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）とWeb会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7. 3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施 状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7. 3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）により取得した映像及び音声をWeb会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日（国不建第121号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第56条 契約後VE方式

(定義について)

「VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

(VE提案の意義及び範囲について)

1. 受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。
2. 以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。
 - (1) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。
 - (2) 契約書第18条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。
 - (3) 提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

(VE提案書の提出について)

1. 受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書（別紙様式－1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - (1) 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - (2) VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - (3) VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - (4) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - (5) 工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項
 - (6) その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
2. 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
3. 受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。
4. VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(VE提案の審査について)

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

(V E提案の採否等について)

V E提案の採否について、原則として、V E提案の受領後14日以内に書面(別紙様式-5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、V E提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

(V E提案を採用した場合の設計変更等について)

(1)V E提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

(2)前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

(3)前項の変更を行う場合においては、V E提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(以下「V E管理費」という。)を削減しないものとする。

(4)V E提案を採用した後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、発注者がV E提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、V E管理費については、原則として変更しないものとする。

(V E提案の活用と保護について)

評価の結果、当該V E提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

第57条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。

また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第52条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評価

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第58条 出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」[国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照]に基づき行うものとする。

第59条 直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査(試行)

(受注者希望方式)

1. 本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費(以下「賃金・労働時間等」という。)の実態を調査する試行工事である。

2. 受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。
3. 発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
4. 発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第60条 低炭素型コンクリート試行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時のCO₂排出量（コンクリートの材料のCO₂排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

①低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が55%以上のもの又はこれと同等以上のCO₂排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
- ・低炭素型コンクリート製品の見積書
- ・低炭素型コンクリート製品によるCO₂排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が55%以上であること又は同等以上のCO₂排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

②試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③試行結果の検証への協力

試行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第2章 土工

第61条 建設発生土の受け入れ地

1. 発生土の受け入れ条件は、次のとおりとする。
 - (1) 発生土の受け入れ条件は、次のとおりとする。
 - ・昼間施工：夜間仮置き箇所からの運搬距離は、 $L=50.7\text{km}$
 - 受け入れ地：栃木県那須郡那須町高久甲地先(新4号 55.5kp)
 - (2) 発生土の種類
第3種発生土以上
 - (3) 受け入れ時間
8:00～17:00(夜間受け入れ不可)
 - (4) 仮置等の有無
本工事では、夜間施工の土工事で発生する建設発生土の運搬を、運搬距離 $L=1.0\text{km}$ で見込んでいるが、仮置き場所の指定はしていない。
現場状況により仮置きの場所、運搬距離が変更となった場合には、監督職員と協議を行い、設計変更の対象とする。
 - (5) 受け入れ地での処理
受け入れ地での処理方法は、整地（処分地での処理）を見込んでいる。
2. 搬出調書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
3. 工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
4. 実際に要した受け入れ費を証明する資料を監督職員に提出しなければならない。

第62条 建設発生土の情報提供対象工事の提供内容

受注者は、本工事から建設発生土を 100m^3 以上搬出する場合は、別紙様式－8－1～8－2により搬出前に搬出先区市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX等で提出しなければならない。

なお、情報提供後速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

1. 工事件名、工事概要、工事場所
2. 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
3. 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
4. 建設発生土の運搬業者名
5. 建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所
6. 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
7. 建設発生土の搬出時期（搬出期間）
8. 建設発生土の土質（砂、ローム等）、土量（ m^3 ）

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

第63条 レディーミクストコンクリート

1. コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

No	使用区分	呼び強度	粗骨材の 最大寸法	水セメント比	セメントの 種類	摘要	参考スランプ ※注1
		N/mm ²	mm	%以下			cm
1	排水構造物工 側溝工 管渠工 集水樹・マンホール工 縁石工 縁石工 道路付属施設工 引込柱設置工	18	25	指定なし	高炉B種		8

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

※注1

本工事の特記仕様書、数量総括表及び図面に記載されたスランプは、積算上の参考値である。

現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成29年3月）」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。契約後に受発注者間でスランプ値の確認を行い、施工条件等により、協議の上、スランプを指定することができる。

ただし、（1）使用するコンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比を配合計算書により確認する（2）使用するコンクリートの目標スランプが12cmを超える場合には、（1）に加え、試し練りを行い材料分離抵抗性を確認すること。

2. コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成14年8月一部改正）により行うものとする。

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

- ・仮設構造物(建設後数年の内に撤去するもの。)
- ・最大高さ1m未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
- ・管（函）渠等（φ600未満、600mm×600mm未満）の構造物。
- ・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
- ・耐久性を期待しない構造物。

3. 本工事では、コンクリートの夜間割増単価を計上していないため、監督職員との協議の上、設計変更の対象とする。

第64条 モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントでセメント量は、530kg/m³以上（又は、1：3）とする。

第 2 編 材料編

第 1 章 土木工事材料

第 6 5 条 一般瀝青材料

ストレートアスファルトの針入度は下表のとおりとする。

用 途	針入度	摘 要
表層・中間層・基層	40～60	舗装工（車道部）
表層	60～80	舗装工（歩道部）
上層路盤	40～80	舗装工（車道部）

第 6 6 条 区画線

1. 塗装厚は、下表のとおりとする。

幅（cm）	厚（mm）	摘 要
1 5 3 0	1. 5	夜間の視認性が優れたもの。

2. 区画線設置様式は別添－2のとおりとする。

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

第67条 建設業担い手確保・育成貢献の取組

受注者は、自ら立案実施した建設業担い手の確保・育成に関する取組について、工事完成までに様式－1及び様式－2により、監督職員に提出することができる。

第68条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

本工事を担当する現場技術員の氏名は、別途監督職員より通知する。

第69条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

また、本工事は施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ASP）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ASP）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第70条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号 最終改正令和6年12月13日）第15条3により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ASP）により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第1回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているWEB会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてWEB会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第71条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－12によるものとする。

第72条 工事完成図書の納品（電子納品）

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和5年3月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作

成した電子データを指す。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和6年3月）」を参考とするものとする。

2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第73条 技術検査

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分（完済を含む）の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第74条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第75条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第2章 一般施工

第76条 防護柵設置工における出来形確保対策について

1. 受注者は、防護柵設置工の出来形管理方法について、防護柵設置工着手前に監督職員と協議しなければならない。
2. 受注者は、支柱の建て込み時に現地の状況等により建て込みが困難な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
3. 受注者は、防護柵の所定の根入れ長を確保するため、非破壊試験による出来形管理を行う。
ただし、以下の場合はビデオカメラによる出来形管理とすることができる。
 - (1) 防護柵が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」（以下「測定要領(案)」という。）[国土交通省HP <http://www.mlit.go.jp/tec/seki-san/sekou.html> 参照]の適用範囲外の場合
 - (2) 受注者が測定機器を調達できない場合
 - (3) 測定機器が測定要領（案）で定める性能基準を満たさない場合
 - (4) 非破壊試験による出来形管理が妥当ではないと判断される場合
 - (5) その他非破壊試験によって出来形管理ができない場合
4. 非破壊試験による出来形管理にあたっては、測定要領（案）に従い行う。
5. ビデオカメラによる出来形管理にあたっては、以下の状況をビデオカメラにより全本数分撮影する。
 - (1) 支柱建て込み前の根入れ長測定状況
 - (2) 支柱建て込み直前（機械セット時）から建て込み完了まで連続撮影なお、撮影したビデオテープ等の記録媒体は施工確認書（別紙様式－13）とともに監督職員へ提出する。
6. これらに定められていない場合は、監督職員と協議する。
7. 非破壊試験費用は見込んでいないが、監督職員と協議のうえ非破壊試験による出来形管理を行うこととした場合は設計変更の対象とする。

第77条 歩道舗装

1. 本工事の施工にあたっては、低騒音、低振動型の建設機械を使用するものとする。
2. 工事を行う際は舗装切断を行うなど適切な措置を行うものとする。
3. 施工にあたり、横断方向の勾配は2%を標準とする。縦断方向の勾配は5%以下とするが、沿道の状況等によりやむを得ない場合には8%以下とすることができる。
また、交通の支障とならないようにするものとする。なお、縦断勾配を設ける箇所には、横断勾配は設けないものとする。段差箇所付近には「段差あり」の標識を設置しなければならない。
4. 工事着手前に工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、現状を十分把握しておくこと。
5. 本工事区画内の境界杭・境界釘について調査を行い、破損等がある場合には監督職員と協議するものとする。
6. 歩道の施工に際しては、車椅子等の通行を考慮し、極力勾配を少なくするよう段差・切下げ等について配慮すること。（別添－3－1～3－4）
なお、詳細については監督職員と協議するものとする。
7. 横断勾配箇所は、車椅子等の通行を考慮し、横断勾配の低減を行い配慮すること。
8. 横断歩道等に接続する歩道等の部分の縁端は、車道等の部分より高くするものとし、その段差は2センチメートルを標準とするものとする。
9. 詳細については、監督職員と協議するものとする。

第 78 条 引込柱設置

引込柱設置に伴う工事費および材料費については当初計上していないため、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

第4編 道路編

第1章 舗装

第79条 材料

1. 粒状路盤材クラッシャーランは、RC-40とする。
2. 粒度調整碎石は、M-40とする。
3. 加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量および骨材の最大粒径は、次の通りとする。

呼び名	混合物の種類	最大粒径	アスファルト量	適用
RAst	再生瀝青安定処理	40mm	4.0%	車道部（上層路盤）
RA①	再生粗粒度アスコン	20mm	5.0%	車道部（基層・中間層）
RA②	再生密粒度アスコン	20mm	5.5%	車道部（表層） 支道部（表層） 歩道部（表層）
		13mm		歩道部（表層）

第80条 加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物（「以下(混合物)」という。）で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第81条 中温化アスファルト舗装の試行

本工事において、中温化アスファルト舗装の試行の実施について、監督職員と協議するものとする。なお、中温化アスファルト混合物の流通状況等により、実施が困難な場合もあるため、本試行の実施は任意とする。

＜試行内容＞

- ・新規合材を対象とする。
- ・実施範囲や実施時期等の詳細については、監督職員と協議する。
- ・中温化アスファルト混合物は製造時の加熱温度をマイナス20℃又はマイナス30℃低減させて製造されるものを使用する。
- ・機械式フォームド方式を基本とするが、監督職員と協議の上、添加剤方式も可とする。
- ・本試行に伴う追加費用は設計変更の対象とする。
- ・本試行を実施した場合、実施後に監督職員より送付されるアンケートに協力するものとする。

第2章 電線共同溝

第82条 工事の遵守事項

受注者は、「電線共同溝管理規定（案）」（平成10年7月27日）、「電線共同溝保安細則（案）」（平成10年7月27日）及び「電線共同溝・情報ボックス管理マニュアル（案）Ver. 2TYPE-B」（平成15年10月）、「電線共同溝参考資料（案）」（令和元年12月）、「電線共同溝工事における監督・検査体制の強化について（試行）」（平成20年3月25日）を遵守しなければならない。

また、角型多条電線管については、無電柱化低コスト手法技術検討委員会と同様の試験を行い、埋設に使用可能な管種と同等以上の強度があり、舗装への影響が基準を満たすことを公的機関等において証明されたもので、かつ割管対応できるものであること。

第83条 低コスト化のための比較検討

管路部及び特殊部について、当初設計においては従来手法により積算・発注しているが、原則として、無電柱化における管路部等の低コスト化に資する技術を用いることとし、「NETISテーマ設定型の比較表：無電柱化における管路部等の低コスト化に資する技術」も参考に、現地状況等を踏まえつつ比較検討を行い、採用する技術を決定すること。なお、比較検討の結果、異なる手法が選定された場合は、検討費用も含め設計変更の対象とする。

（参考）NETIS「テーマ設定型の比較表」（国土交通省）

<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubtheme/themesettings>

第84条 仮設工

本工事では、軽量鋼矢板（電線共同溝）Ⅱ型で、施工時の山留工を計上しているが、施工の際には、施工箇所の地質条件、地下水位の状況等を考慮し、仮設方法を選定するものとする。

仮設方法が変更となった場合には、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

第5編 その他

第1章 その他

第85条 舗装台帳

舗装台帳等の資料作成は、監督職員の指示により作成し、工事完成時に下記の資料を提出するものとする。

提出資料 各2部（原稿1部、コピー1部）

- （1）舗装台帳
- （2）舗装施工データシート（別紙様式－14－1～14－2）
- （3）舗装施工概略図
- （4）位置図（1／50，000）
- （5）平面図（完成平面図）

第86条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第87条 道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す「道路施設基本データ」を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、「道路施設基本データ」の内容について、説明を求める事がある。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物及び付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
				E150	雪崩防止施設
構造物	D010	橋梁		E160	落石防止施設
	D020	橋側歩道橋		E170	消雪パイプ
	D030	横断歩道橋		E180	ロードヒーティング
	D040	トンネル		E190	除雪ステーション
	D050	洞門		E200	防災備蓄
	D060	スノーシェット		E210	共同溝
	D070	地下横断歩道		E220	CAB 電線共同溝
	D080	道路 BOX 等		E230	植栽
	D090	横断 BOX 等		E240	遮音施設
	D100	パイプカルバート		E250	遮光フェンス
	D120	擁壁			

D130	スノーシェルダー	E270	流雪溝
E010	防護柵	E310	防雪林
E020	道路照明	E320	路側放送
E030	視線誘導標(反射式)	E330	光ケーブル施設
E040	視線誘導標(自光式)	E340	道路反射鏡
E050	道路標識	E350	ビレーン

2. 道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベース データ作成マニュアル(案)』によるものとする。
3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。
4. 道路施設基本データ作成にあたっての工事番号は、CORINS登録時の「工事契約コード番号」とする。
5. 道路施設基本データに係わる提出物として、以下のものを電子データにて提出すること。
 - ①道路施設台帳作成総括表
 - ②道路施設基本データ総括表
 - ③道路施設基本データ一覧表
 - ④道路施設台帳チェックシート
 - ⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑦工事数量総括表

第88条 「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第89条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

以上

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	☐ 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 ■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 ☐ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 ☐ 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 ☐ 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第 50 条 第 45 条 第 45 条
用地関係	☐ 工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。 ☐ 工事用地等の使用終了後における復旧内容。 ☐ 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 ☐ 施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 ☐ 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 ■ 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 ☐ 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。	第 39 条 第 40 条
安全対策関係	☐ 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 ☐ 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 ☐ 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 ■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 ☐ 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。	第 32 条、第 35 条
工事用道路関係	一般道路を搬入路として使用する場合 ☐ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。 ☐ 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。 仮道路を設置する場合。 ☐ 仮道路に関する安全施設等が必要である場合は、その内容、期間。 ☐ 仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。 ☐ 仮道路の維持補修が必要である場合は、その内容。	
仮設備関係	☐ 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 ■ 仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法 ☐ 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。	第 84 条

明示項目	明示事項	記載条項
建設副産物関係	■ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 ■ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。 ■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第 61 条 第 27 条 第 25 条
工事支障物件等	□ 地上、地下等の占有物件の有無及び占有物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。 □ 地上、地下等の占有物件工事と重複して施工する場合は、その工事内容及び期間等。	
薬液注入関係	□ 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、施工範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等。 □ 周辺環境への調査が必要な場合は、その内容。	
その他	□ 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。 □ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。 □ 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等。 □ 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。 □ 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。 □ 工事用電力等を指定する場合は、その内容。 □ 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容。 □ 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期。 □ 給水の必要のある場合は、取水箇所・方法等。	

別紙様式－０－１

【低価格理由とその詳細】

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費の低減	生石灰、セメント系固化材を材料納入品協力会社から7%引きで購入。コンクリート2次製品は19%引きで購入。生コンクリートはグループ会社から20%引きで購入
②		
③	機械経費の低減	自社保有の建設機械車両(全100台)を使用。ダンプトラック運搬はグループ会社を中心に使用し運賃を削減。
④		
⑤	作業効率の向上	現場経験豊富な熟練したオペレータによるロスのない重機作業。仕上がり精度の高い法面整形。補助労務を必要としない程丁寧な仕上りの床堀作業。
⑥	下請業者の協力	施工協力会社に植生基材吹付工を外注し、設計想定より10%引きとする。
⑦	経費の低減	冬期間においても会社から現場まで45分程度で到着する。
⑧	現場管理費の低減	パソコン、デジカメ、プリンタ、仮設資材等を所有している。
⑨	安全資機材の低減	安全標識類を所有している。
⑩	本支店経費の低減	役員報酬、事務員給料を未計上。
⑪		
⑫	受注実績の取得	国交省発注工事の受注実績の取得
⑬		
⑭	その他	作業員の雇用確保、重機械の稼働率向上

別紙様式－０－２

【比較表－１】

積算内訳書の比較表

記 入 要 領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。											
工 事 名	〇〇道路改良工事											
工事区分・工種・種別	単位	入 札 時					工 事 完 成 時					備 考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
道路土工	式	1		1			1		1			
地盤改良工	式	1		1			1		1			
法面工	式	1		1			1		1			
カルバート工	式	1		1			1		1			
排水構造物工	式	1		1			1		1			
構造物撤去工	式	1		1			1		1			
仮設工	式	1		1			1		1			
直接工事費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
純工事費	式	1		1			1		1			
現場管理費	式	1		1			1		1			
工事原価	式	1		1			1		1			
一般管理費	式	1		1			1		1			
基礎工	式	1		1			1		1			
工事価格	式	1		1			1		1			

別紙様式－０－３

【比較表－２】

内 訳 書 対 する 明 細 書 の 比 較 表

記 入 要 領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工 事 名	〇〇道路改良工事													
工事区分・工種・ 種別・細別	単 位	入 札 時						工 事 完 成 時						備 考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
道路土工	式	1			1			1			1			
掘削工	〃	1			1			1			1			
掘削(土砂)	m3	39,300			39,300			35,800			1			
掘削(軟岩)	〃	2,250			2,250			0			1			
路体盛土工	式	1			1			1			36			
路体(流用土)	m3	4,100			4,100			10,600			14			
法面整形工	式	1			1			1			30			
法面整形(切土部)	m2	5,920			5,920			5,010			9			
法面整形(切土部)	〃	250			250			0			1			
法面整形(盛土)	〃	330			330			160			11			
地盤改良工	式	1			1			1			1			
安定処理工	〃	1			1			1			1			
基礎安定処理 45kg/m3	m2	1,000			1,000			0			1			
〃 53. 6kg/m3 t=0.5m	〃	0			0			115			1			
〃 53. 6kg/m3 t=0.8m	〃	0			0			785			2			
路体安定処理 30kg/m3	m3	4,100			4,100			0			2			
路体安定処理 33kg/m3	m3	0			0			13,100			200			

[illegible]

【比較表－4】

[illegible]

【比較表－5】

手持ち機械の比較表(主要機械)

[illegible]

労務者の確保計画の比較表

[illegible]

【比較表一 7】

工種別労務者配置計画の比較表

[illegible]

【比較表－8】

1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。
2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。
3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみ要した価格を記入してください(収集、運搬等に要した費用を除く)。
4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

[illegible]

【諸経費動向調査（工事費）】

工事費内訳		注)消費税抜きで記入ください		金額単位：千円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		元請・元請外注	元 種	元請外注 合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479	1480	1481	1482	1483	1484	1485	1486	1487	1488	1489	1

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工 事 関 係 書 類					工事関係書類 の 標準様式(案) (様式No)	作成書類 役割分担		発注者作成 書類の位置づ け		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成 媒体の 事前協議		備 考	
作成 時期	種 別	No.	書 類 名 称	書類作成の根拠		発注者	受注者	指示	通知	提出			提示	監督職員 へ連絡	監督職員 へ納品	電子 ☆	紙 ◎		
										監督 職員	契約 担当 課	発注 担当 課							受注者 保管
工事着手前	作成書類 の 役割 分担	設計 審査 会 で 確 認	1【事例】 工事のお知らせ(自治会、住民等への周知)	共通仕様書1-1-1-36-7	－		○							○				令和○年○月○日設計審査会で確認	
			2【事例】 関係機関(〇〇〇)協議結果に基づく届出	共通仕様書1-1-1-36-2	－		○						○					令和○年○月○日設計審査会で確認	
			3【事例】 土壌汚染対策法第4条1項に基づく届出	土壌汚染対策法第4条1項	－	○			○									土地の形質の変更に着手する日の30日前までに届け出	
			4【事例 概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 関係機関(〇〇〇)との設計・施工協議	河川法、道路法、道路交通法等の個別法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認	
			5【事例 概算概略発注のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 占用物件(〇〇〇)の移設の調整、監督処分	河川法、道路法	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認	
			6【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による協議資料	共通仕様書1-1-1-3-2	－		○			○								令和○年○月○日設計審査会で確認	
			7【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による設計図修正(構造計算の伴うものや大幅な修正)	共通仕様書1-1-1-15	－	○			○									令和○年○月○日設計審査会で確認 個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定。 (受注者が実施する場合は、設計費用を発注者が負担する)	
	契約図書	設計図書	8 工事請負契約書	－	－	○													
			9 共通仕様書	－	－	○													
			10 特記仕様書	－	－	○													
			11 発注図面	－	－	○													
			12 現場説明書	－	－	○													
			13 質問回答書	－	－	○													
			14 工事数量総括表	－	－	○													
	契約関係書類		15 現場代理人等通知書	工事請負契約書第10条1項	様式－1		○					○							
			16 請負代金内訳書	工事請負契約書第3条1項 共通仕様書3-1-1-1	様式－2		○					○							契約書を作成する全ての工事
			17 工事工程表	工事請負契約書第3条1項	様式－3		○					○							
			18 掛金収納書(電子申請方式)	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号) 共通仕様書1-1-1-41-6	様式－4		○					○							電子申請を使用しない場合は、「掛金収納書提出用台紙」に掛金収納書を張り付けたうえ、提出する。なお、スキャン、撮影によるデータ化も可とする。
			19 建退共証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	－		○						○						
			20 工事別共済証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	－		○						○						
			21 掛金充当実績総括表	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	－		○						○						
			22 被共済者就労状況報告書	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	－		○						○						
			23 掛金充当書	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	－		○						○						
			24 請求書(前払金)	工事請負契約書第34条1項	様式－5		○					○							
			25 VE提案書(契約後VE時)	特記仕様書	様式－6		○						○						契約締結後にVE提案を行う場合に提出する。
	その他		26 品質証明員通知書	共通仕様書3-1-1-6-5	様式－7		○				○								契約図書で規定された場合に提出する。
			27 再生資源利用計画書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-4	－		○					○							該当する建設資材を搬入する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
			28 再生資源利用促進計画書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-5	－		○					○							該当する建設副産物を搬出する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
			29 建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○					○							
			30 建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○					○							
工事書類	1 施工計画	① 施工計画	31 施工計画書	共通仕様書1-1-1-4-1	－		○				○							工事着手前又は施工方法が確定した時期に監督職員に提出 重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更以外)には、その都度当該工事に着手する前に、変更施工計画書を監督職員に提出する。	
			32 ISO9001品質計画書	特記仕様書	－		○				○								
			33 設計図書の照査確認資料 (契約書18条に該当する事実があった場合)	共通仕様書1-1-1-3-2	－		○				○								
			34 工事測量成果表(仮BM及び多角点の設置)	共通仕様書1-1-1-38-1	－		○				○								
			35 工事測量結果(設計図書との照合) (設計図書と差異有り)		－		○				○							設計図書と差異があった場合にのみ監督職員に提出する。	
	2 施工体制	② 施工体制	36 施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○				○							・『「施工体制台帳に係る書類の提出について」』の一部改正について(令和3年3月5日付け国官技第319号、国営整第16号)に基づき作成する。 ・建設業及び 一次下請人 の警備業以外は不要	
			37 施工体系図	共通仕様書1-1-1-10-2	－		○				○								
			38 作業員名簿	共通仕様書1-1-1-10-1	－		○				○								
	3 施工状況	③ 施工管理	39 工事打合せ簿(指示)	共通仕様書1-1-1-2-15	様式－9		○												
			40 工事打合せ簿(協議)	共通仕様書1-1-1-2-17	様式－9		○					○							協議の根拠となる一般的な諸基準類のコピーは添付不要。
			41 工事打合せ簿(承諾)	共通仕様書1-1-1-2-16	様式－9		○					○							
			42 工事打合せ簿(提出)	共通仕様書1-1-1-2-18	様式－9		○					○							
			43 工事打合せ簿(報告)	共通仕様書1-1-1-2-20	様式－9		○					○							
			44 工事打合せ簿(通知)	共通仕様書1-1-1-2-21	様式－9		○					○							
			45 材料確認書	共通仕様書2-1-2-4	様式－10		○					○							設計図書に記載しているもの以外は材料確認願の提出は不要
			46 材料納入伝票	共通仕様書2-1-2-1	－		○							○					設計図書で指定した材料や監督職員から請求があった場合は提出する。

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工 事 関 係 書 類					工事関係書類 の 標準様式(案) (様式No)	作成書類 役割分担		発注者作成 書類の位置づ け		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成 媒体の 事前協議		備 考		
作成 時期	種 別		No.	書 類 名 称		書類作成の根拠	発注者	受注者	指示 受注者	通知 受注者	提出			提示 受注者 保管	監督職員 へ連絡	監督職員 へ納品	電子 ☆		紙 ◎	
											監督 職員	契約 担当 課	発注 担当 課							
施 工 中	工事書類	3 施工状況	47	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4-6	様式－11		○				○							・契約図書で規定された場合のみ対象 ・段階確認書に添付する資料は新たに作成する必要なし。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。	
			48	確認・立会依頼書	共通仕様書3-1-1-4-1	様式－12													・確認・立会依頼書添付する資料を新たに作成する必要はない。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。	
			49	休日・夜間作業届	共通仕様書1-1-1-37-2	－			○						○				ASP、電子メールなどにより連絡する。 ただし、現道上の工事については「提出」とする。	
		4 安全管理	50	安全教育訓練実施資料	共通仕様書1-1-1-27-13	－			○						○					監督職員へ実施内容の提示のみで提出不要。
			51	工事事故速報	共通仕様書1-1-1-30	様式－13			○							○				事故が発生した場合、直ちに連絡するとともに、事故の概要を書面により速やかに報告する。
			52	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-30	－			○											事故報告書はSAS(建設工事事故データベースシステム)により作成して提出するほか、監督職員から請求があった資料を提出する。
		5 管工程	53	工事履行報告書	工事請負契約書第11条 共通仕様書1-1-1-25	様式－14			○											工程の進捗状況を把握するため、実施工程表の提示を求めることがある。根拠資料の添付不要。
		6 品質管理	54	品質規格証明資料	共通仕様書2-1-2-1	－			○											指定材料のみ提出(設計図書で指定した材料を含む)。
	契約関係書類	中間前払金	55	認定請求書	工事請負契約書第35条4項	様式－15		○					○							
			56	請求書(中間前払金)	工事請負契約書第35条3項	様式－5		○					○							
		完済部分検査	57	指定部分完成通知書	工事請負契約書第39条1項	様式－16		○					○							
			58	指定部分引渡書	工事請負契約書第39条1項	様式－17		○					○							
			59	請求書(指定部分完済払金)	工事請負契約書第39条1項	様式－5		○					○							
			60	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○					○							
		既済部分検査	61	請負工事既済部分検査請求書	工事請負契約書第38条2項	様式－19		○					○							
			62	出来形報告書 (数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7-2	－		○					○							中間技術検査時にも提出する。
			62	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○					○							
			63	請求書(部分払金)	工事請負契約書第38条5項	様式－5		○					○							
		修補	64	修補完了届	工事請負契約書第32条1項 工事請負契約書第32条6項	様式－21		○					○							
		部分使用	65	部分使用承諾書	工事請負契約書第34条1項	様式－22		○					○							部分使用がある場合に提出する。
		工期延期	66	工期延期願	工事請負契約書第18条～22条	様式－23		○					○							工期延期が発生する場合に提出する。
		支給品	67	支給品受領書	工事請負契約書第15条3項	様式－24		○					○							支給品を受領した場合に提出する。
			68	支給品精算書	共通仕様書1-1-1-17-3	様式－25		○					○							支給品がある場合に提出する。
		建設機械	69	建設機械使用実績報告書	共通仕様書1-1-1-17-5	様式－26		○					○							建設機械の貸与がある場合に提出する。
			70	建設機械借用・返納書	工事請負契約書第15条3項	様式－27		○					○							建設機械の貸与がある場合に提出する。
		現場発生品	71	現場発生品調書	共通仕様書1-1-1-18	様式－28		○					○							現場発生品がある場合に提出する。
	その他		72	出来形報告書 (数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7	－		○					○							既済部分検査等の際に提出する。
			73	産業廃棄物管理表(マニフェスト)	共通仕様書1-1-1-19-2	－		○							○					・産業廃棄物がある場合に監督職員へ提示すればよく、コピーの提出不要。
			74	建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○						○						
			75	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○						○						
			76	新技術活用関係資料	特記仕様書	－		○						○						新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている技術を活用して工事施工する場合に提出する。
工 事 完 成 時	契約関係書類		77	完成通知書	工事請負契約書第32条1項	様式－29		○					○							
			78	引渡書	工事請負契約書第32条4項	様式－30							○							
			79	請求書(完成代金)	工事請負契約書第33条1項	様式－5							○							
	工事書類		80	出来形管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－31		○					○						・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・出来形の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形管理図(工程能力図)、度数表(ヒストグラム)については、出来形管理図表にて代用可能なため提出不要。	
			81	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－32			○					○					・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・品質の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図(工程能力図)、度数表(ヒストグラム)については、品質管理図表にて代用可能なため提出不要。	
			82	品質証明書	特記仕様書	様式－33			○					○					・契約図書で規定された場合に提出する。 ・品質証明に関する添付書類は提出不要	
			83	工事写真	共通仕様書1-1-1-24-8	－			○					○				☆	・工事写真の撮影にあたっては、写真管理基準(案)を適用する。 ・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき提出する。 ・紙の工事写真帳の提出不要 ・不可視部分を含め、監督職員又は現場技術員が臨場して確認した箇所は、出来形管理写真等の撮影は省略 ・監督職員等が確認や立会っている状況写真等も不要。	
			84	総合評価実施報告書	特記仕様書	－			○					○						総合評価落札方式を適用して契約した場合に提出する。
			85	創意工夫・社会性等に関する実施状況	特記仕様書 共通仕様書3-1-1-10	様式－34			○					○						自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として、特に評価できる項目を実施すれば提出できる。 1工事につき最大10項目までの提出とする。
	工事完成図書		86	工事完成図	共通仕様書1-1-1-20 共通仕様書3-1-1-7	－			○				○				○	☆	・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。	
			87	工事管理台帳	共通仕様書3-1-1-7	－			○					○				○	☆	・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。
	その他		88	再生資源利用実施書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－			○					○					該当する建設資材を搬入した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。	
			89	再生資源利用促進実施書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－			○					○					該当する建設副産物を搬出した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。	
工 事 後 完	その他		90	低入札価格調査 (間接工事費等諸経費動向調査票)	共通仕様書1-1-1-13-5-3	－		○	○					○				「低入札価格調査制度」の調査対象工事の場合に完成日から30日以内に提出する。		

実交通規制日数

別紙－３

工 事 名 :

請負業者名 :

請 負 額 :

工 期 自： 令和 年 月 日
至： 令和 年 月 日

工 区	自:	地先(kp)
	至:	地先(kp)

[illegible]

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(分任) 支出負担行為担当官
〇〇 〇〇 様

住所
商号又は名称
氏名 印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 か ら (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※工事の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工期の始期及び終期）を記載する。

概略工事工程表

工事名 R 8 国道 4 号中岡本町外電線共同溝工事

別紙ー5

工 種		単位	数 量	令和8年					令和9年					備 考		
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		6月	
準備		式	1	余 裕 期 間 ※ 任 意 で 設 定 可 能											・90日間	
舗装版撤去工		式	1													(1pt)
電線共同溝工		m	398													(1pt)
排水構造物工		m	131													(1pt)
縁石工		m	63													(1pt)
舗装工(電線共同溝部)		m2	582													(1pt)
薄層カラー舗装工		m2	44													(1pt)
後片付け		式	1													・20日間
制 約 条 件	路上工事抑制															
	関係機関協議	栃木県警													・道路工事実施協議 ・9月下旬完了予定	

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》
本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

証明書

工事（業務）名：_____

受 注 業 者：_____

証 明 者：_____

個人情報記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

※以下は、紙により提出する場合において、押印を省略する場合のみ記載すること。
連絡先は2以上記載すること。

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：_____

担当者（会社名・部署名・氏名）：_____

連絡先 1：_____

連絡先 2：_____

（※証明者について

工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。

業務については、「管理技術者」が行うものとする。）

【遠隔臨場に関する基礎調査様式】

●基本情報

工事名	
会社名	
担当者名	
連絡先	
アドレス	

●遠隔臨場を適用した項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	段階確認	矢板工	鋼矢板	打込時	長さ	・ 検尺及び目視確認が可能だったため ・ 確認頻度が多くあり、現場作業の調整の効率化を図るために実施	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場を適用せず、従来の現場臨場とした項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	段階確認	掘削工		土質の変化した時	土質、変化位置	・ 土(岩)質の確認は映像では困難のため	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場に使用した機器

No.	機器構成 (選択)	遠隔臨場システムの名称 (自由記述)	遠隔臨場システムのメーカー名 (自由記述)	監督職員ＰＣとのセキュリティ上の通信可否 (つながる or つながらない)
記入例	パッケージシステム	Generation-eye	(株) Atos	つながらない

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

様式－６（１）

年月日：

V E 提 案 書

（発注者） 殿

（受注者）

工事請負契約書第１９条の２に基づきV E提案書を提出いたします。

工事件名：	連絡者	
契約締結日：	氏 名	
	T E L	
	F A X	
V E提案の概要		
注）記入欄が不足する場合には、様式－６（１）の２として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。		
番 号	項 目 内 容	概算低減額：千円
概 算 低 減 額 合 計		

様式－6 (2)

番 号	項 目 内 容								
(1) 設計図書の定める内容と、V E 提案の内容の対比 <table border="1"><thead><tr><th>【現状】</th><th>略図等</th><th>【改善案】</th><th>略図等</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="4"></td></tr></tbody></table>		【現状】	略図等	【改善案】	略図等				
【現状】	略図等	【改善案】	略図等						
(2) 提案理由									
(3) V E 提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）									
(4) 品質保証の証明（品質保証書の添付等）									
(5) その他									

様式一 6 (3)

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

VE 提案による概算低減額及び算出根拠

[illegible]

様式－６（４）

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

（１）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（２）ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

令和 年 月 日 号

V E 提 案 採 否 通 知 書

〇 〇 〇 〇 殿

支出負担行為担当官
〇〇地方整備局長 印

特記仕様書「〇 V E 提案について」に基づき、令和 年 月 日付けで提出されましたV E 提案に対する審査結果を下記のとおり通知します。

工 事 件 名 : 契約締結日 :		V E 提案項目数 : 採用項目数 : 不採用項目数 :
V E 提案に対する「採否」及びその理由		
番 号	項 目 内 容	概算低減額 : 千円

(注) 採否に関する問い合わせ先

建設発生土搬出のお知らせ

令和 年 月 日

殿

会 社 名 :

現場代理人名 :

下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工 事 件 名			
工 事 場 所			
工 事 概 要			
工 事 発 注 機 関 名			
工事監督職員又は担当者名			
連絡先機関・電話番号	TEL :		
工 事 受 注 業 者 名			
担当者名・電話番号	氏名 :	TEL :	
建設発生土の運搬業者			
建設発生土の受入先名等			
住 所			
建設発生土の運搬経路	(別添図面の通り)		
建設発生土の搬出時期	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
建設発生土の土質、土量	土質 :	搬出量 :	m3

＜記入例＞

(別紙)

建設発生土搬出のお知らせ	
令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
〇〇〇〇部 〇〇〇〇課 殿	
会 社 名：〇〇〇〇建設(株) 現場代理人名：〇〇 〇〇〇	
下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。	
工 事 件 名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇地先
工 事 概 要	土工〇〇〇m ³ 、舗装工〇〇〇m ² 、法面工〇〇〇m ² 、仮設工１式 搬出：発生土〇〇〇m ³ 、 搬入：ＡＳ合材〇〇〇ト、碎石〇〇〇m ³ 、
工 事 発 注 機 関 名	国土交通省 関東地方整備局 〇〇事務所
工事監督職員又は担当者名	主任監督員〇〇〇〇〇、監督員〇〇〇〇〇、
連絡先機関・電話番号	〇〇事務所〇〇出張所 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
工 事 受 注 業 者 名	〇〇〇〇建設(株)
担当者名・電話番号	氏名：〇〇〇〇〇 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
建設発生土の運搬業者	〇〇〇〇興業(株)
建設発生土の受入先名等	〇〇〇〇土地改良事業
住 所	〇〇県〇〇市〇〇番地
建設発生土の運搬経路	(別添図面の通り)
建設発生土の搬出時期	令和 〇 年 〇〇月 〇〇日 ～ 令和 〇 年 〇〇月 〇〇日
建設発生土の土質、土量	土質：砂質土 搬出量： 〇〇〇 m ³

(案)

様式－ 1

担い手確保・育成に関する実施状況（概要報告）

工 事 名	〇〇工事	受注者名	△△建設(株)
項 目	実施内容		
☐ 建設業界への入職のきっかけづくりとなる取組	・子供、学生等に対する現場見学会、インターンシップの実施 建設工事の施工体験、測量機器等の操作体験 等		
☐ 建設業の社会的意義・役割や魅力・やりがいを知ってもらうための取組	・地域の防災訓練に参加、災害時に地域住民等を支援 ・建設現場での新技術の活用、i-Construction・情報化施工等の取組を社会にアピール 等		
☐ 建設現場の労働環境を改善する取組	・労働者に対する週休2日の確保を徹底 ・働きやすい環境(更衣室、休息場所の設置など)の整備		
☐ 若手技術者育成、女性技術者育成のための取組	・当該工事現場をフィールドにした若手技術者、女性技術者に対する研修や講習会等を実施 等		
☐ その他			

(案)

担い手確保・育成に関する実施状況（詳細報告）

担当出張所名:□□出張所

工 事 名	〇〇工事		受注者名	〇〇建設(株)
項 目	様式－１の「項目」を記載			
実施内容	様式－１の「実施内容」を記載			
実施日(期間)	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日(〇日間)		対象者・人数	〇〇高校、〇名
他工事との合同実施	☐ 有り ☐ 無し		合同実施工事名 (〇〇工事)	
マスコミ取材	☐ 有り ☐ 無し		取材会社名 (〇〇新聞社、△△テレビ)	
(具体的な実施内容の説明)				
(添付図・写真)				

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

別紙様式－ 1 2

様式－ 3 3

年月日：

品 質 証 明 書

工事名：_____

品 質 証 明 記 事				
品 質 証 明 事 項	実 施 日	箇 所	品質証明員氏名 印	記 事

社内検査した結果、工事請負工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

受注者 住 所

氏 名

施工確認書（案）

工事名

確認者

路側防護柵工（土中埋め込み式）の施工について、社内検査の結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された出来形を確保していることを確認しました。

また、防護柵の所要の根入れ長が確保されていることが確認できる状況（建て込み時の施工状況、若しくは埋込み長の測定状況等）をビデオカメラにより全本数分を撮影した資料（ビデオテープ等）を提出致します。

令和 年 月 日

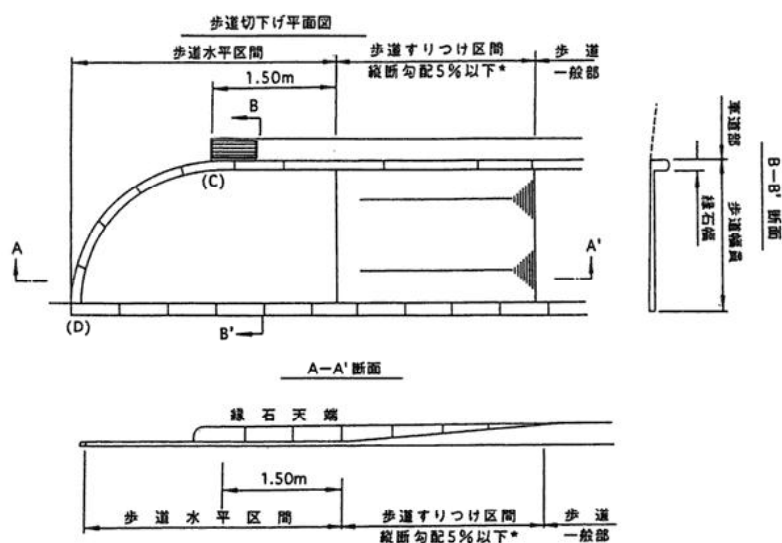
受注者 住所

氏名

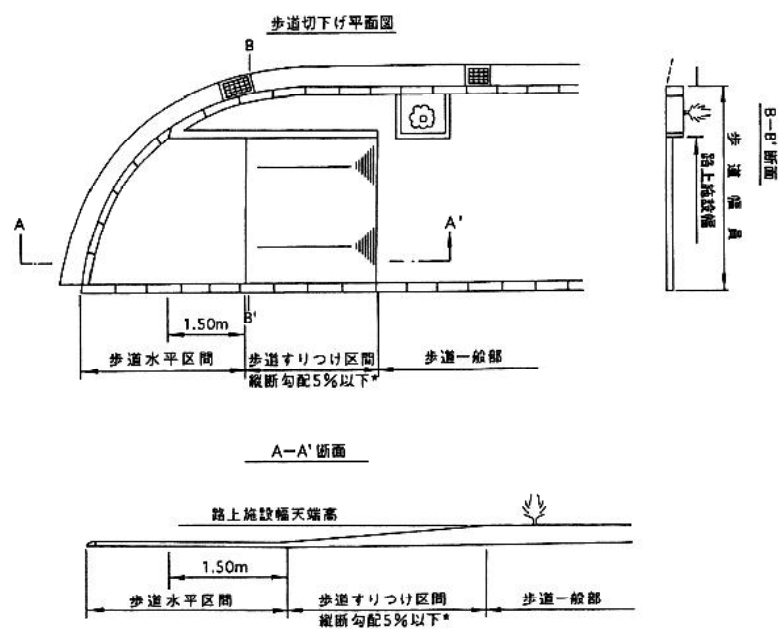
（※施工確認者については、「品質証明員」が行うものとする。但し、品質証明制度を適用していない工事について「主任（監理）技術者」が行うものとする。）

別添－3－1

I.横断歩道箇所等における車道とのすりつけ部

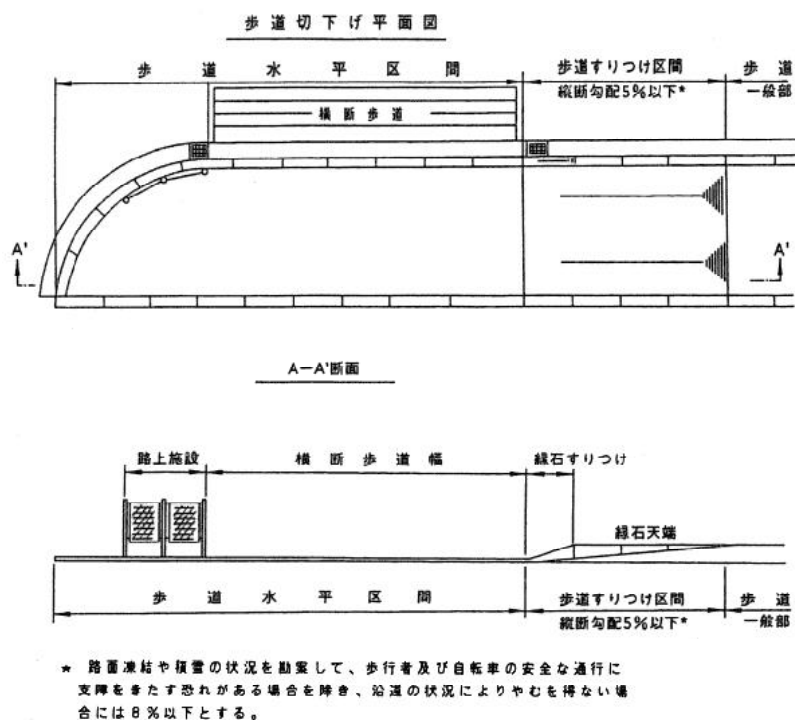


参考図I-1 歩道等の巻込み部における構造(歩道等の幅員が狭い場合)

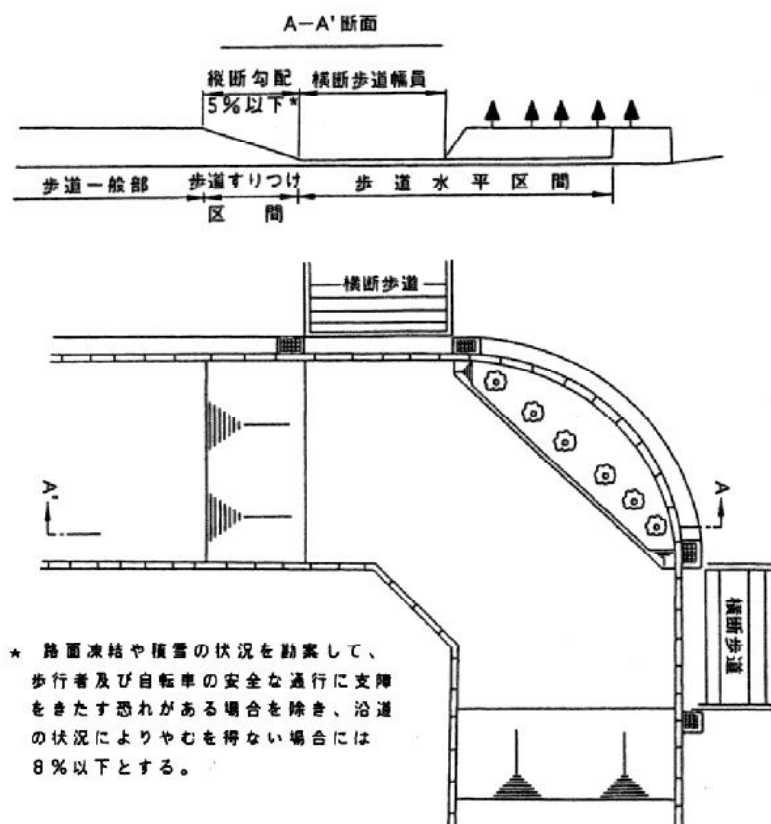


参考図I-2 同上(歩道等の幅員が広い場合)

別添－3－2

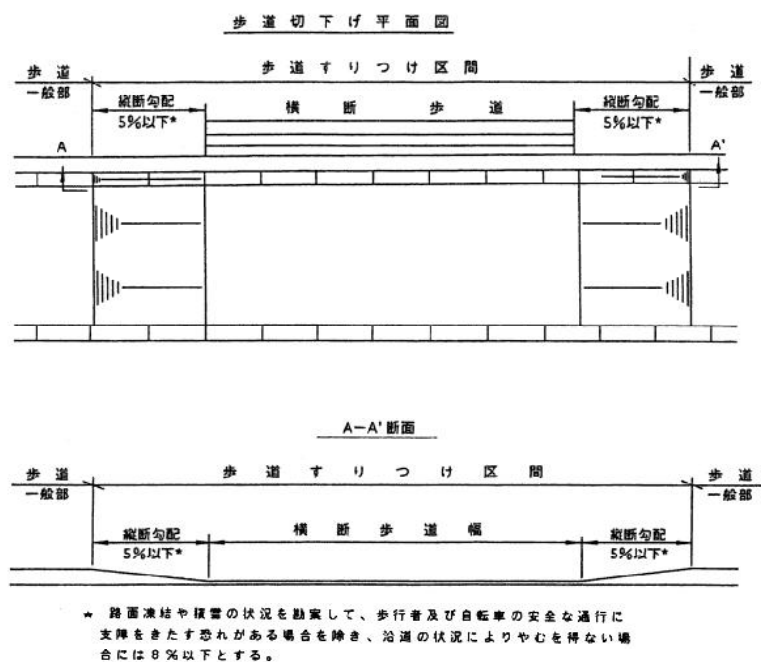


参考図 I-3 横断歩道箇所における構造

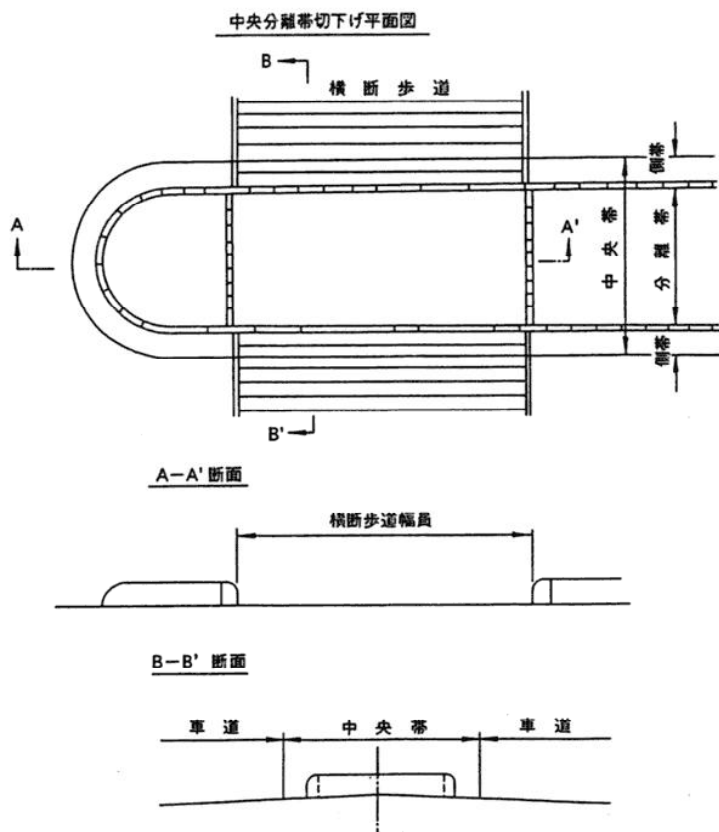


参考図 I-4 同上(交差点に横断歩道がある場合)

別添－3－3



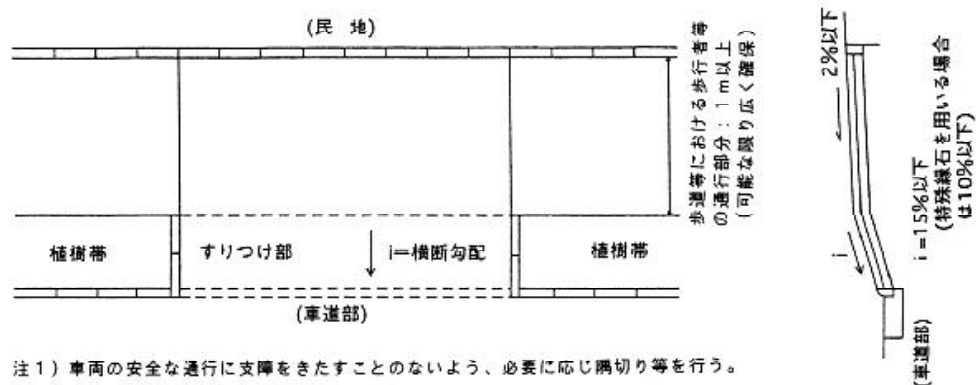
参考図 I-5 同上(交差点以外に横断歩道がある場合)



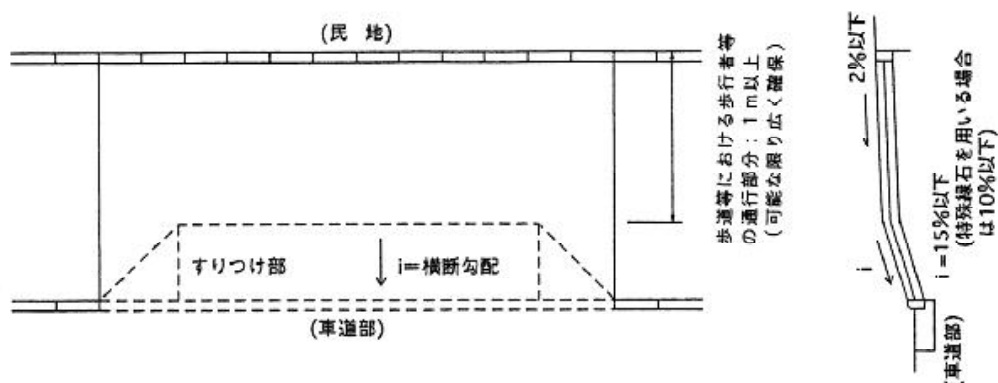
参考図 I-6 同上(中央分離帯等がある場合)

別添－３－４

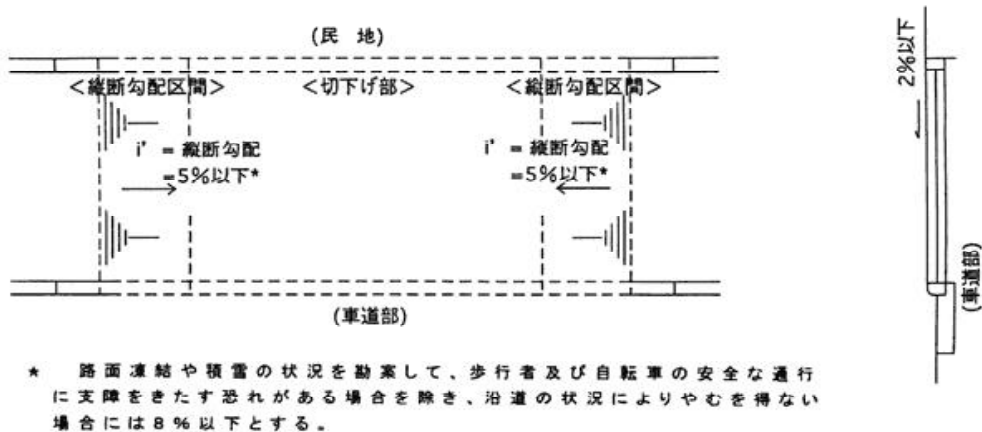
II.車両乗入れ部



参考図 II-1 植樹帯等の幅員内ですりつけを行う構造



参考図 II-2 歩道等内においてすりつけを行う構造



参考図 II-3 歩道等の全面切下げを行う構造

「歩道における段差及び勾配等に関する基準」

URL:<http://www.mlit.go.jp/road/press/press0/990910c.html>

事務所	出張所	作成年月日	整理番号	
9. すべり抵抗		元号 年 月	◆記入要領◆ ・該当コード番号を○で囲む。 ・□□欄は数値・コードを記入し、 不明の場合は「*」を記入する。	
測定年月		H	主任監督員	
測定方法		1：すべり抵抗測定車 2：回転式すべり抵抗試験機（DFテスト） 3：振り子式スキッドレジスタンステスト 9：その他		
路面温度		℃		
			作成者	

1. 路線名

路線番号 現旧新 枝番号

→1:現道 2:旧道 3:新道

路線名称 (枝番がある時、バイパス名等を記入する)

2. 上り下り区分

1 : 上り 3 : 上下
2 : 下り

9. すべり抵抗

測定年月

H	:	:	:
---	---	---	---

測定方法 1: すべり抵抗測定車
2: 回転式すべり抵抗試験機 (DF テスタ)
3: 振り子式スキッドレジスタンステスタ
9: その他

路面温度 ℃

速度1 km/h すべり摩擦係数1 .

速度2 km/h すべり摩擦係数2 .

速度3 km/h すべり摩擦係数3 .

3. 車線(車線区分+車線番号)

--	--	--	--	--

(車線番号はセンター側から数えた車線位置番号)

コード	車線区分	コード	車線区分
1	本線	5	左折車線
2	登坂車線	6	加減速車線
3	ゆずり車線	7	副道
4	右折車線	ランプコード	連結路（ランプ）

4. 距離標

〔自〕 k m ー 〔至〕 k m

5. 施工年月

H				
---	--	--	--	--

6. 性能確認時期

1 : 施工直後
2 : 1年後
9 : その他

10. 路面騒音

測定年月	H		
測定方法	1：関東地方整備局所有の路面騒音測定車 2：近畿地方整備局所有の路面騒音測定車 3：九州地方整備局所有の路面騒音測定車 4：中国地方整備局所有の路面騒音測定車 5：道路建設業協会所有の路面騒音測定車 9：その他		

測定車両の平均速度 . km/h
 気温 ℃
 路面温度 ℃
 路面騒音値 . デシベル

7. 平たん性

測定年月

H	:	:	:	
---	---	---	---	--

測定方法 1: 3mプロファイルメータによる方法
2: 3m直線定規による方法
3: 路面性状測定車による方法
9: その他

凹凸量の標準偏差1  .  mm
 凹凸量の標準偏差2  .  mm
 (標準偏差1: 平坦性の障害となるマンホール等の部分のデータを除かない値)
 (標準偏差2: 平坦性の障害となるマンホール等の部分のデータを除いた値)

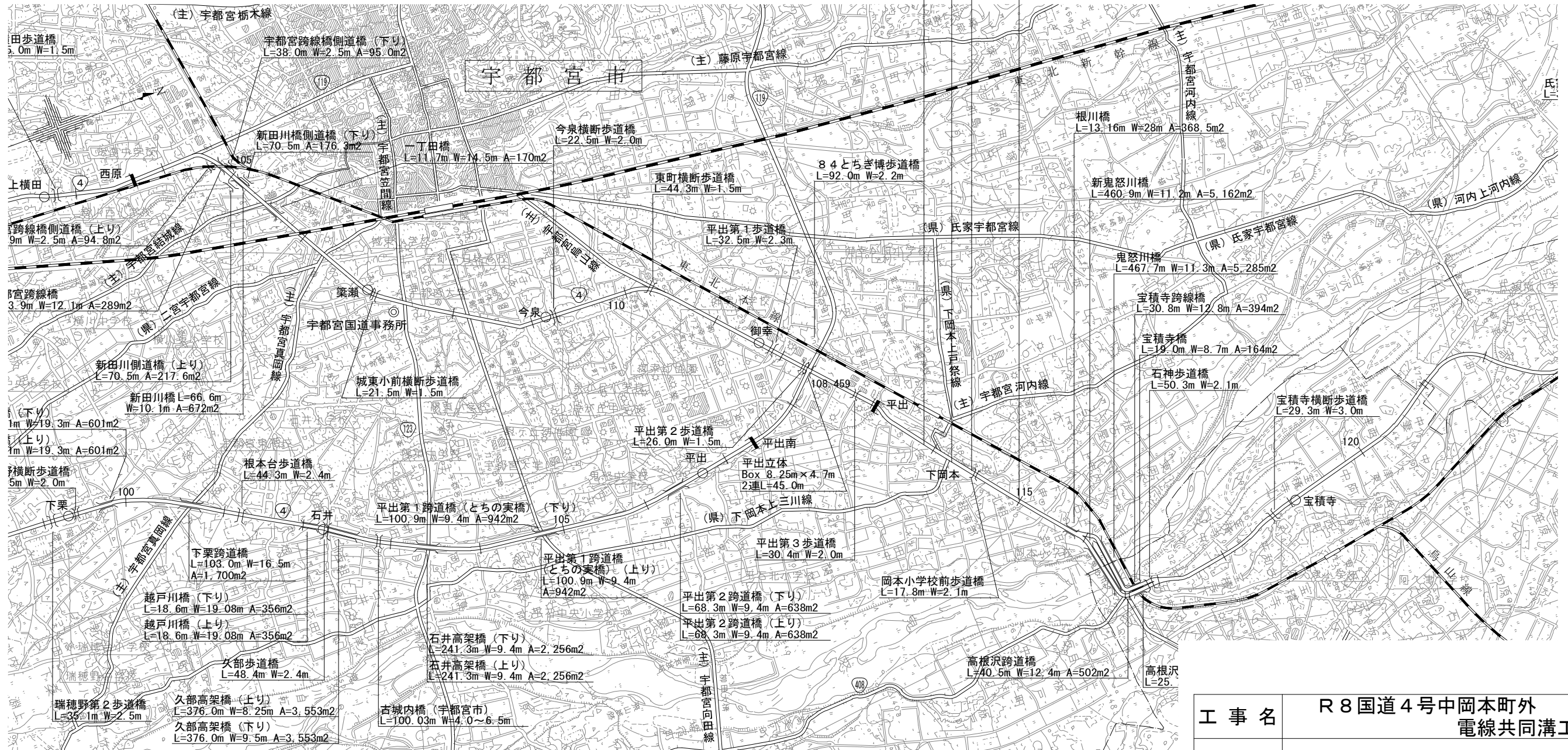
8. 浸透水量

測定年月	<table border="1"><tr><td>H</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	H								
H										
測定方法	1：現場透水量試験器 9：その他									
道路の区分	1：第1種、第2種、第3種第1級 及び第2級並びに第4種第1級 2：その他									
浸透水量	わだち部（OWP） <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ミリリットル／15秒 非わだち部（BWP） <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ミリリットル／15秒									

11. わだち掘れ

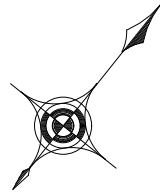
測定年月	H			
測定方法	1：横断プロフィールメータによる方法 2：直線定規による方法 3：水糸による方法 4：路面性状測定車による方法 9：その他			
わだち掘れ量（最大値）				mm
わだち掘れ量（平均値）				mm

Figure 1 illustrates the location of the study area, showing two construction zones along a road. The first zone, '下岡本町工区' (Lower Okanabashi Work Area), has a length of 255m. It starts at station 114+018.63 (No. 173+0.63) and ends at station 114+273.90 (No. 185+18.20). The second zone, '中岡本町工区' (Middle Okanabashi Work Area), has a length of 354m. It starts at station 114+615.60 (No. 18+3.832) and ends at station 114+969.60 (No. 35+14.077).



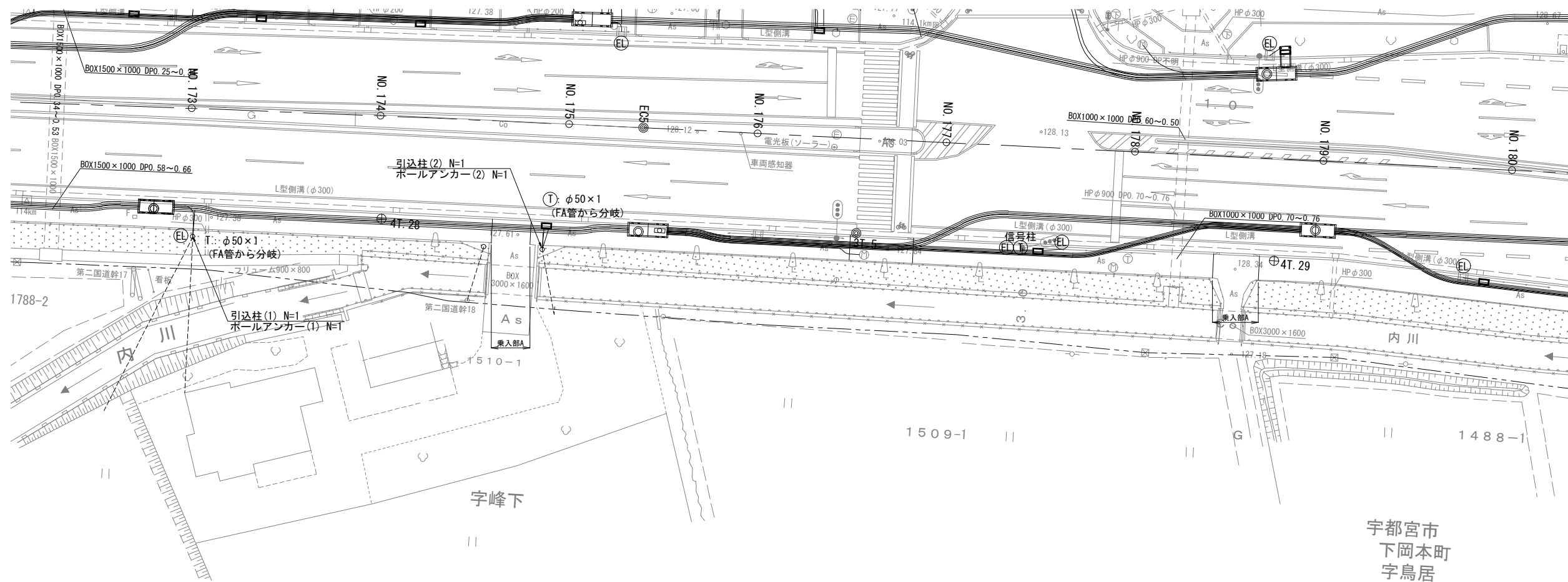
工 事 名		R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事									
図 面 名		位 置 図									
縮 尺		1 : 50,000			図面番号			91 の 1			
年 月 日		令和 8 年 6 月 日									
設計会社名		株式会社 長大									
所 長		副 所 長		課 長		専 門 設 計 官		専 門 職		担 当	
事務所名		国土交通省 宇都宮国道事務所									

平面図(1) S=1:250
(下岡本町工区)



工事起点
114.018kp
(No. 173+0.63)

舗装版撤去工
舗装版破碎工
舗装版切断(1) 1式 舗装版切断(2) 1式 舗装版破碎(1) 240m2 舗装版破碎(2) 350m2 殻運搬 101m3 殻処分 101m3
開削土工
掘削工
埋戻し工
開削掘削 1式 埋戻し・締固め(1) 1式 埋戻し・締固め(2) 1式 残土処理工
土砂等運搬(1) 1式 積込(ルーズ) 1式 土砂等運搬(2) 1式



工事起点(下岡本町工区)
114.018kp
(No. 173+0.63)

入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株)
ET	電力低圧
Eメ	保安通信
T	メンテナンス管
DO	東日本電信電話(株)
RK	(株)NTTドコモ
R	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐箱
—	通信管(電力系)
—	通信管(通信系)
ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
ⓔ	引込管(東京電力・高圧)
ⓔ	引込管(NTT)
ⓔ	引込管(KDDI)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓔ	多回路開閉器
ⓔ	三回路開閉器
ⓔ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部C	8m<W(Ⅲ種)

宇都宮市
下岡本町
字鳥居

※同時施工を除く連系・引込管は計上しない

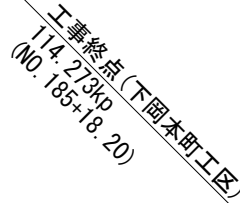
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面図(1)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 2
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

S=1 : 250



整地 1式 ハンドホール 1箇所 下層路盤 173m2 表層 173m2 上層路盤 51m2 表層 51m2 上層路盤 2m2 表層 2m2 上層路盤 9m2 表層 9m2 下層路盤 316m2 上層路盤 316m2 仮路盤 316m2 基層 316m2 表層 316m2 下層路盤 33m2 上層路盤 33m2 仮路盤 33m2 基層 33m2 表層 33m2



記 号	企 業 者 名	
EH	東京電力(株)	電力高圧
E割		電力高圧割管
EL		電力低圧
ET		保安通信
Eメ		メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)	
DO	(株)NTTドコモ	
RK	栃木県警察本部	
R	道路管理者	

記号	企業者名
——	管路部(電力系)
——	管路部(通信系)
E	電力分岐部
——	連絡管(電力系)
——	連絡管(通信系)
(EL)	引込管(東京電力・低圧)
(EH)	引込管(東京電力・高圧)
(T)	引込管(NTT)
(KD)	引込管(KDDI)

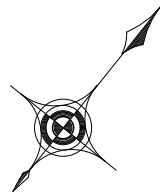
図面表記	機 器 名
	多回路開閉器
	三回路開閉器
	地上用変圧器

乗入部 A	$4m \geq W$ (Ⅰ種)
乗入部 B	$4m < W \leq 8m$ (Ⅱ種)
乗入部 C	$8m < W$ (Ⅲ種)

工 事 名	R8国道4号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面図(2)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 3
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

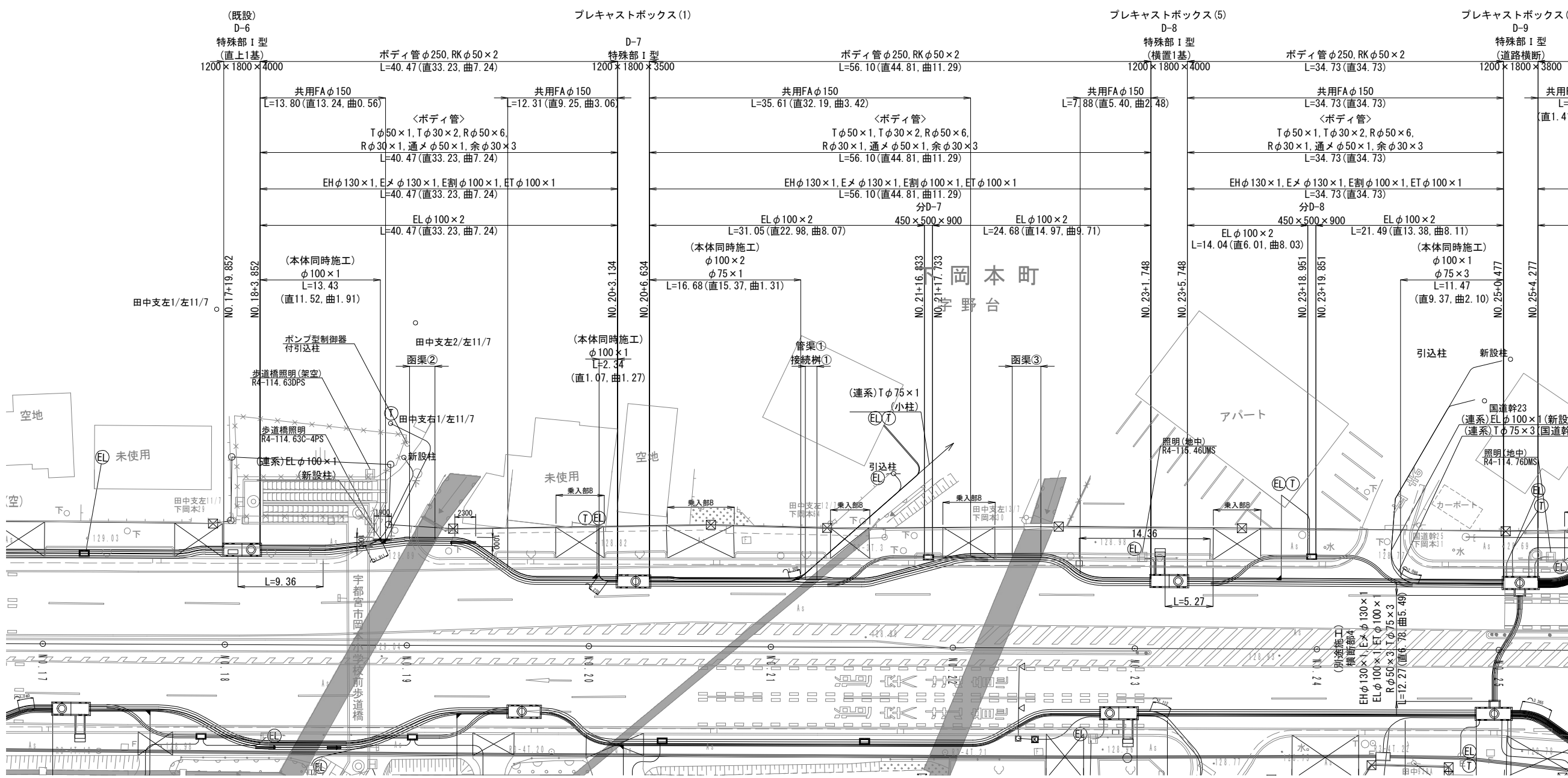
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

平面図(3) S=1:250
(中岡本町工区)



工事起点
(中岡本町工区)
114+615kp
(NO. 18+3.852)

舗装打換え工(1) 舗装版破碎 310m2 穀運搬 31m3 穀処分 31m3 掘削 40m3 土砂等運搬(1) 40m3 積込(ルーズ) 40m3 土砂等運搬(2) 40m3 整地 40m3 上層路盤 316m2 基層 316m2 中間層 316m2 表層 316m2 舗装打換え工(2) 舗装版破碎 33m2 穀運搬 3m3 穀処分 3m3 掘削 4m3 土砂等運搬(1) 4m3 積込(ルーズ) 4m3 土砂等運搬(2) 4m3



入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株) 電力低圧
ET	電力分岐箱
Eメ	電力分岐箱
T	東日本電信電話(株) メンテナンス管
KD	KD01
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐箱
—	通系管(電力系)
—	通系管(通信系)
ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
ⓗ	引込管(東京電力・高圧)
①	引込管(NTT)
ⓐ	引込管(KD01)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部 A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部 B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部 C	8m<W(Ⅲ種)

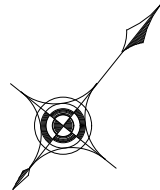
地下埋設物凡例	
—	東京電力(E)
—	NTT(T)
—	下水(D)
—	上水(W)
—	東京ガス(G)
—	警察(K)
—	情報BOX(情報)
—	照明(照)

※同時施工を除く連系・引込管は計上しない

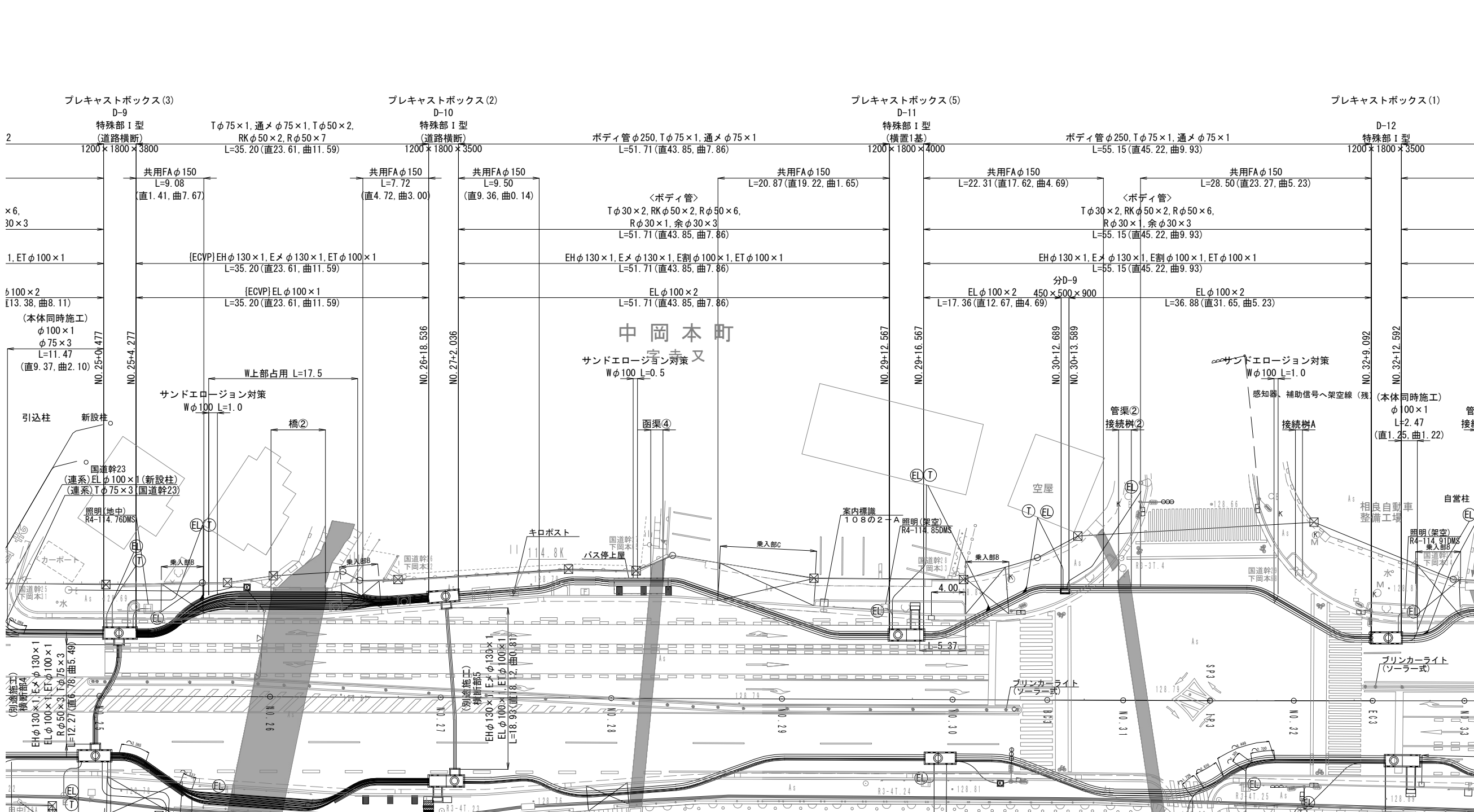
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面図(3)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 4
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

平面図(4) S=1:250
(中岡本町工区)



仮設工
土留・仮締切工
薄層カラー舗装工
薄層カラー舗装 44m2
軽量鋼矢板(電線共同溝) 1式
表層 33m2
中間層 33m2
基層 33m2
上層路盤 33m2
整地 4m3



入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株)
ET	電力低圧
Eメ	保安通信
T	メンテナンス管
KD	東日本電信電話(株)
RK	KD01
R	栃木県警察本部
	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐群
—	通系管(電力系)
—	通系管(通信系)
ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
ⓗ	引込管(東京電力・高圧)
①	引込管(NTT)
Ⓚ	引込管(KD01)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部 A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部 B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部 C	8m<W(Ⅲ種)

地下埋設物凡例	
—	東京電力(E)
—	NTT(T)
—	下水(D)
—	上水(W)
—	東京ガス(G)
—	警察(K)
—	情報BOX(情報)
—	照明(照)

※同時施工を除く連系・引込管は計上しない

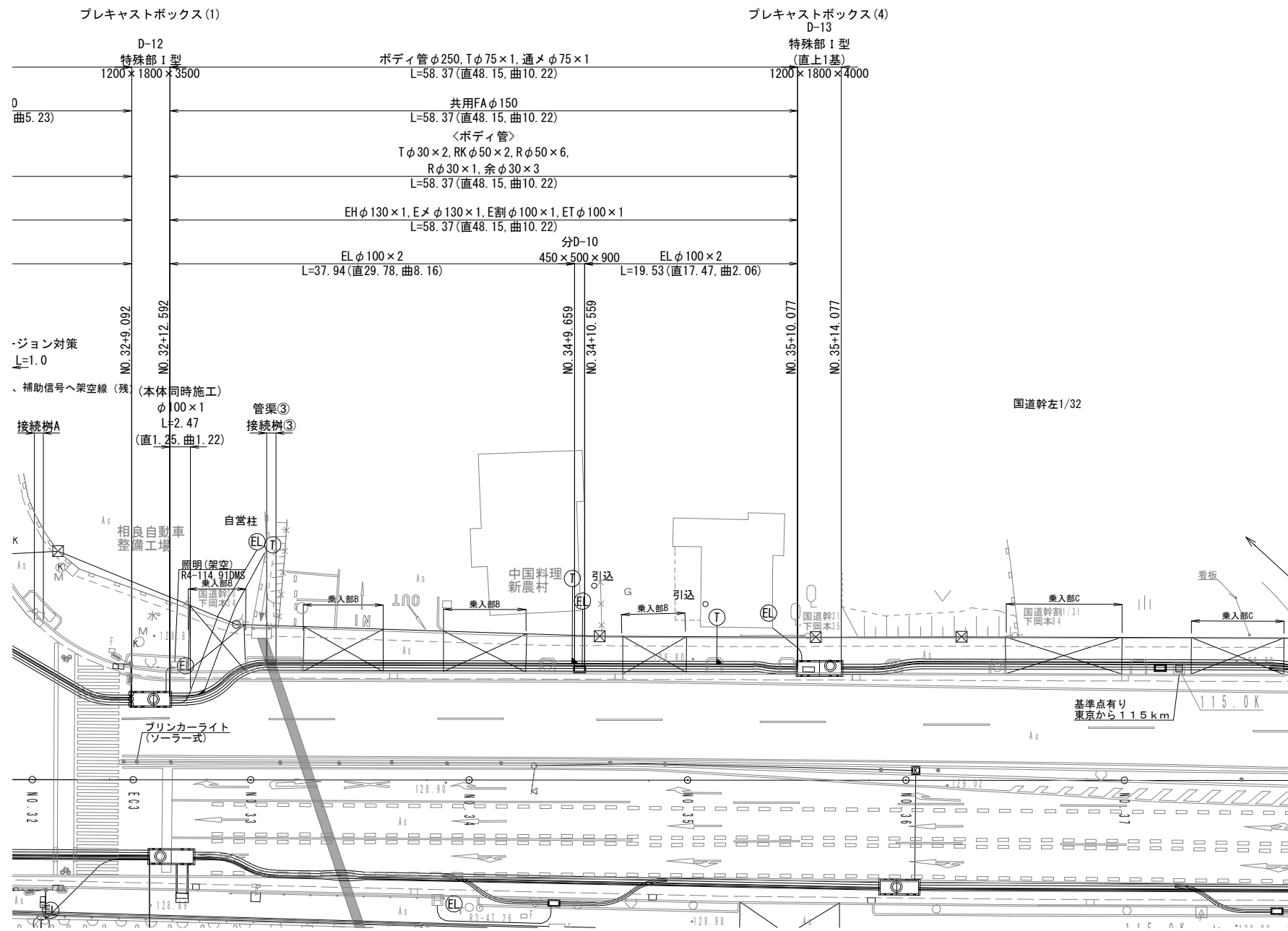
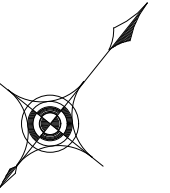
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)	
工事名	R8国道4号中岡本町外 電線共同溝工事
図面名	平面図(4)
縮尺	1:250 図面番号 91の5
年月日	令和8年6月 日
設計会社名	株式会社 長大
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所

平面図(5)
(中岡本町工区)

S=1:250

工事終点
114.969Kp
(NO.35+14.077)



入溝企業者凡例

記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	電力低圧
ET	保安通信
Eメ	メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)
KD	KDDI
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例

記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐群
—	連系管(電力系)
—	連系管(通信系)
ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
ⓖ	引込管(東京電力・高圧)
ⓓ	引込管(NTT)
ⓓ	引込管(KDDI)

地上機器凡例

図面表記	機器名
ⓓ	多回路開閉器
ⓓ	三回路開閉器
ⓓ	地上用変圧器

乗入部凡例

乗入部A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部C	8m<W(Ⅲ種)

地下埋設物凡例

—	東京電力(E)
—	NTT(T)
—	下水(D)
—	上水(W)
—	東京ガス(G)
—	警察(K)
—	情報BOX(情報)
—	照明(照)

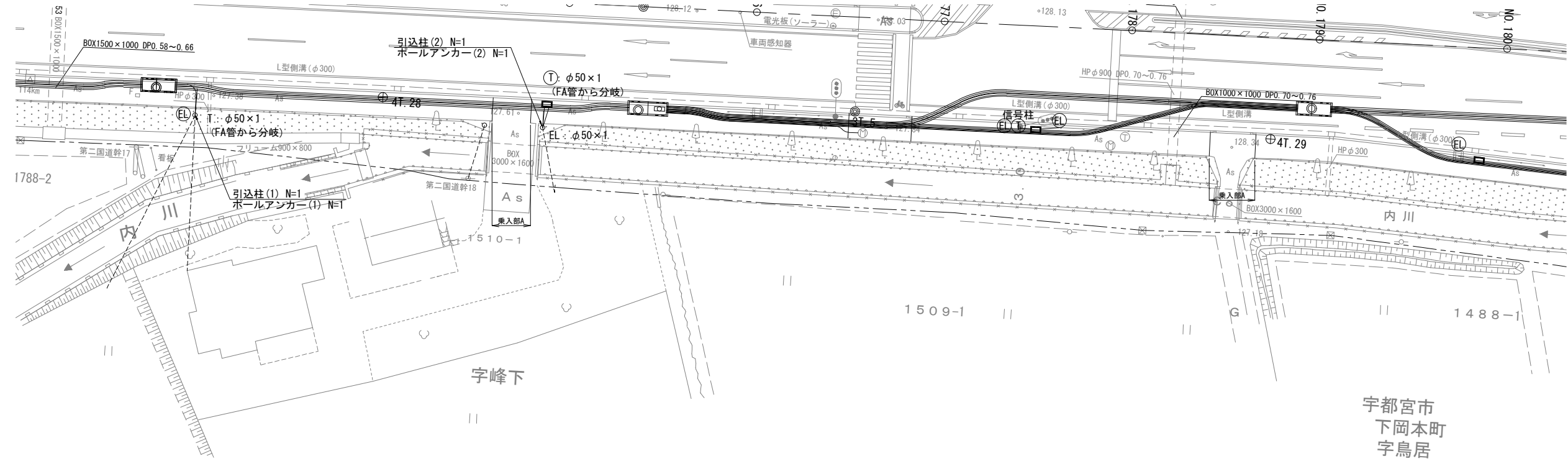
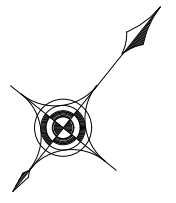
(中岡本町工区)

工 事 名	R8国道4号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面図(5)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 6
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

※同時施工を除く連系・引込管は計上しない

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

平面縦断図(1) S=1:250
(下岡本町工区)

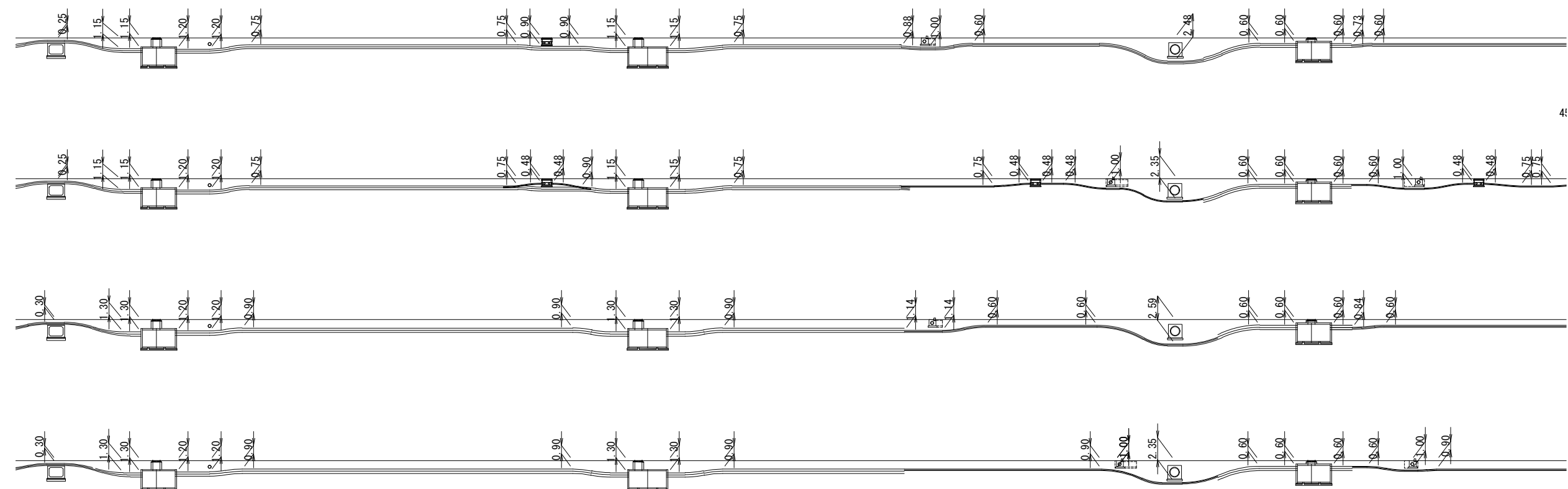


入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株) 電力低圧
ET	保安通信
Eメ	メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)
DO	(株)NTTドコモ
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐群
—	連係管(電力系)
—	連係管(通信系)
Ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
Ⓕ	引込管(東京電力・高圧)
①	引込管(NTT)
Ⓖ	引込管(KDDI)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部 A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部 B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部 C	8m<W(Ⅲ種)



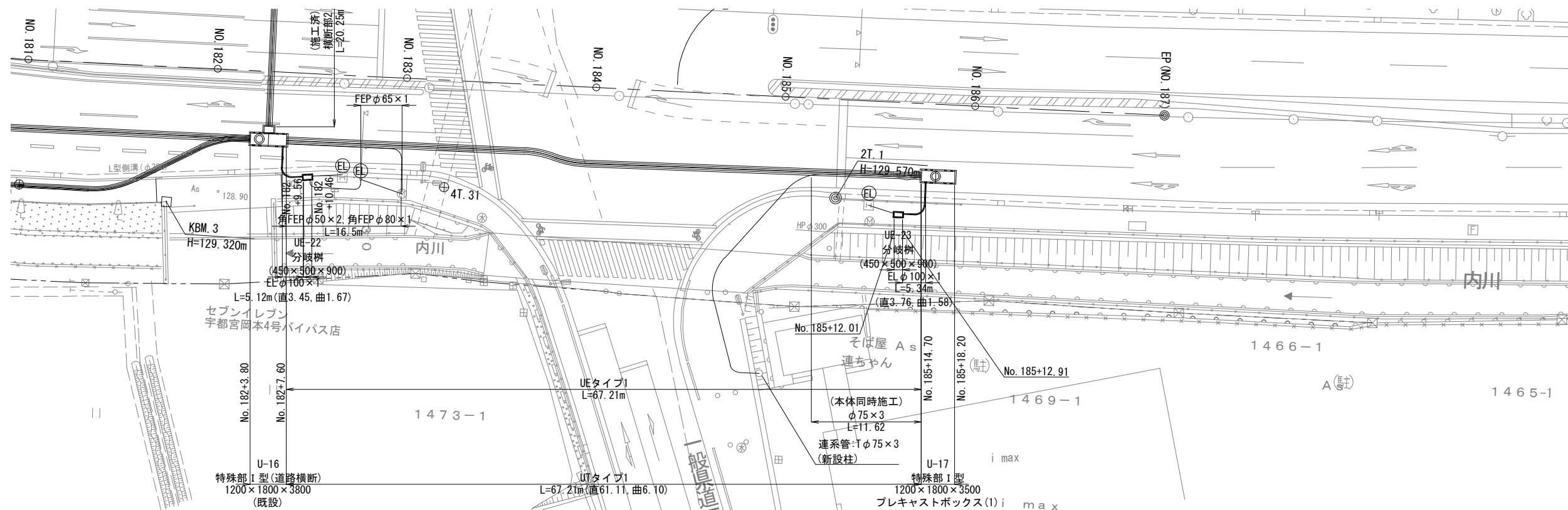
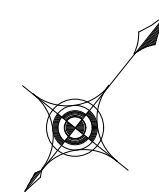
工事起点
(下岡本町工区)
114.018+0.63
(No.173+0.63)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面縦断図(1)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 7
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

S=1 : 250

(下岡本町工区)

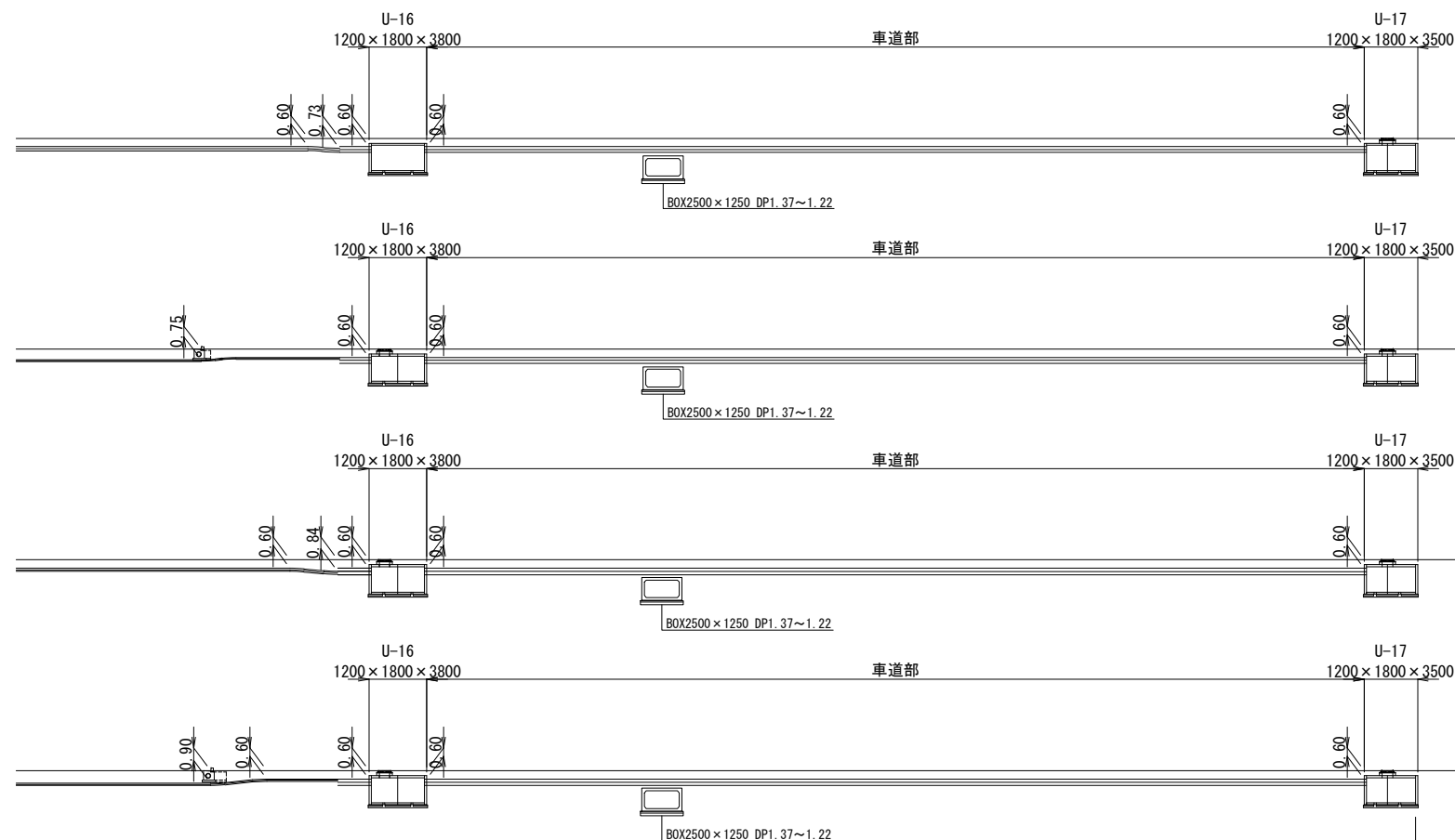


入企企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	電力低圧
ET	保安通信
Eメ	メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)
D0	(株)NTTドコモ
RK	栃木県警本部
RR	道路管理者

記号	企業者名
——	管路部(電力系)
——	管路部(通信系)
E	電力分岐箱
——	連係管(電力系)
——	連係管(通信系)
Ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
Ⓕ	引込管(東京電力・高圧)
Ⓖ	引込管(NTT)
Ⓚ	引込管(KDDI)

地上機器凡例	
	機 器 名
	多回路開閉器
	三回路開閉器
	地上用変圧器

乗入部 A	$4m \geq W$ (Ⅰ種)
乗入部 B	$4m < W \leq 8m$ (Ⅱ種)
乗入部 C	$8m < W$ (Ⅲ種)



工事終点
(下岡本町工区)
114.273kp
(No. 185+18.20)

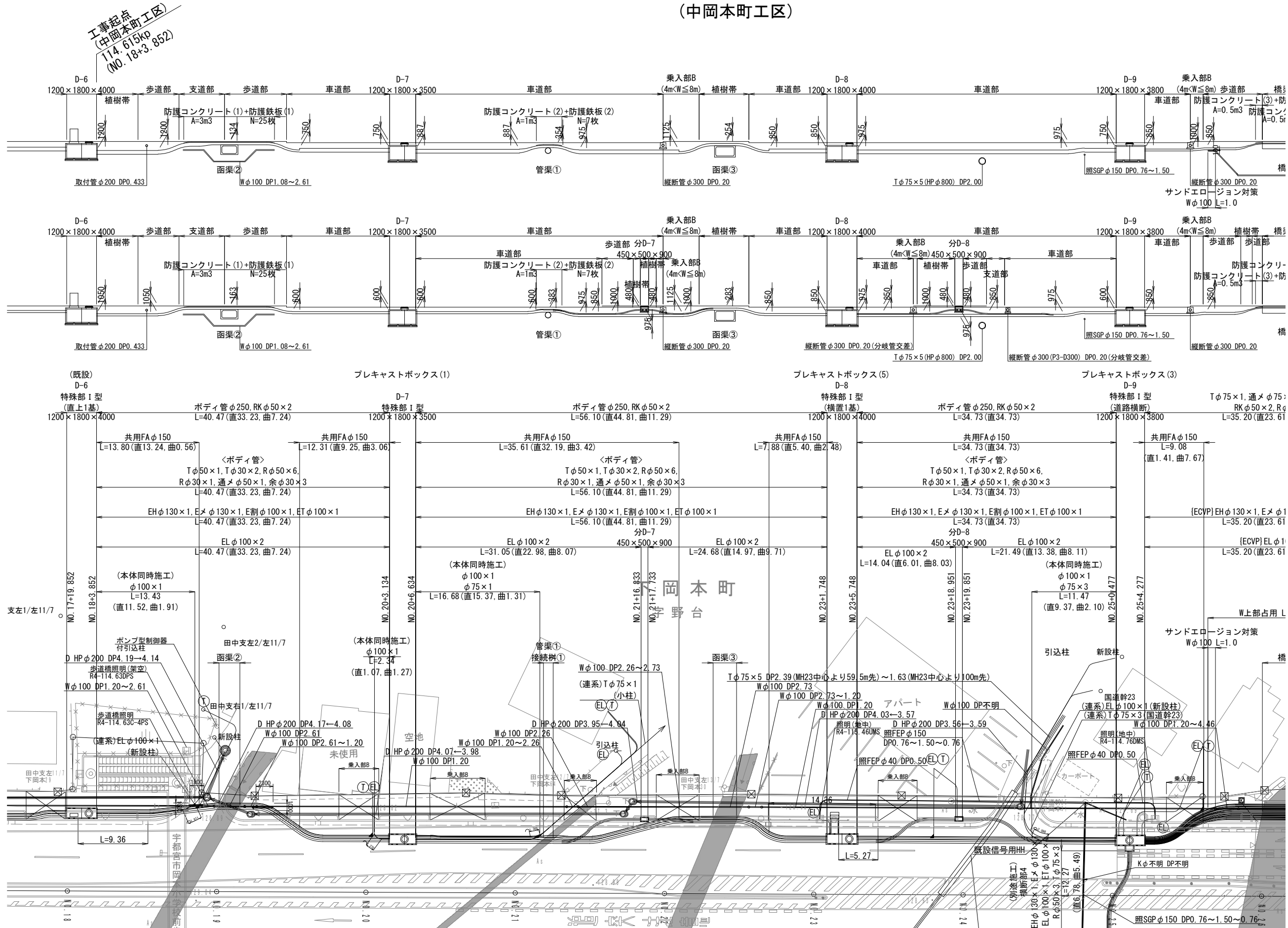
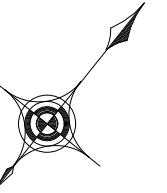
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中国本町外 電線共通通工事		
図 面 名	平面縦断図 (2)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 8
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

平面縦断図(3)

S=1:250

(中岡本町工区)



入溝企業者凡例

記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株) 電力低圧
ET	保安通信
Eメ	メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)
KD	KDDI
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例

記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐箱
—	通系管(電力系)
—	通系管(通信系)
Ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
Ⓕ	引込管(東京電力・高圧)
①	引込管(NTT)
Ⓖ	引込管(KDDI)

地上機器凡例

図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例

乗入部A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部C	8m<W(Ⅲ種)

地下埋設物凡例

—	東京電力(E)
—	NTT(T)
—	下水(D)
—	上水(W)
—	東京ガス(G)
—	警察(K)
—	情報BOX(情報)
—	照明(照)

注) 工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

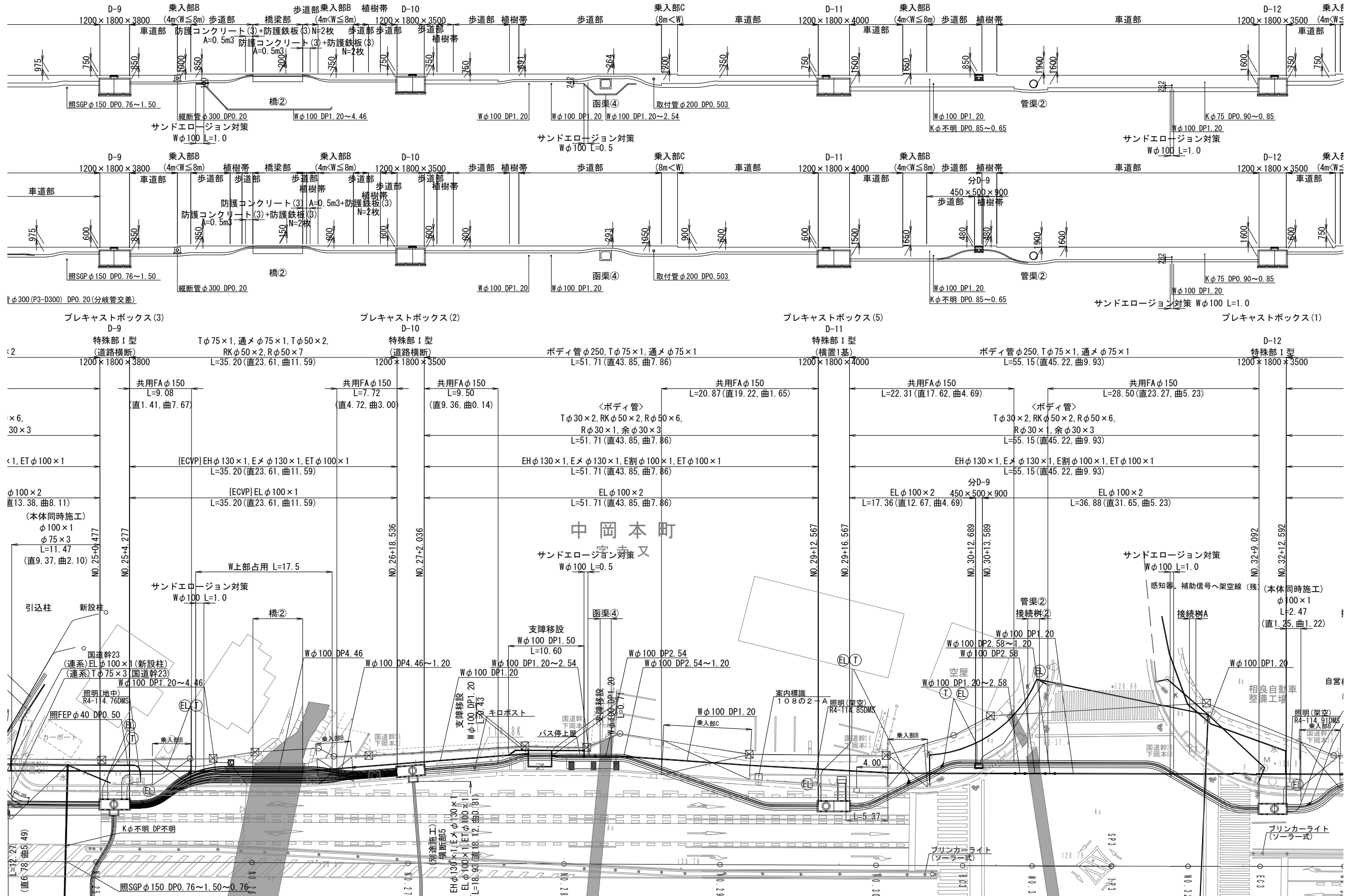
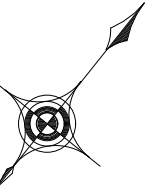
(中岡本町工区)			
工事名	R8国道4号中岡本町外 電線共同溝工事		
図面名	平面縦断図(3)		
縮尺	1:250	図面番号	91の9
年月日	令和8年6月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

平面縦断図(4)

S=1:250

(中岡本町工区)



入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	電力高圧
E割	電力高圧割管
EL	東京電力(株)
ET	電力低圧
Eメ	保安通信
T	メンテナンス管
KD	東日本電信電話(株)
KD01	KD01
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐群
—	通系管(電力系)
—	通系管(通信系)
Ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
Ⓕ	引込管(東京電力・高圧)
①	引込管(NTT)
Ⓖ	引込管(KD01)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部C	8m<W(Ⅲ種)

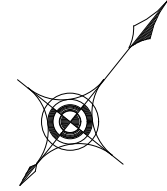
地下埋設物凡例	
— — —	東京電力(E)
— — —	NTT(T)
— — —	下水(D)
— — —	上水(W)
— — —	東京ガス(G)
— — —	警察(K)
— — —	情報BOX(情報)
— — —	照明(照)

注)
工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

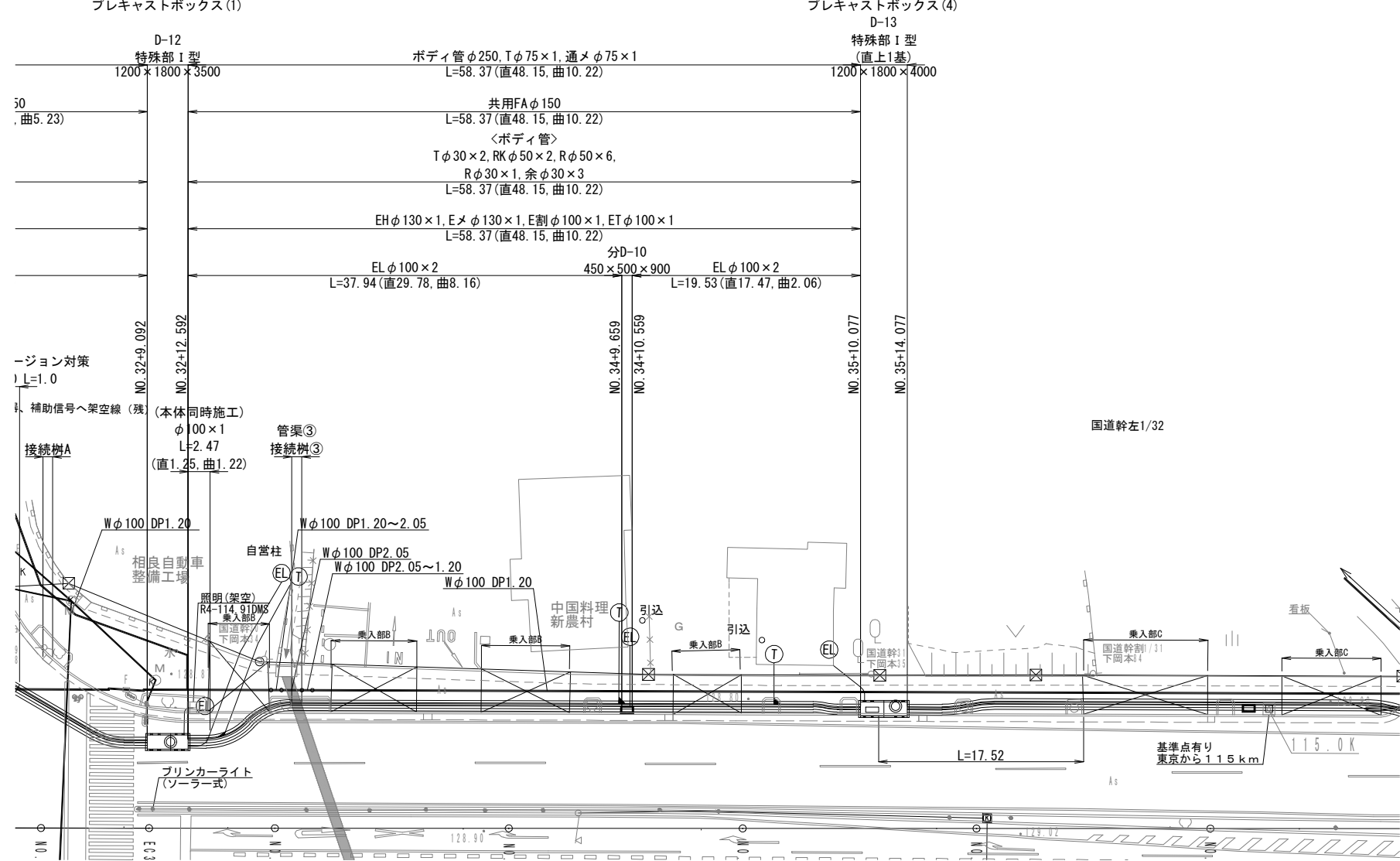
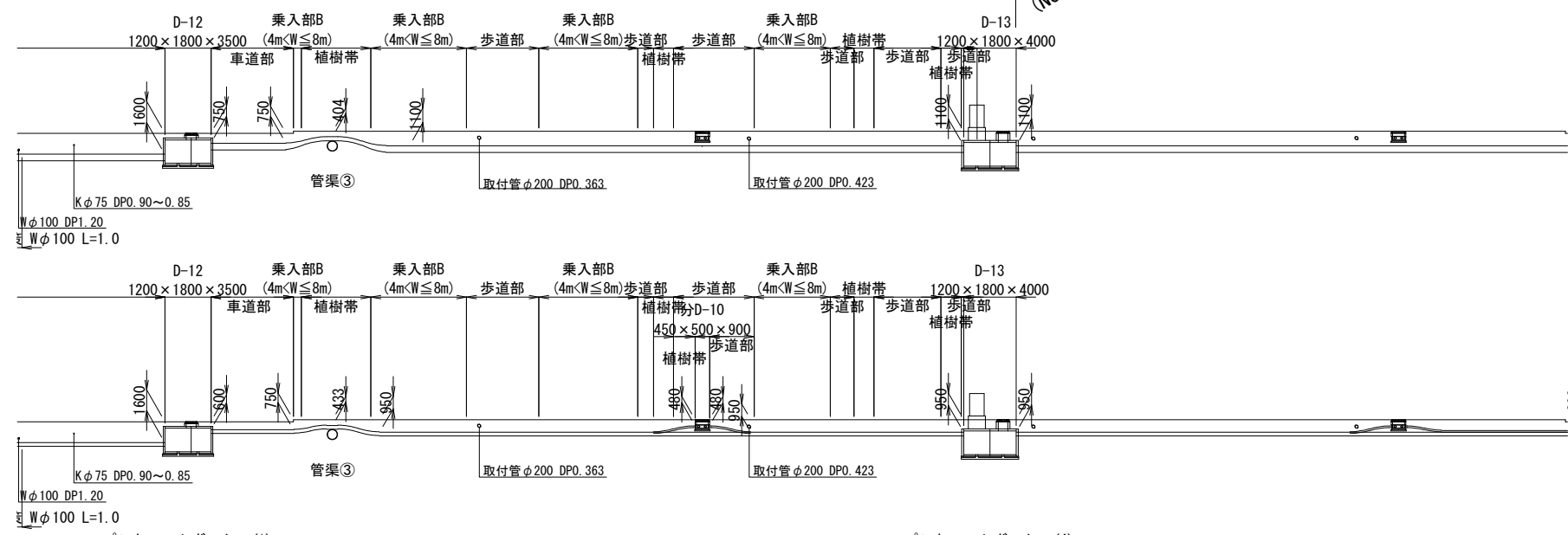
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)	
工事名	R8国道4号中岡本町外 電線共同溝工事
図面名	平面縦断図(4)
縮尺	1:250 図面番号 91の10
年月日	令和8年6月 日
設計会社名	株式会社 長大
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所

平面縦断図(5) S=1:250
(中岡本町工区)



工事終点
(中岡本町工区)
114.969kp
(NO.35+14.077)



入溝企業者凡例	
記号	企業者名
EH	東京電力(株)
E割	
EL	
ET	
Eメ	メンテナンス管
T	東日本電信電話(株)
KD	KD01
RK	栃木県警察本部
R	道路管理者

電線共同溝凡例	
記号	企業者名
—	管路部(電力系)
—	管路部(通信系)
E	電力分岐群
—	通系管(電力系)
—	通系管(通信系)
ⓔ	引込管(東京電力・低圧)
ⓖ	引込管(東京電力・高圧)
ⓓ	引込管(NTT)
ⓚ	引込管(KD01)

地上機器凡例	
図面表記	機器名
ⓧ	多回路開閉器
ⓧ	三回路開閉器
ⓧ	地上用変圧器

乗入部凡例	
乗入部A	4m≧W(Ⅰ種)
乗入部B	4m<W≦8m(Ⅱ種)
乗入部C	8m<W(Ⅲ種)

地下埋設物凡例	
— — —	東京電力(E)
— — —	N T T (T)
— — —	下水(D)
— — —	上水(W)
— — —	東京ガス(G)
— — —	警察(K)
— — —	情報BOX(情報)
— — —	照明(照)

注)
工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

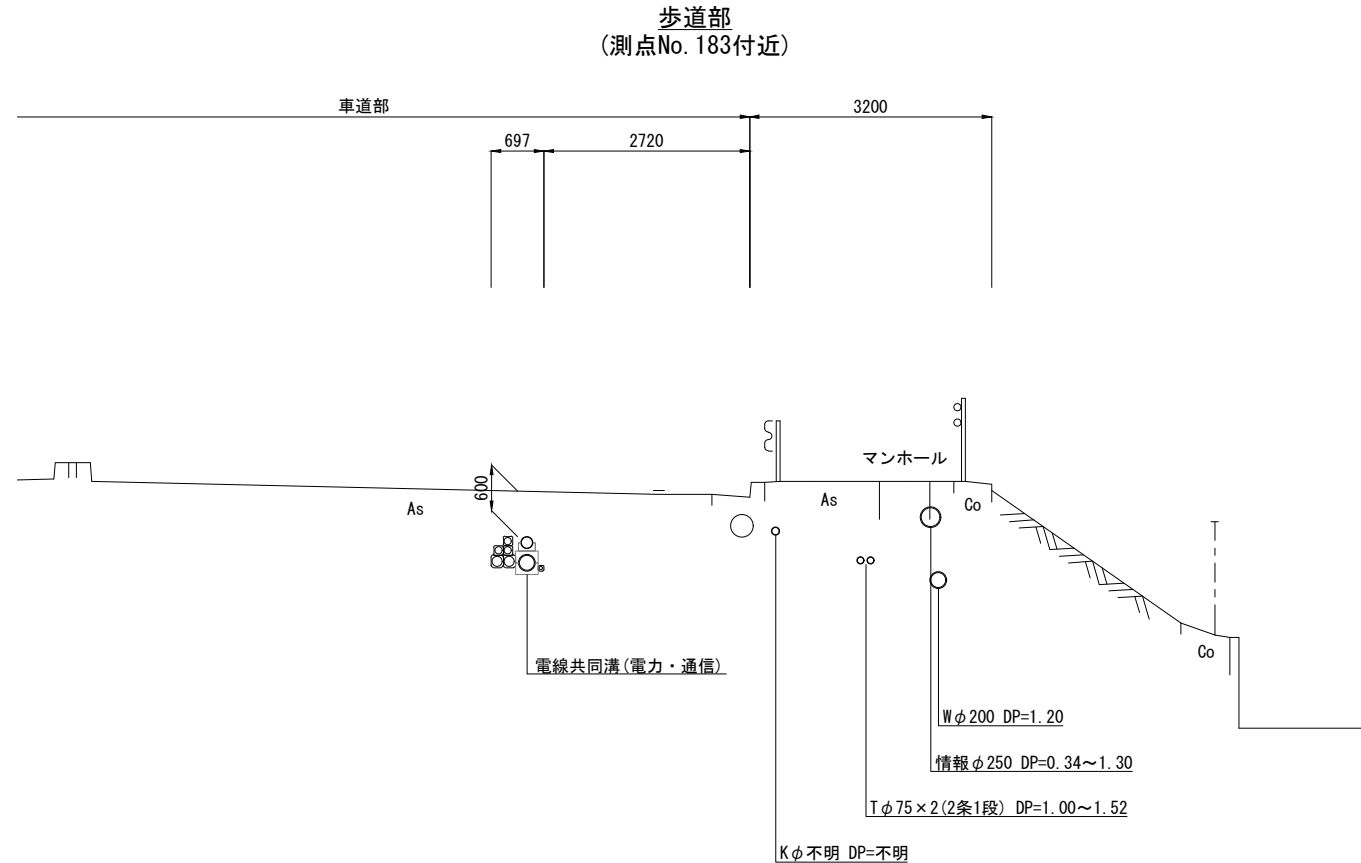
(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	平面縦断図(5)		
縮 尺	1:250	図面番号	91 の 11
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

標準横断図(1)

S=1:50

(下岡本町工区)

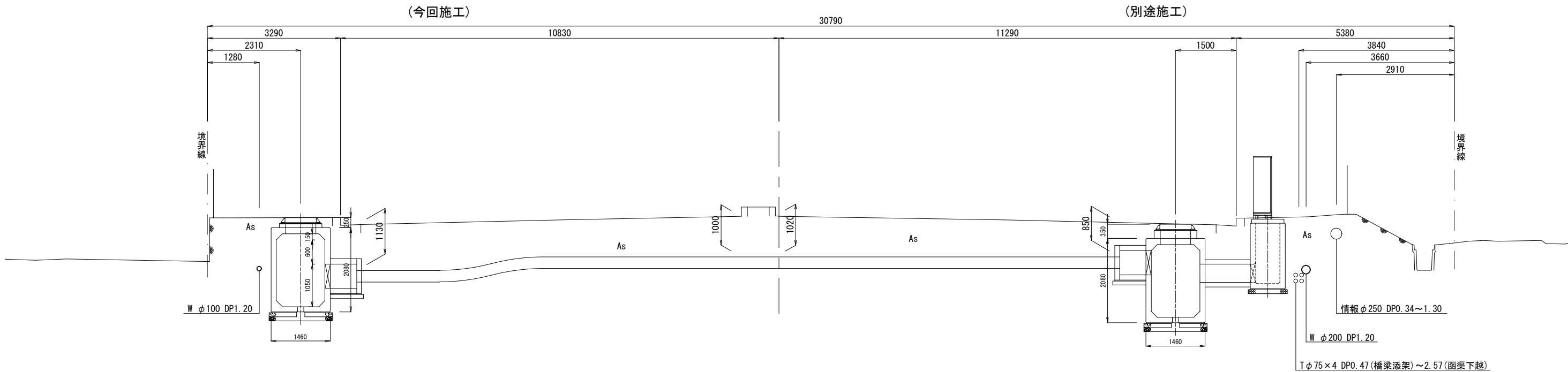


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

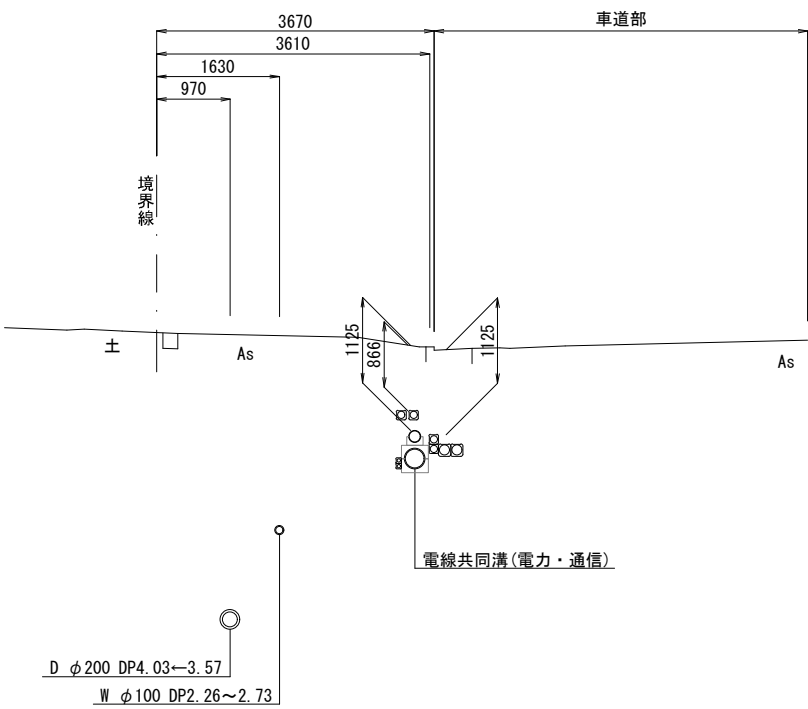
(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	標準横断図 (1)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 12
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

標準横断図(2) S=1:50
(中岡本町工区)

車道部
(測点No. 27付近)



歩道一般部
(測点No. 22付近)



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

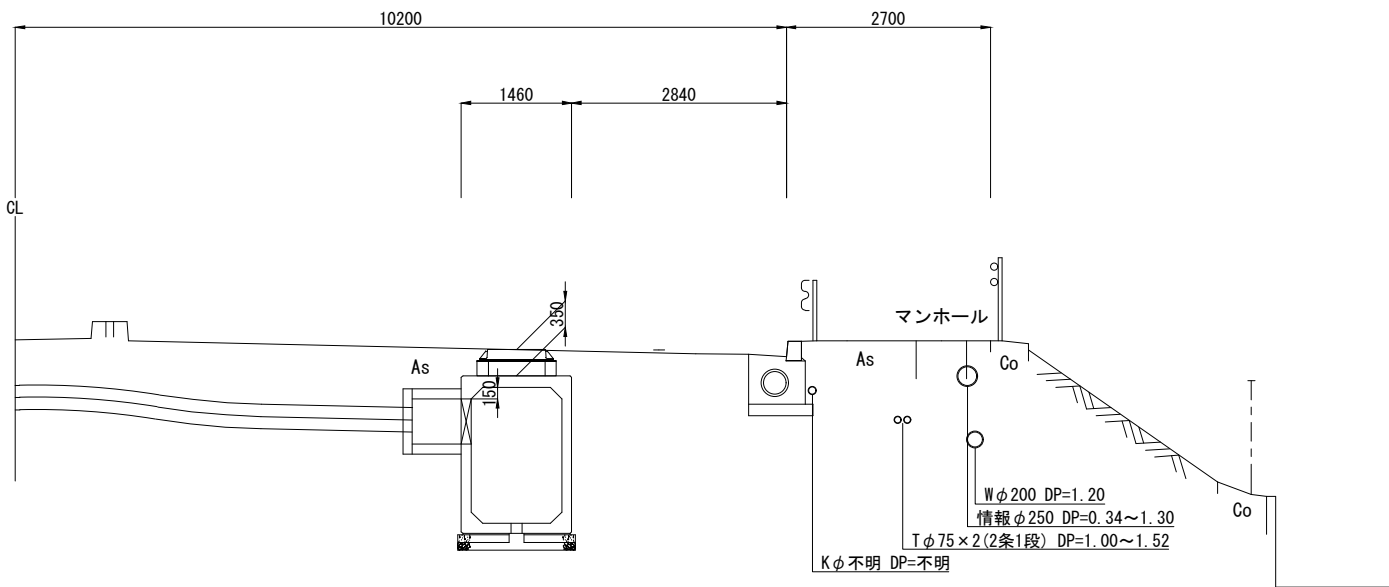
(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	標準横断図(2)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 13
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

特殊部横断図(1)

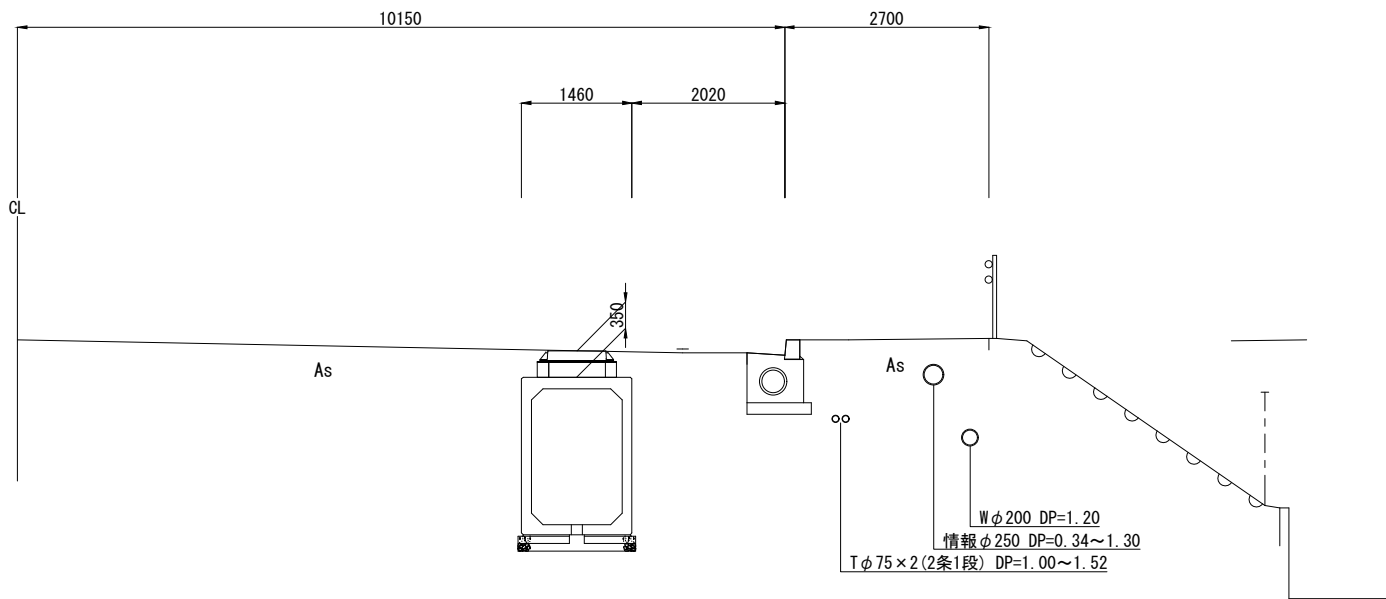
S=1:50

(下岡本町工区)

(既設)
U-16
特殊部 I 型(道路横断)
1200×1800×3800



U-17
特殊部 I 型
1200×1800×3500

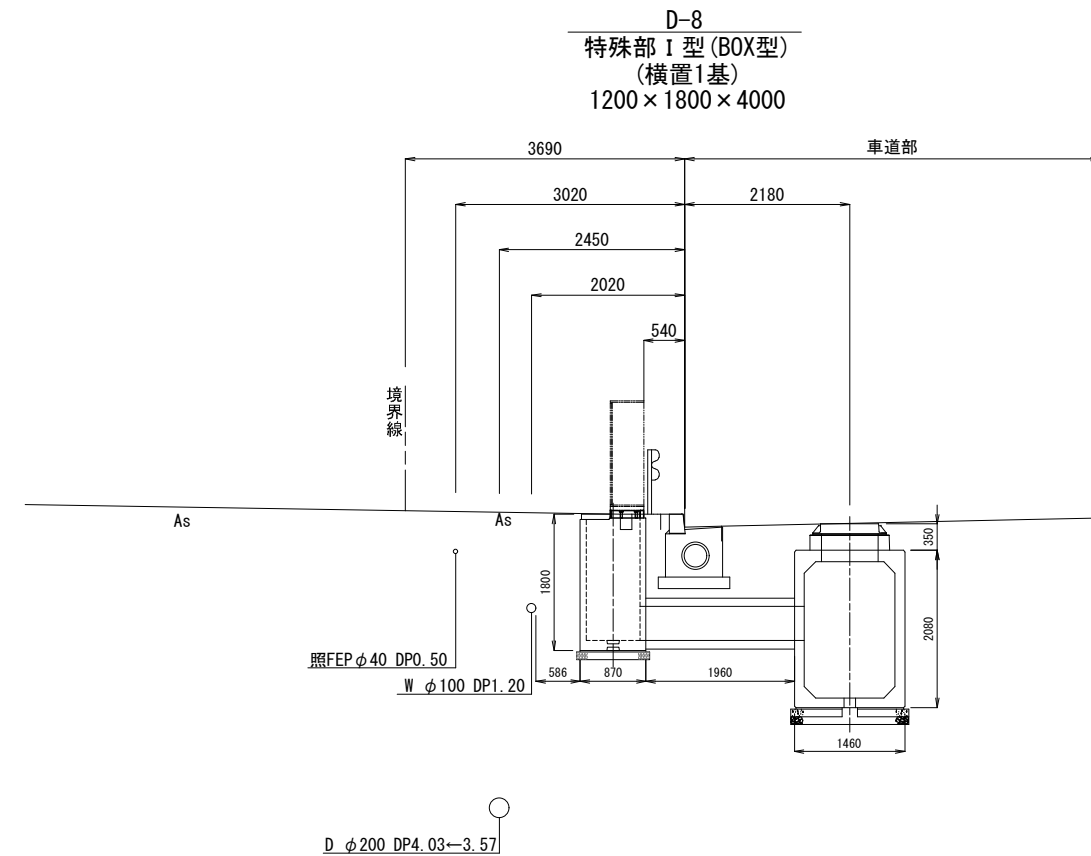
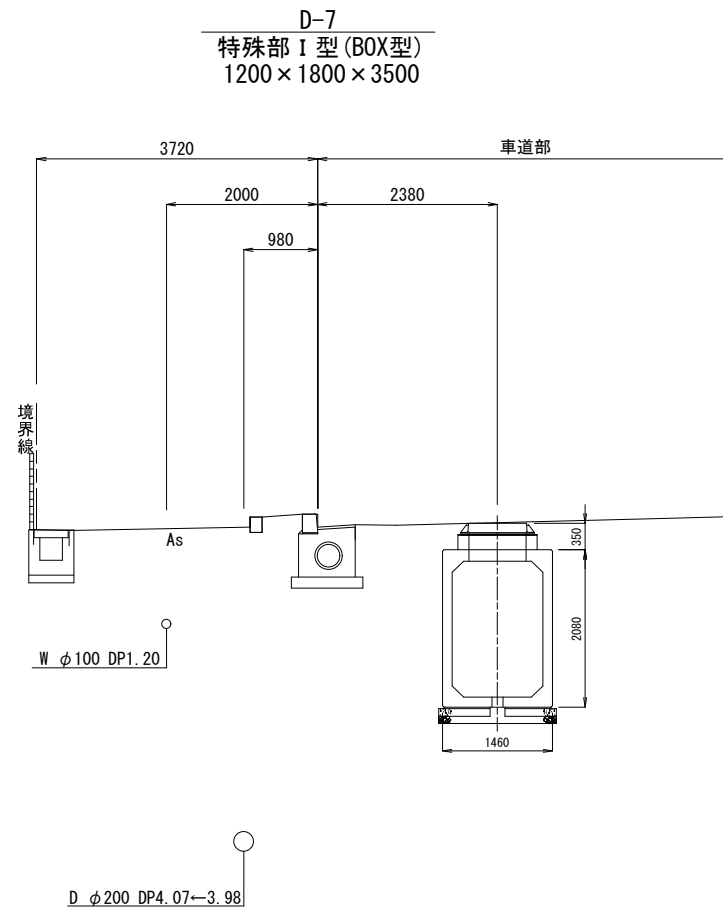
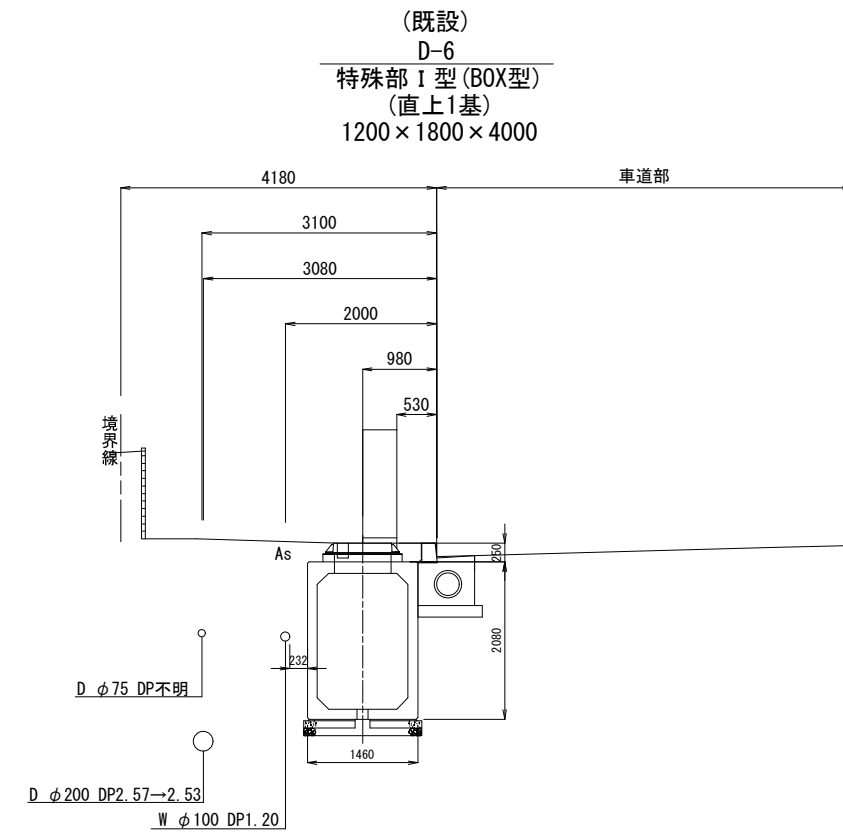


(下岡本町工区)

工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	特殊部横断図(1)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 14
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部横断図(2) S=1:50
(中岡本町工区)

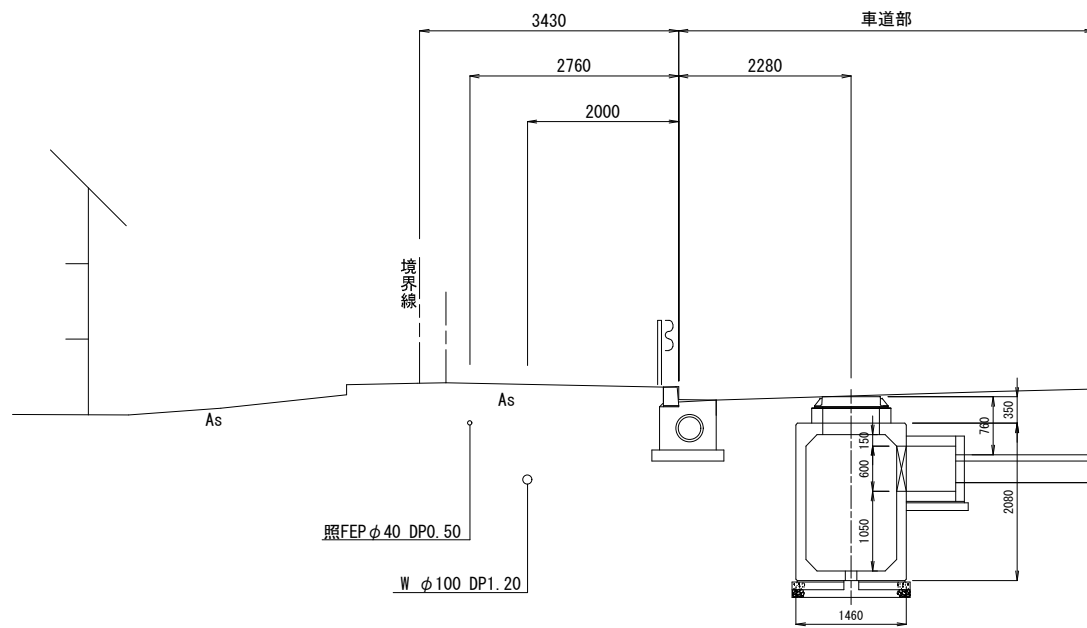


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

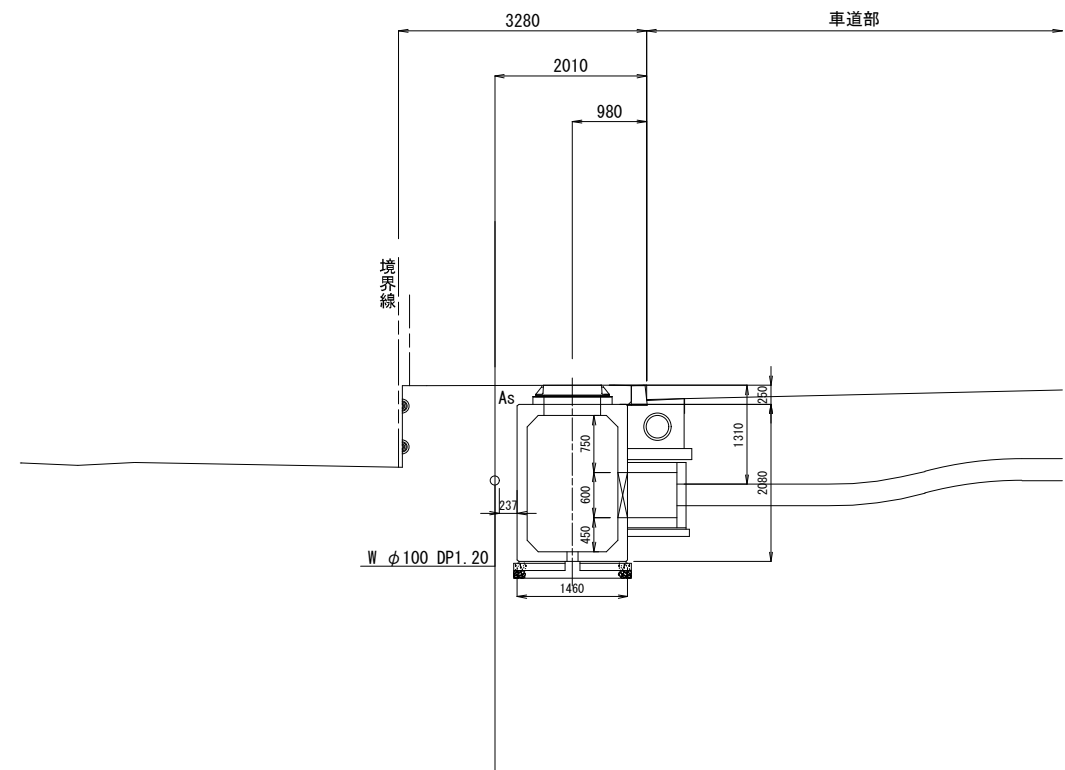
(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	特殊部横断図(2)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 15
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

特殊部横断図(3) S=1:50
(中岡本町工区)

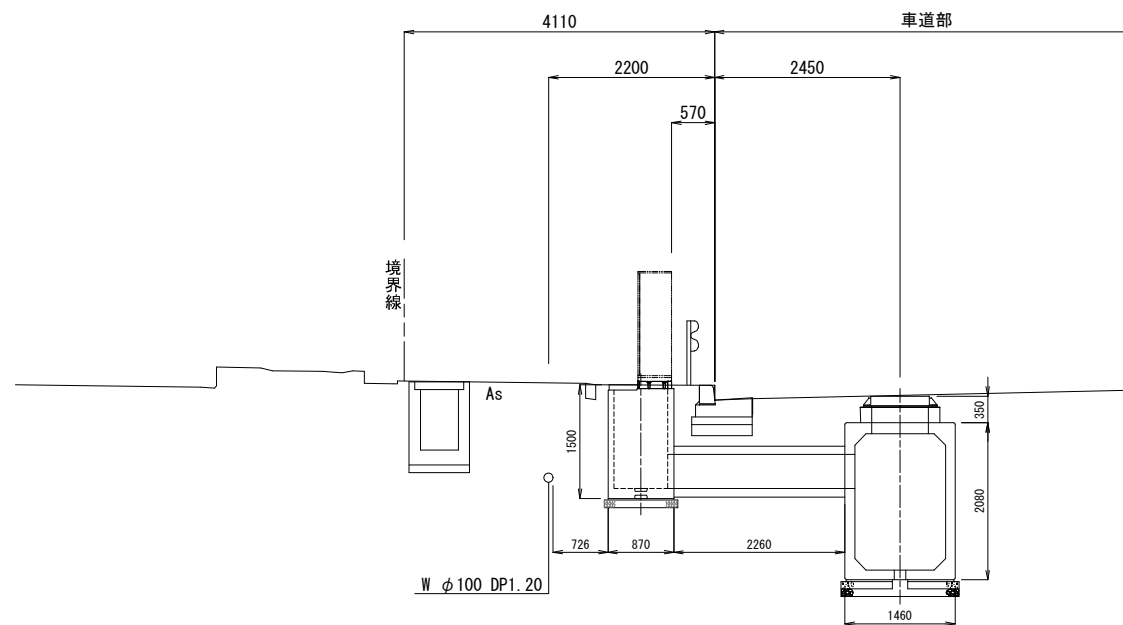
D-9
特殊部 I 型 (BOX型)
(道路横断)
1200×1800×3800



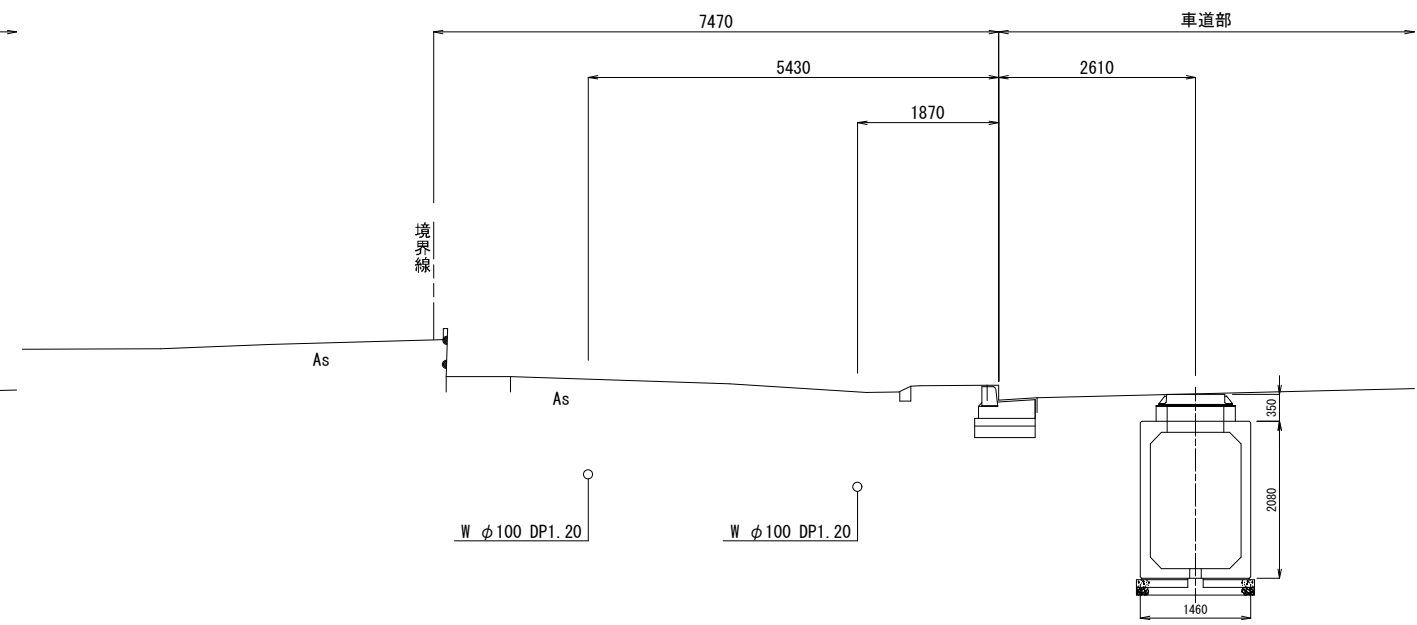
D-10
特殊部 I 型 (BOX型)
(道路横断)
1200×1800×3500



D-11
特殊部 I 型 (BOX型)
(横置1基)
1200×1800×4000



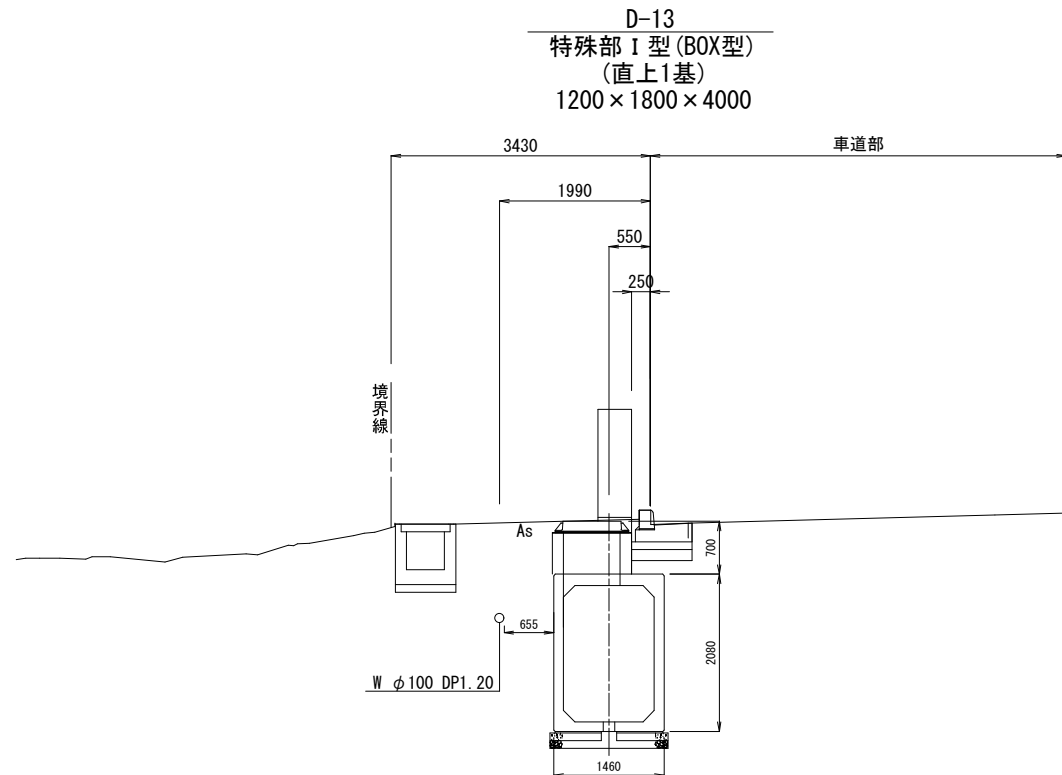
D-12
特殊部 I 型 (BOX型)
1200×1800×3500



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	特殊部横断図(3)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 16
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

特殊部横断図(4) S=1:50
(中岡本町工区)

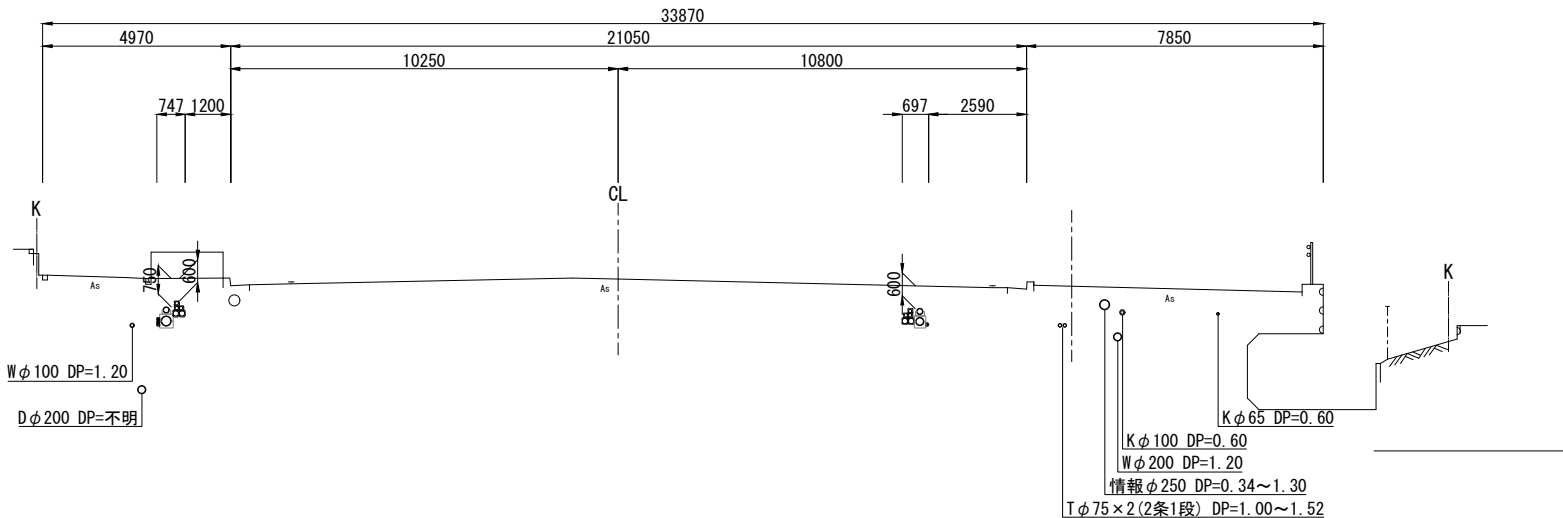


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	特殊部横断図 (4)		
縮 尺	1:50	図面番号	91 の 17
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

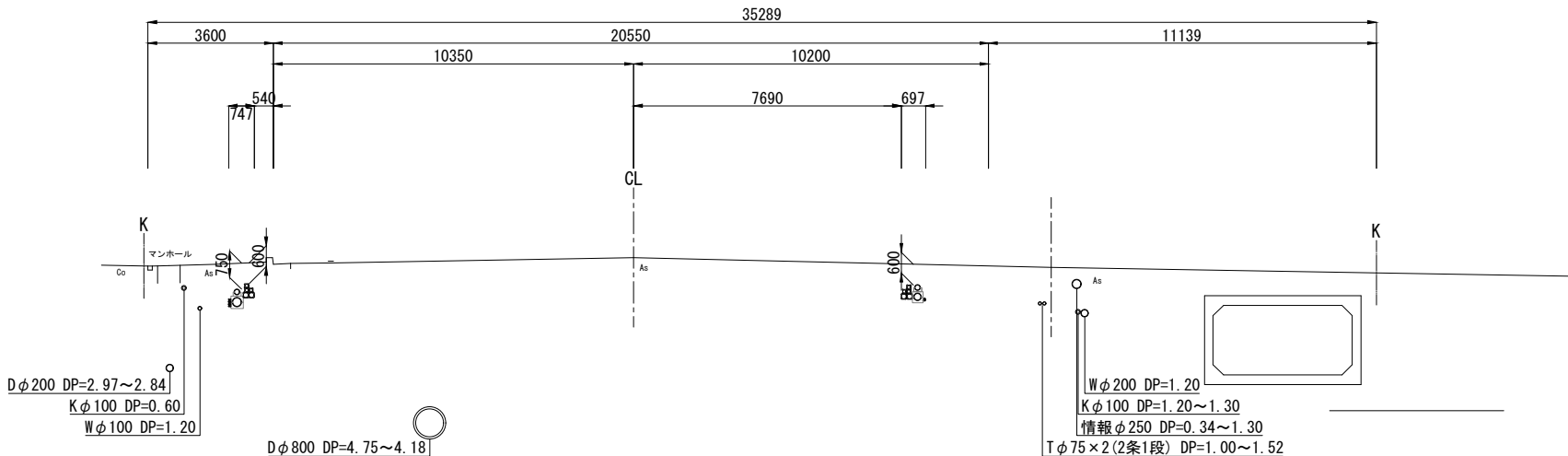
横断図(1) S=1:100
(下岡本町工区)

NO. 185
GH=129.54



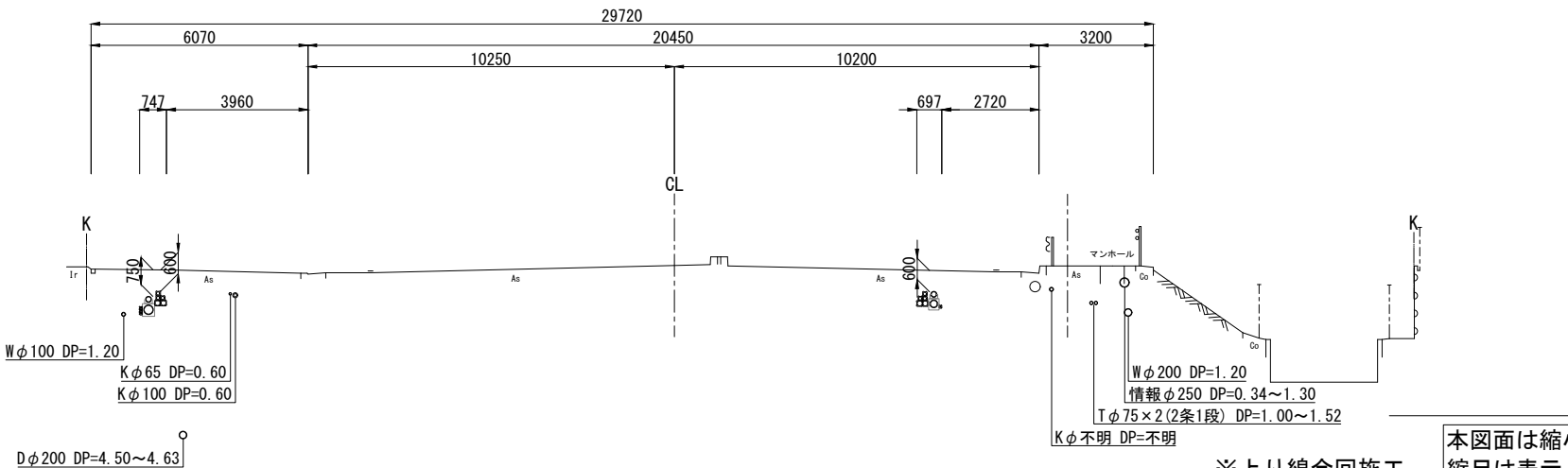
DL=125.000

NO. 184
GH=129.39



DL=125.000

NO. 183
GH=129.20



DL=125.000

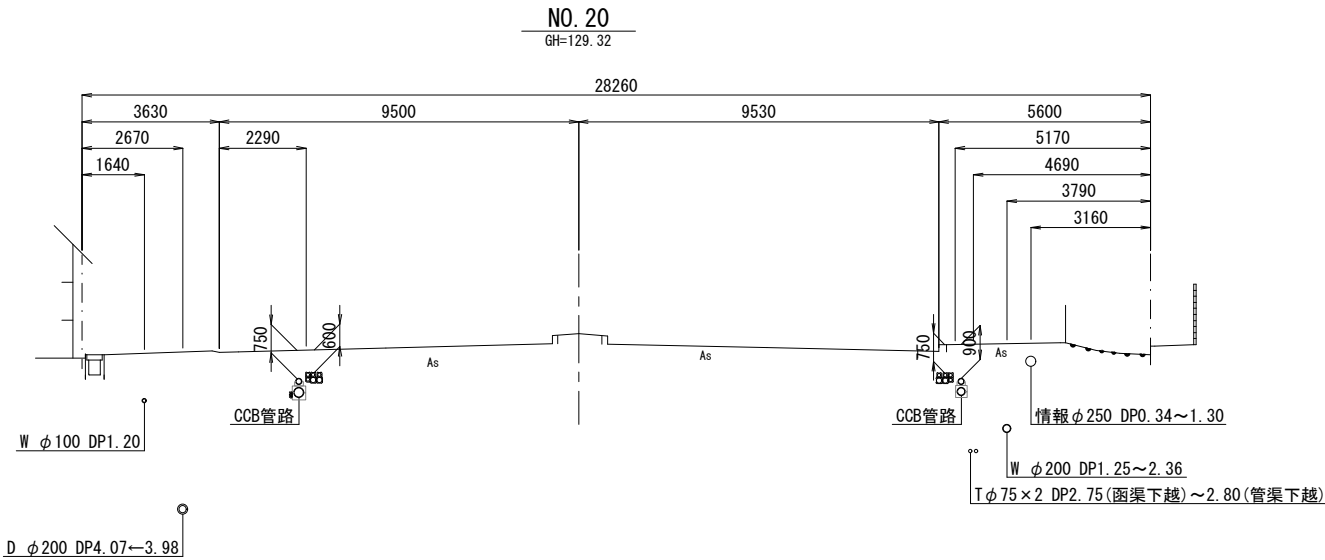
※上り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

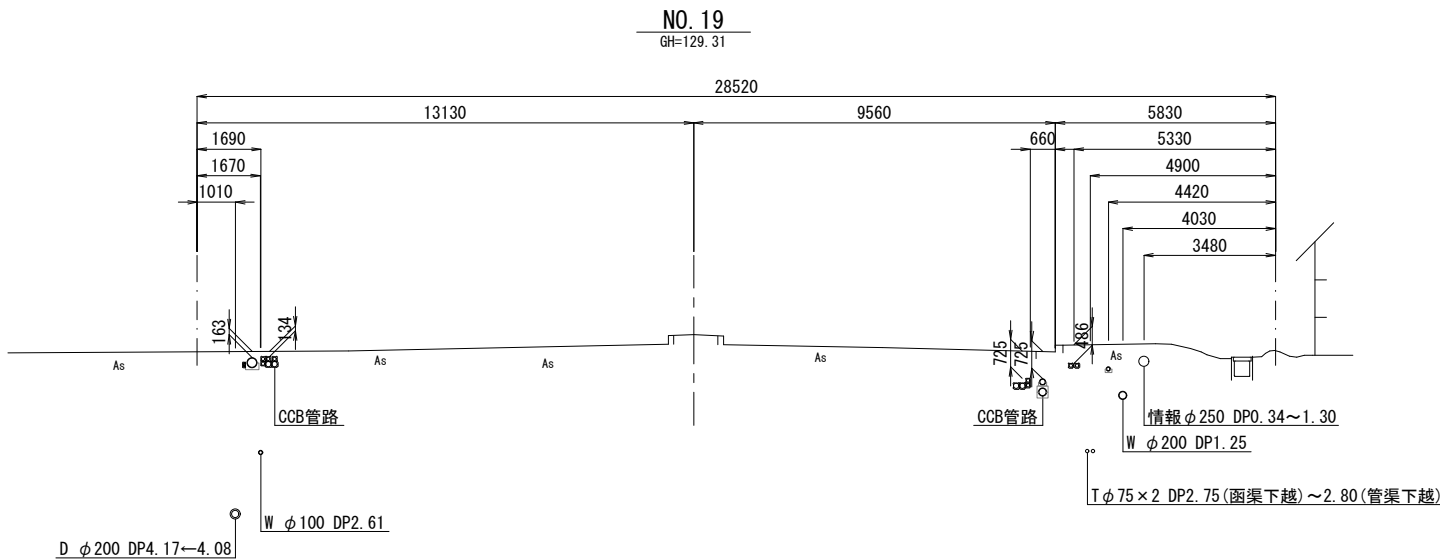
(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(1)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 18
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(2) S=1:100
(中岡本町工区)

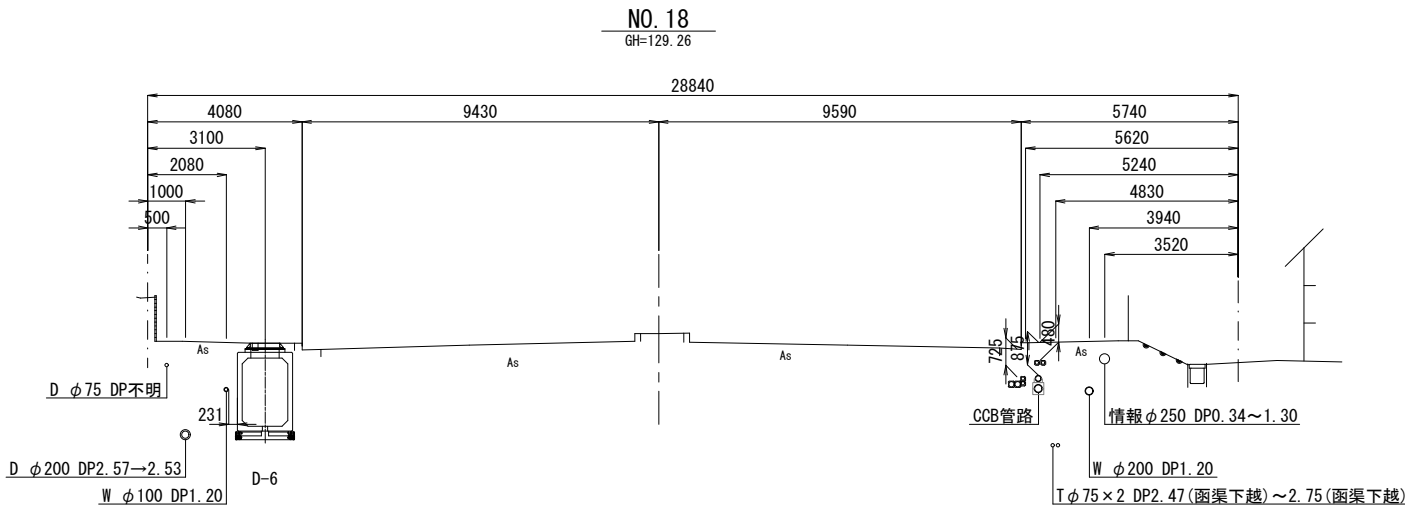
DL=125.0



DL=125.0



DL=125.0



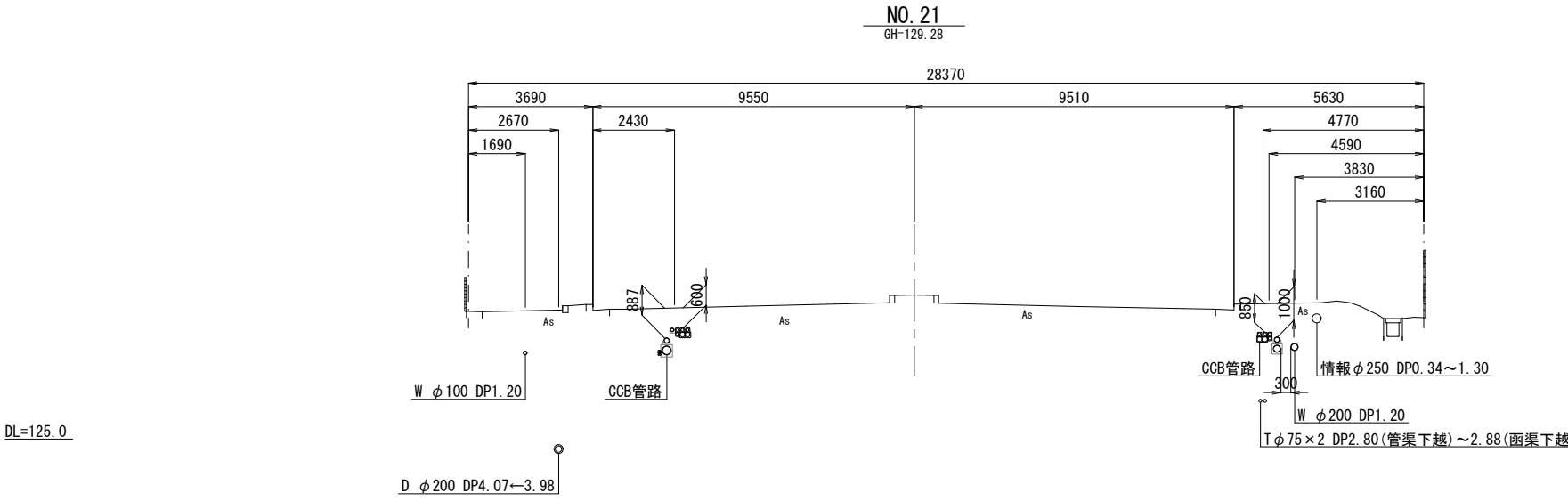
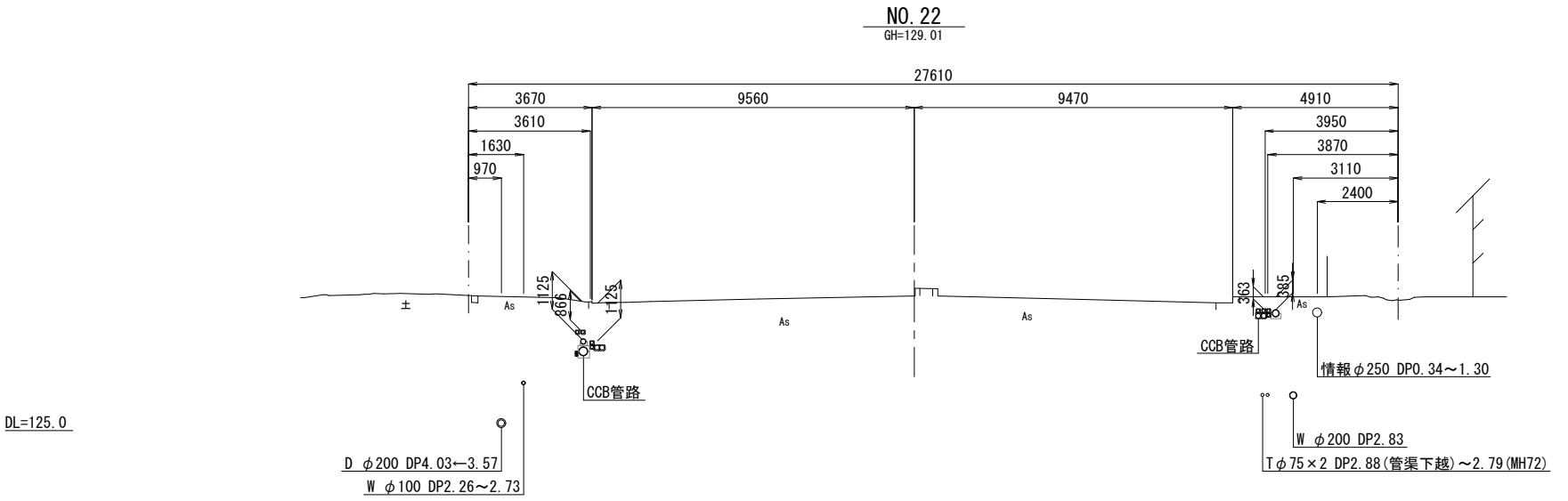
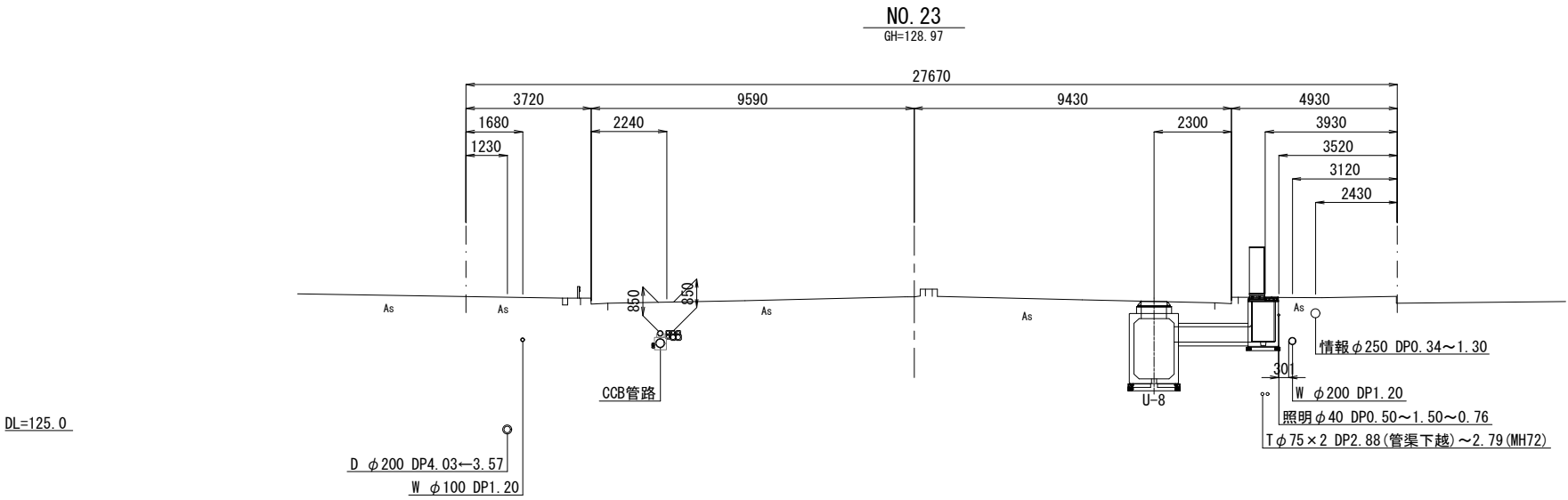
※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(2)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 19
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(3) S=1:100

(中岡本町工区)

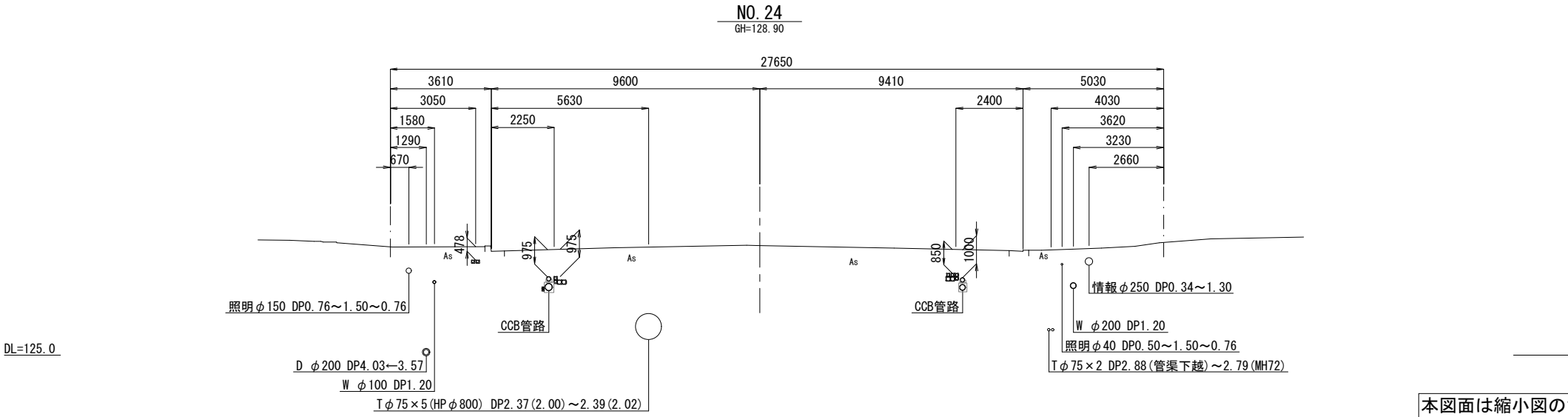
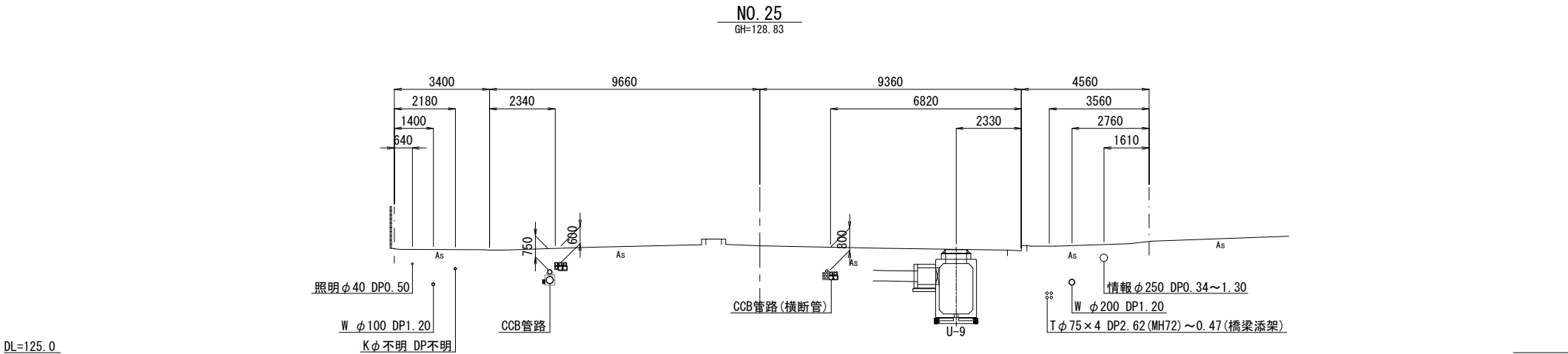
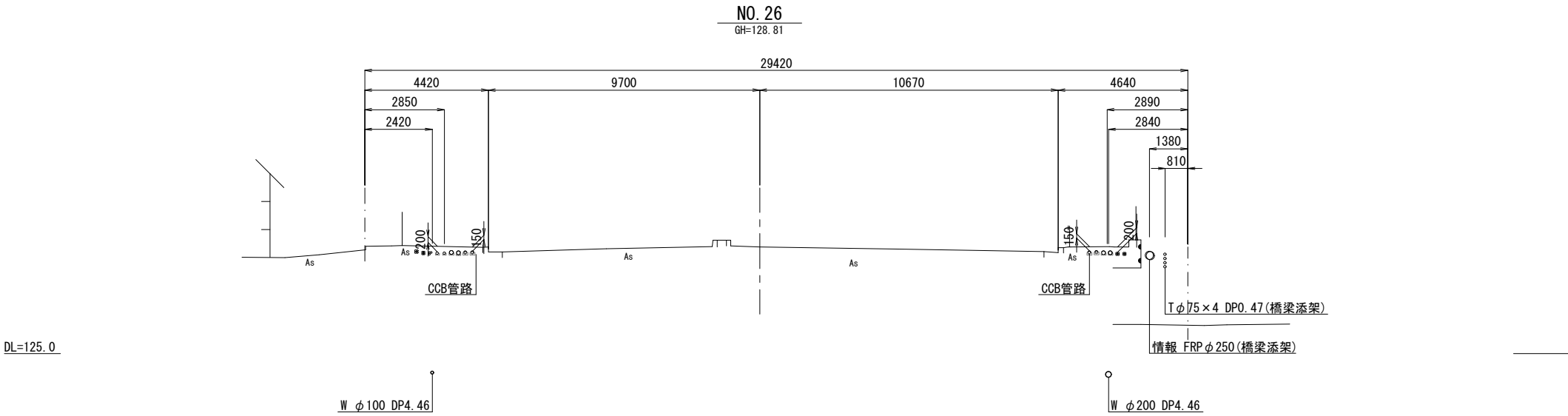


※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(3)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 20
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(4) S=1:100
(中岡本町工区)

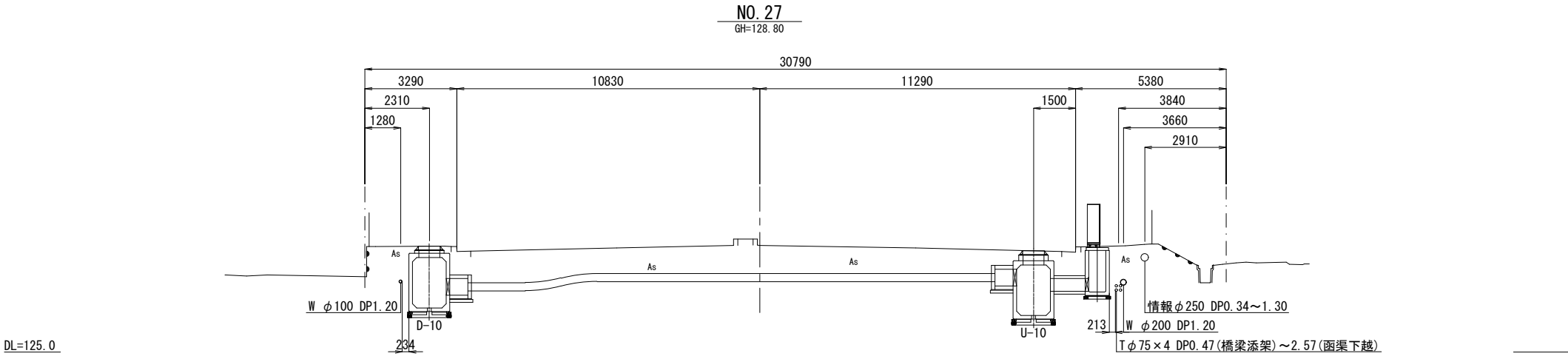
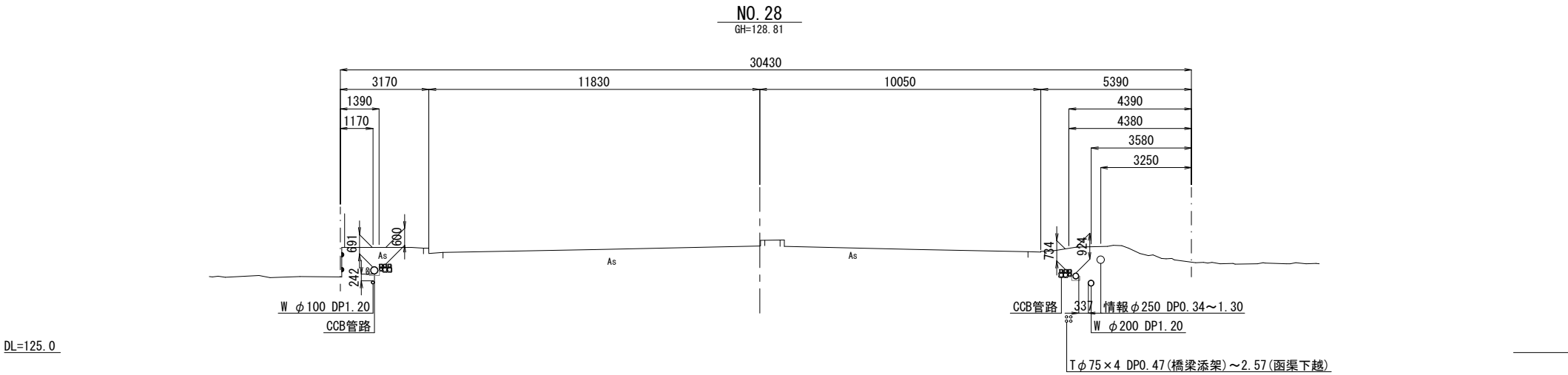
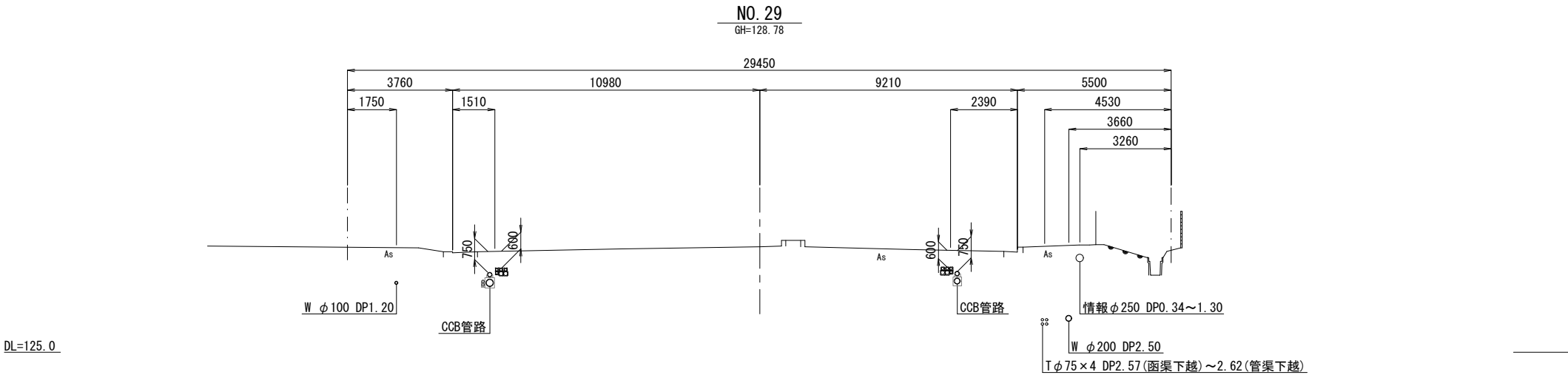


※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(4)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 21
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(5) S=1:100
(中岡本町工区)

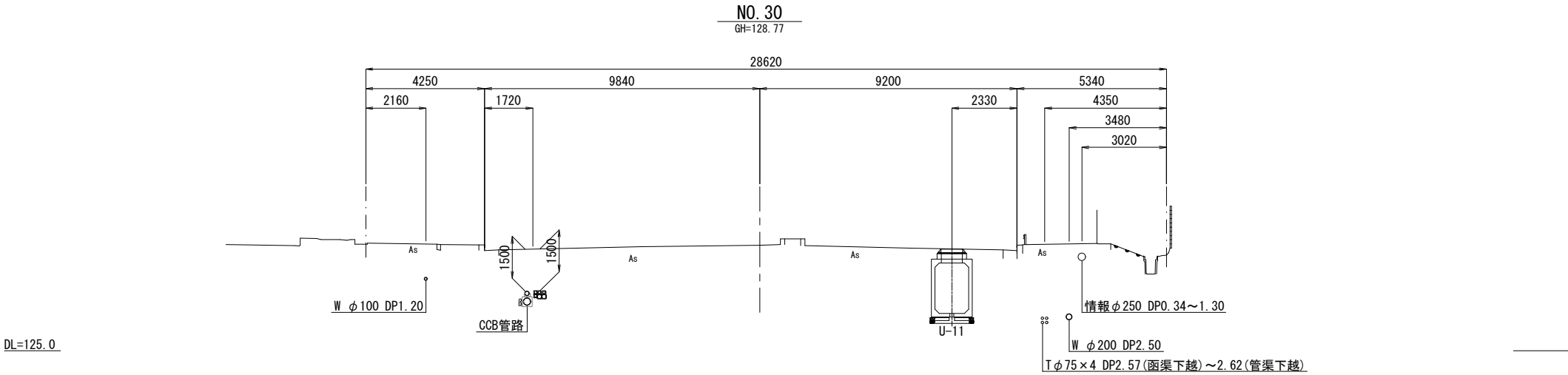
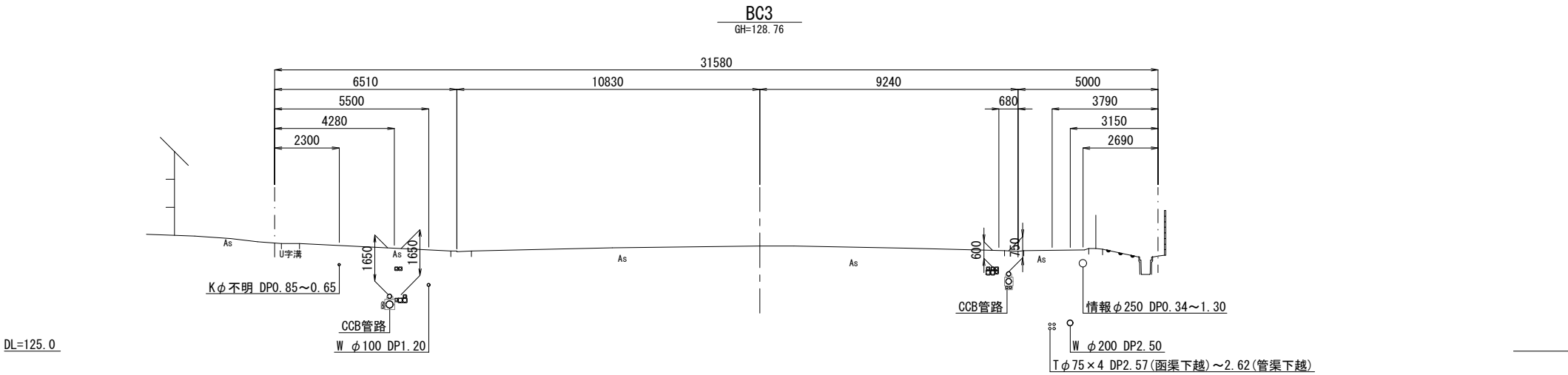
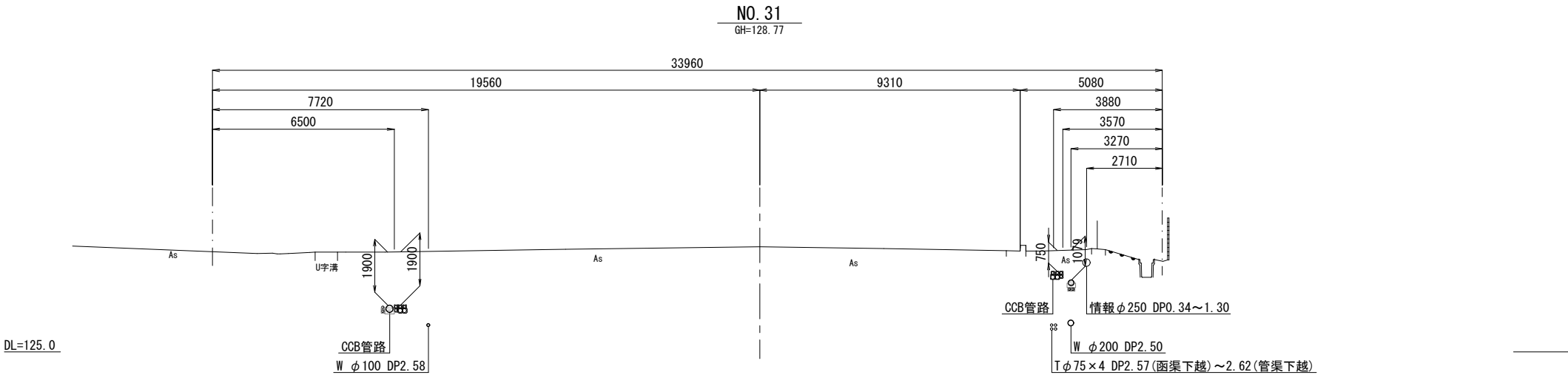


※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(5)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 22
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(6) S=1:100
(中岡本町工区)

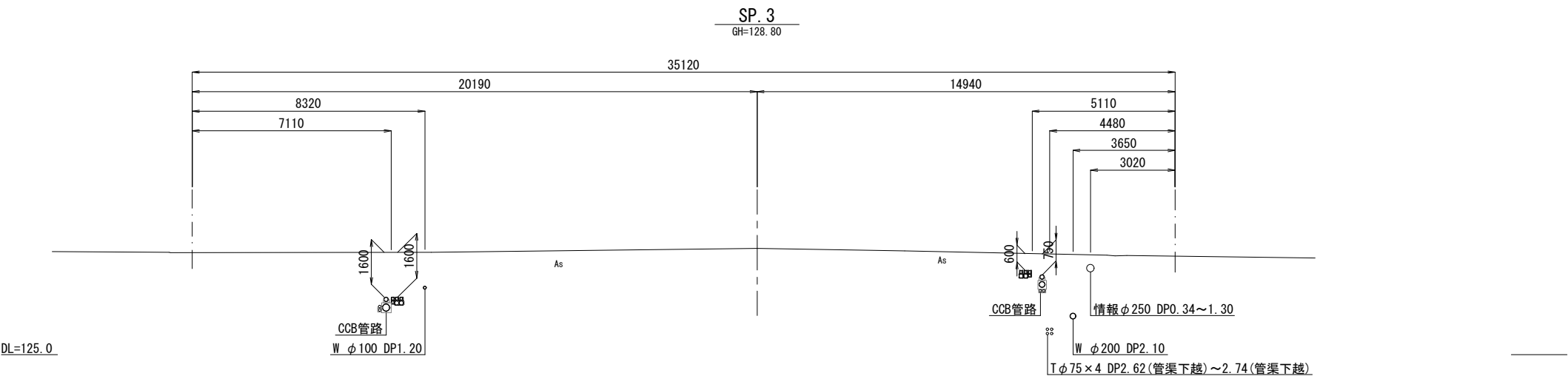
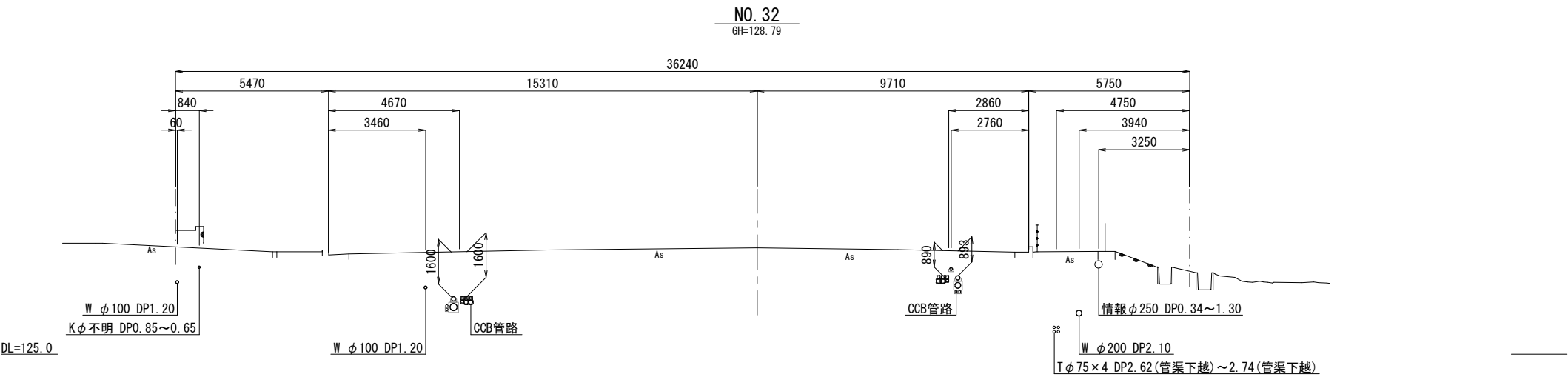
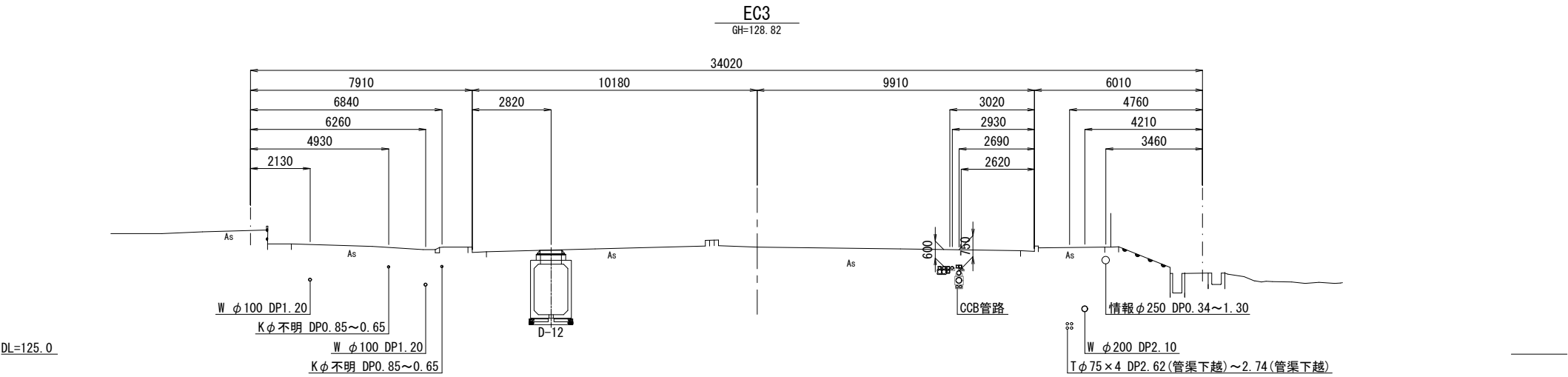


※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(6)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 23
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(7) S=1:100
(中岡本町工区)



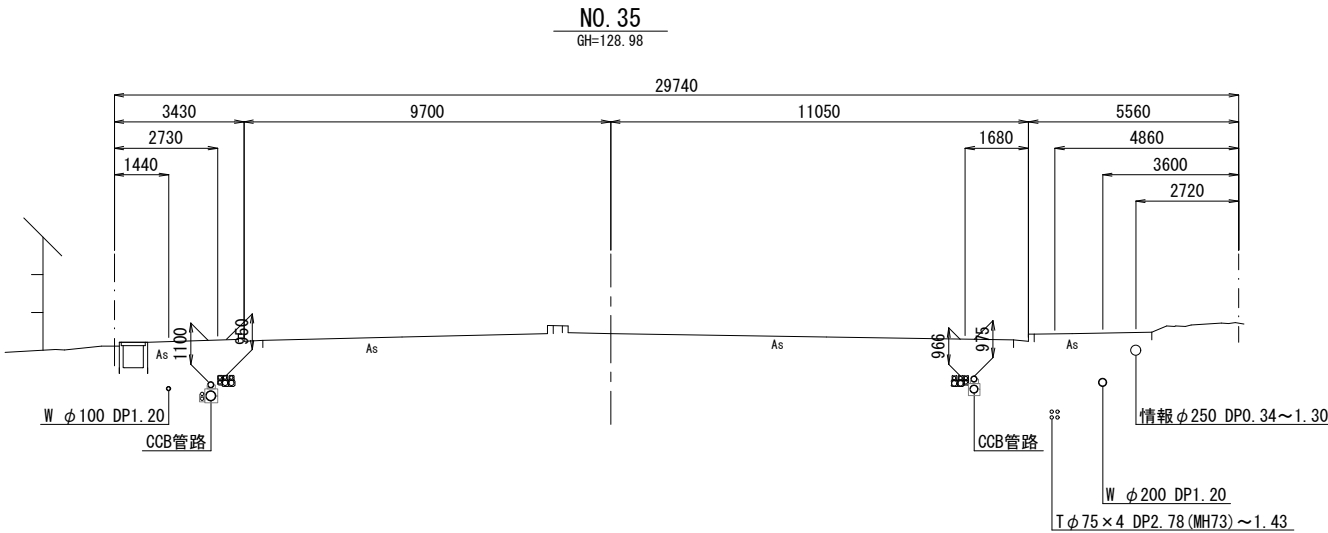
※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

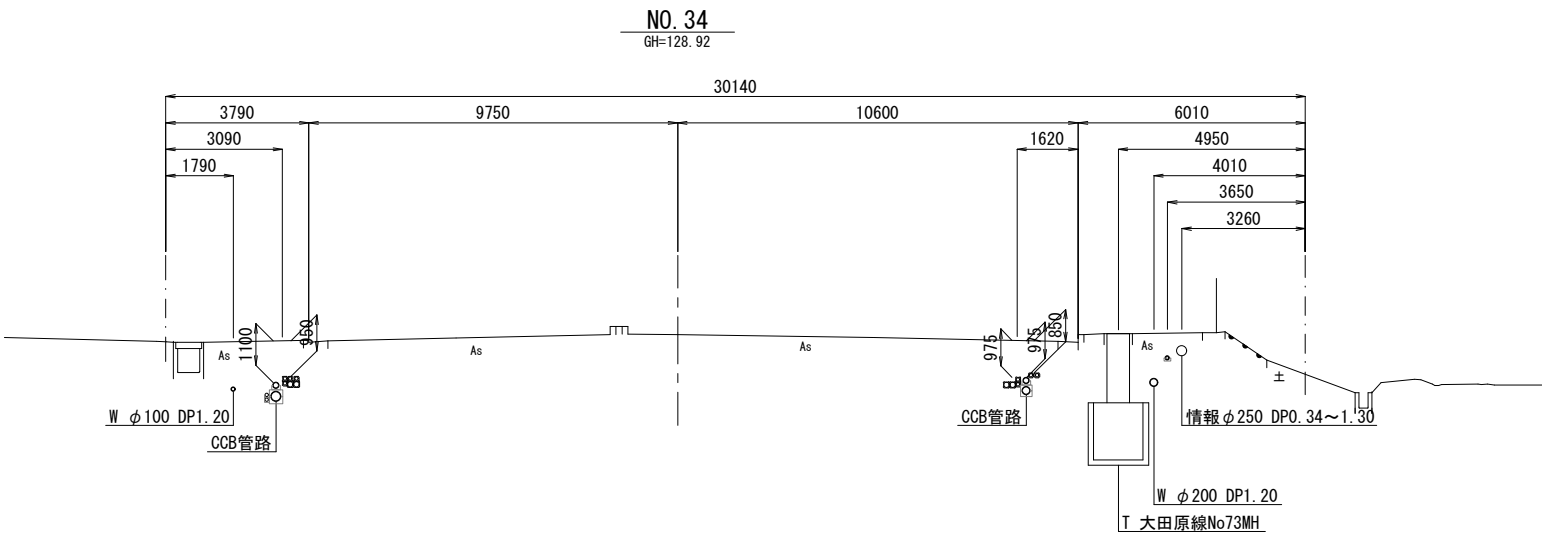
(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(7)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 24
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

横断図(8) S=1:100
(中岡本町工区)

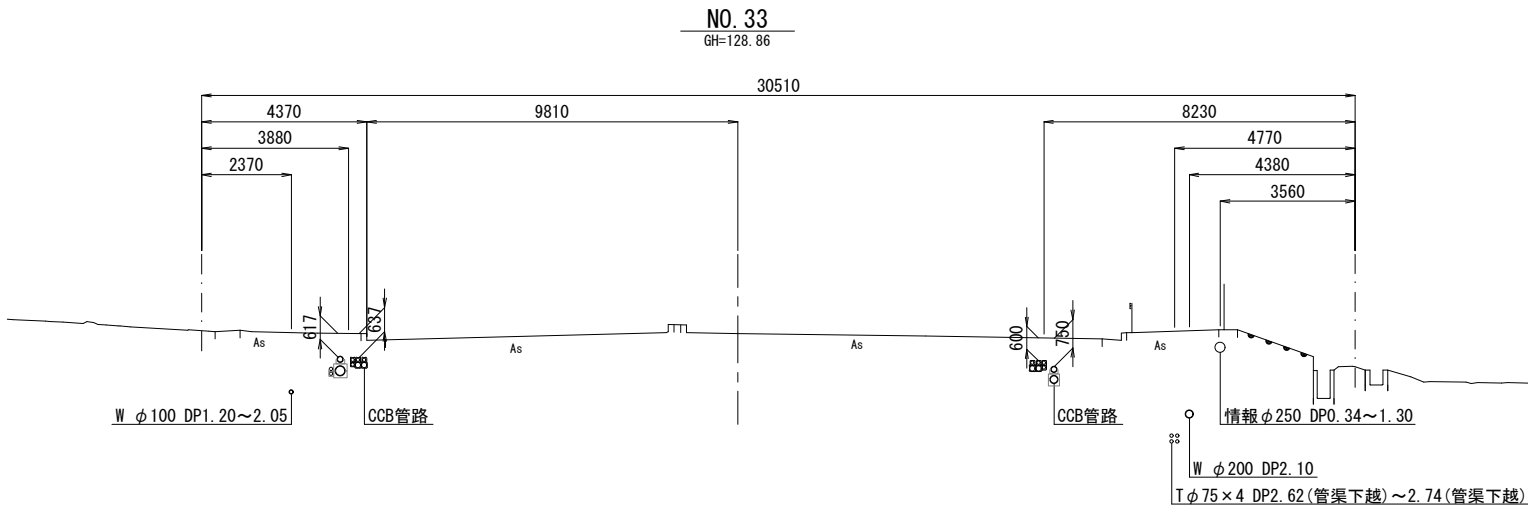
DL=125.0



DL=125.0



DL=125.0



※下り線今回施工

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	横断図(8)		
縮 尺	1:100	図面番号	91 の 25
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

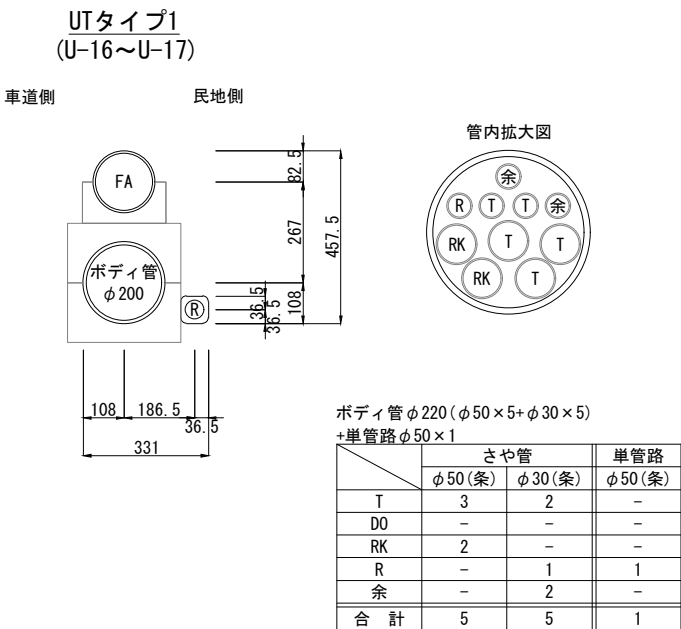
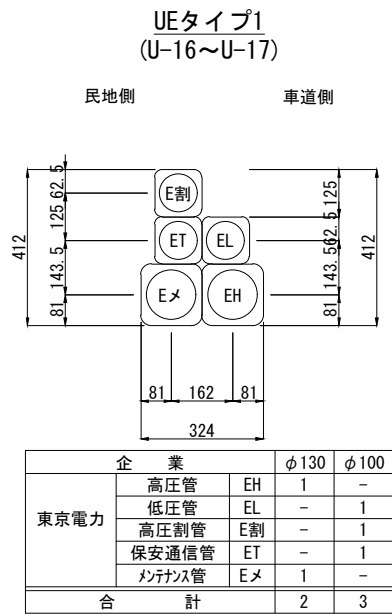
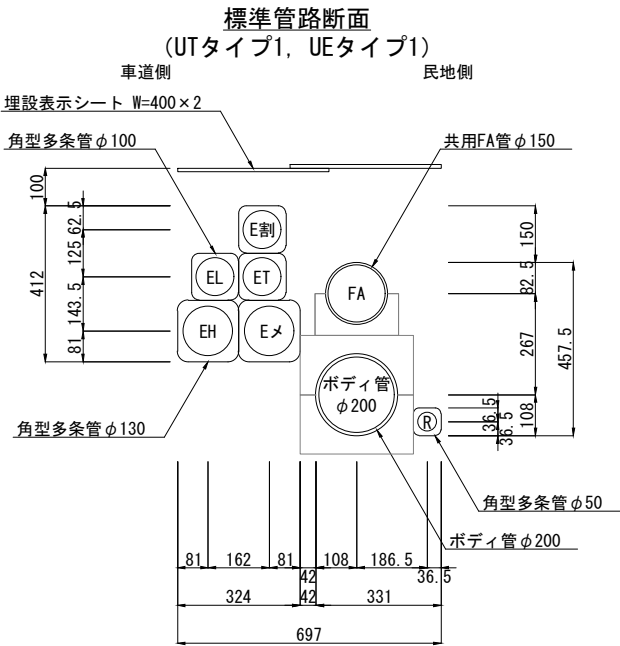
管路部収容形態図(1)

S=1:10

(下岡本町工区)

収容条件表（幹線）

参画事業社名	企業者 記 号	収 容 ケ ー ブ ル				収容位置	管 路 部			備 考
		ケーブル種類		径	条数		管種	径	条数	
東京電力	EH	高压幹線	CVT250	79	1	単管路	角型多条管 電力管	φ130	1	
	EL	低压幹線	CVQ250	64	1		角型多条管 電力管	φ100	1	
	E割	高压割管	CVT150	66	1		角型多条管 電力管	φ100	1	
	ET	保安通信	光	21.5	1		角型多条管 電力通信管	φ100	1	
			光	10.0	1					
			メタル	27.0	1					
Eメ	メンテナンス管				角型多条管 電力管	φ130	1			
N T T	T	メタル	5-100CJF		1	ボディ管	さや管	φ50	1	
			4-400CJF	33	1	ボディ管	さや管	φ50	1	
		光	SM40C-WBB	10.5	1	ボディ管	さや管	φ30	2	
		メンテナンス管	-	-	1	ボディ管	さや管	φ50	1	
			-	-	1	単管路	角型多条管 通信管	φ80	1	
交通管理者 (栃木県警察本部)	RK	-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ50	2	
道路管理者	R	-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ50	3.0	
		-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ30	1	
		-	-	-	1	単管路	角型多条管 通信管	φ50	3.1	
	余	-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ30	3	



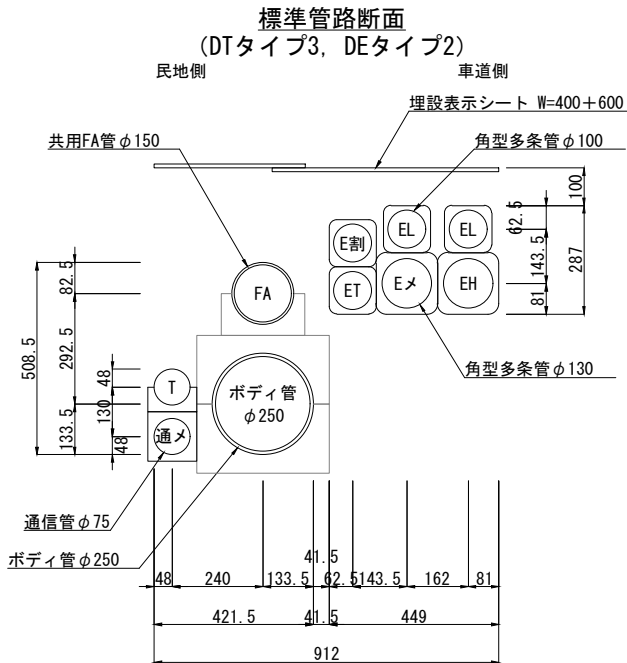
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(下岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	管路部収容形態図(1)		
縮 尺	1:10	図面番号	91 の 26
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

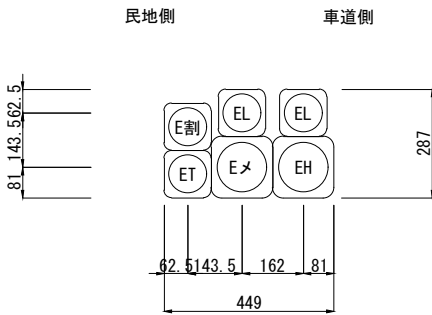
管路部収容形態図(2)

S=1:10

(中岡本町工区)



DEタイプ2
(D-6～D-9) (D-10～D-13)

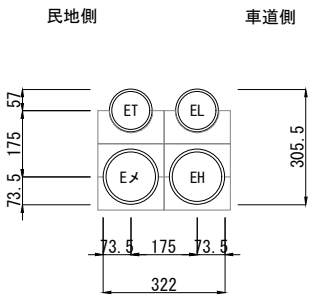


東京電力	企 業		φ130	φ100
	高圧管	EH	1	-
	低圧管	EL	-	2
	高圧割管	E割	-	1
	保安通信管	ET	-	1
合 計	メンテナンス管	Eメ	1	-
			2	4

収容条件表（幹線）

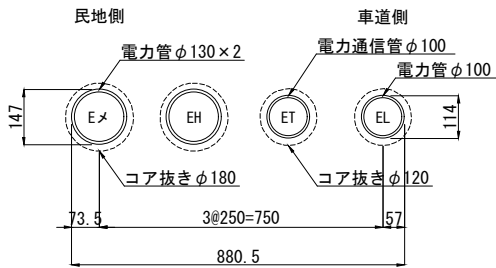
参画事業社名	企業者 記 号	収 容 ケ ー ブ ル				収容位置	管 路 部			備 考
		ケーブル種類		径	条数		管種	径	条数	
東京電力	EH	高圧幹線	CVT325	86	1	単管路	角型多条管 電力管	φ130	1	
	EL	低圧幹線	CVQ250	64	2		角型多条管 電力管	φ100	2	
	E割	高圧割管	CVT150	66	1		角型多条管 電力管	φ100	1	
	ET	保安通信	光・メタル	10～35	6		角型多条管 電力通信管	φ100	1	
	Eメ	メンテナンス管					角型多条管 電力管	φ130	1	
N T T	T	メタル	0.4-200CJ	24.0	1	ボディ管	さや管	φ50	1	上り線
			0.65-100CJ	26.5	1	ボディ管	さや管	φ50	1	上り線
			0.4-400CJ	33.0	1	ボディ管	さや管	φ50	1	下り線
			0.65-200CJ	36.0	1	単管路	通信管	φ75	1	下り線
		光	100SM	12.5	1	ボディ管	さや管	φ30	1	
			40SM	10.5	1	ボディ管	さや管	φ30	1	
共通	通メ	メンテナンス管	-	-	1	ボディ管	さや管	φ50	1	NTT要望
			-	-	1	単管路	通信管	φ75	1	NTT要望
K D D I	KD	光	SM300C	21	1	ボディ管	さや管	φ50	1	
交通管理者 (栃木県警察本部)	RK	-			2	ボディ管	さや管	φ50	2	
					2	単管路	通信管	φ75	2	信号交差点のみ
道路管理者	R	-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ50	1.6	
		-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ30	1	
	余	-	-	-	1	ボディ管	さや管	φ30	3	

DEタイプ3
(D-9～D-10)



東京電力	企 業		φ130	φ100
	高圧管	EH	1	-
	低圧管	EL	-	1
	高圧割管	E割	-	-
	保安通信管	ET	-	1
	メンテナンス管	Eメ	1	-
合 計			2	2

DEタイプ3(橋梁部)
(D-9～D-10)



(中岡本町工区)

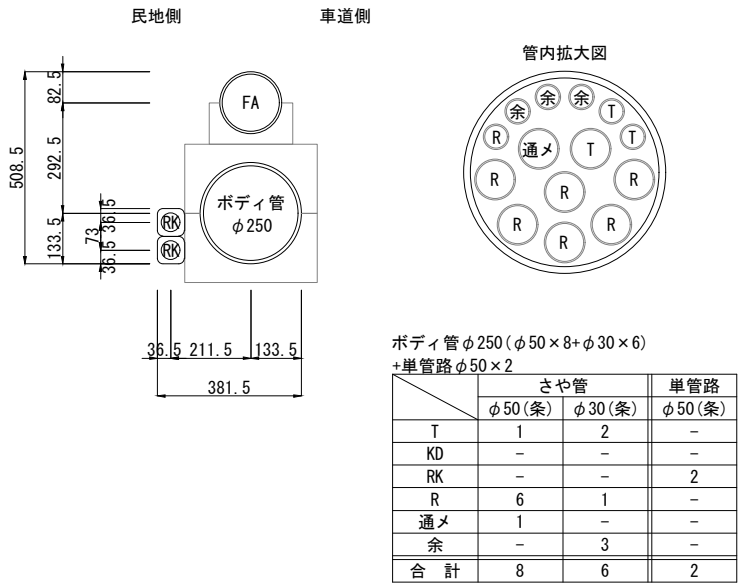
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	管路部収容形態図(2)		
縮 尺	1:10	図面番号	91 の 27
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

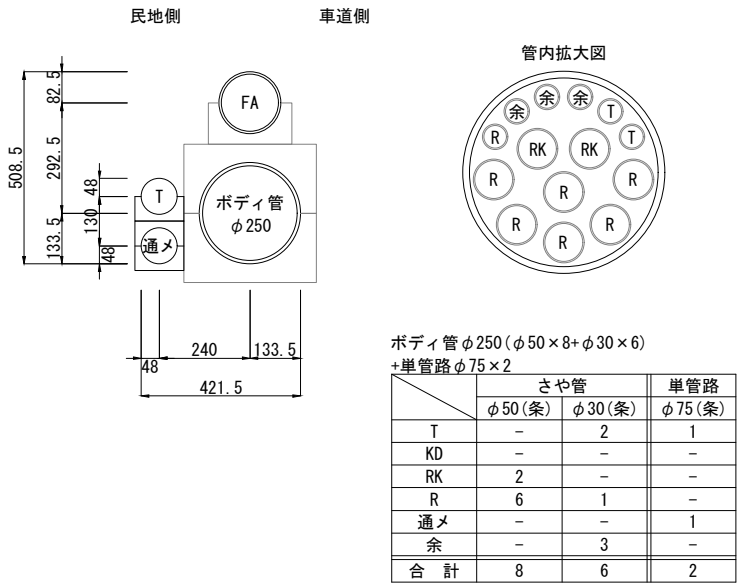
管路部収容形態図(3) S=1:10

(中岡本町工区)

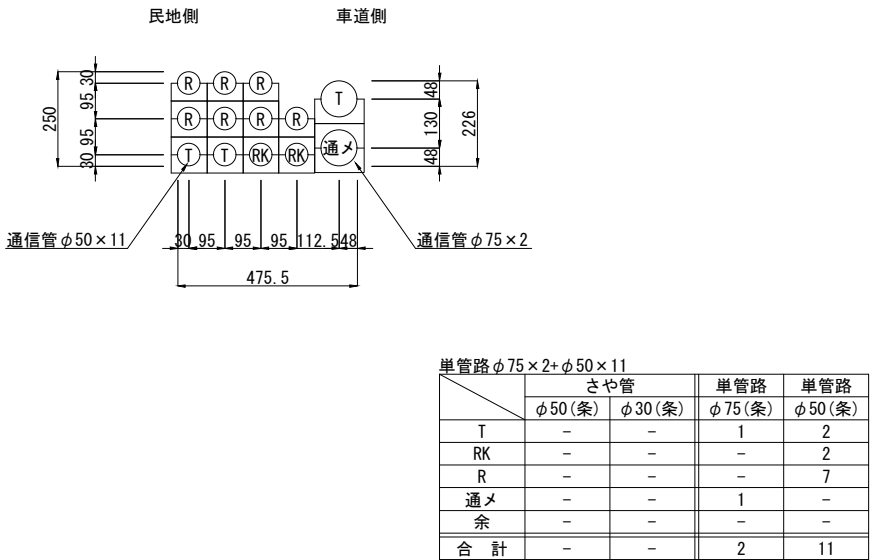
DTタイプ2
(D-6～D-9)



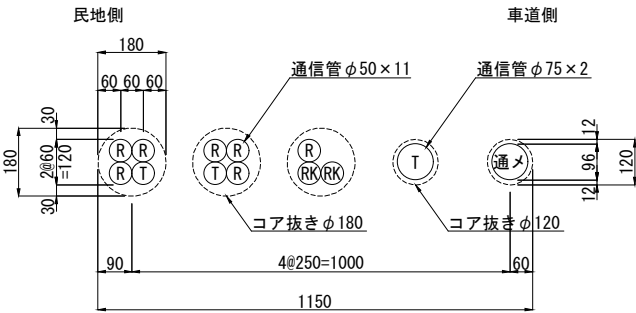
DTタイプ3
(D-10～D-13)



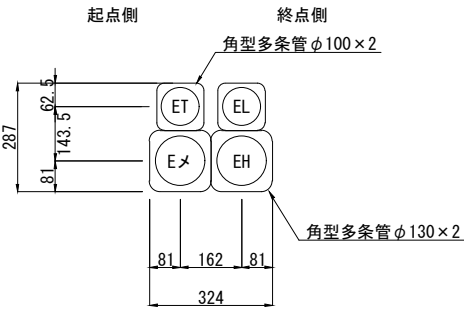
DTタイプ5
(D-9～D-10)



DTタイプ5(橋梁部)
(D-9～D-10)

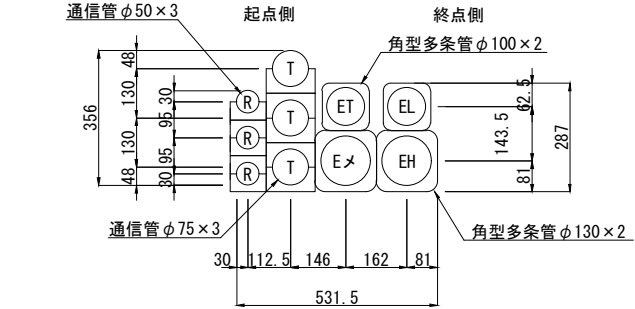


横断部5.6
(D-10)



東京電力	企 業		φ 130	φ 100
	高圧管	EH	1	-
	低圧管	EL	-	1
	高圧割管	E割	-	-
	保安通信管	ET	-	1
メンテナンス管			Eメ	1
合 計			2	2

横断部4
(D-9)



東京電力	企 業		φ 130	φ 100
	高圧管	EH	1	-
	低圧管	EL	-	1
	高圧割管	E割	-	-
	保安通信管	ET	-	1
メンテナンス管			Eメ	1
合 計			2	2

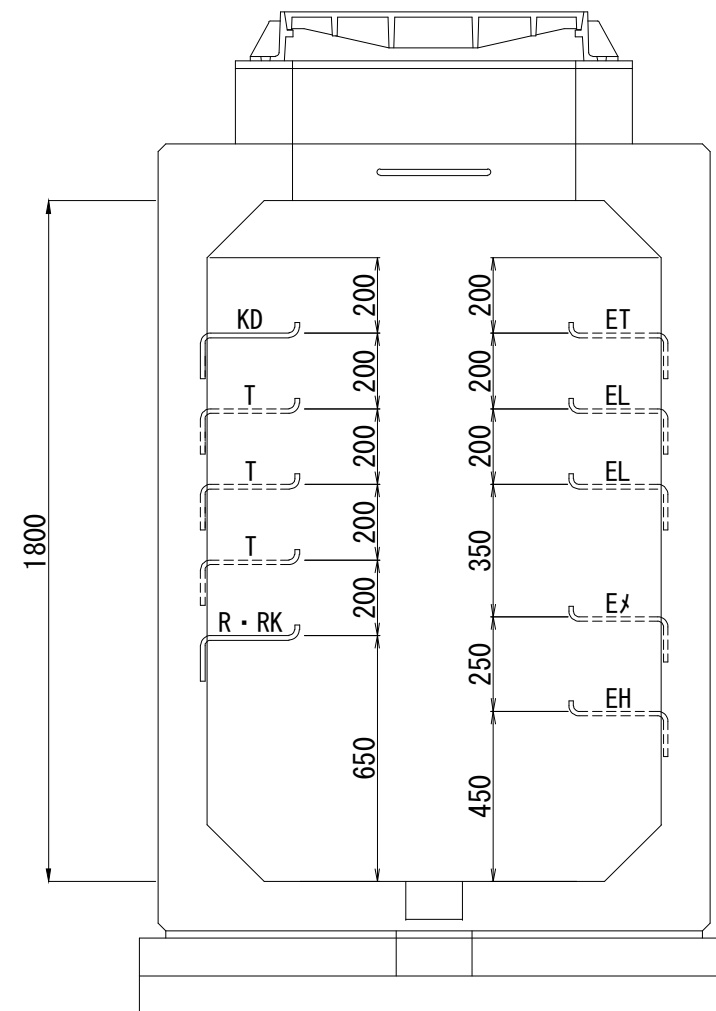
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(中岡本町工区)			
工 事 名	R 8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	管路部収容形態図(3)		
縮 尺	1:10	図面番号	91 の 28
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		

$S=1:10$

1200 × 1800

車道側



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R8 国道 4 号中岡本町外 電線共同溝工事		
図 面 名	特殊部収容形態図		
縮 尺	1:10	図面番号	91 の 29
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 長大		
事務所名	国土交通省 宇都宮国道事務所		